

OKAYAMA PREFECTURAL MUSEUM OF ART

# ANNUAL REPORT

2023.4–2024.3

岡山県立美術館年報  
令和5年度



岡山県立美術館

OKAYAMA PREFECTURAL MUSEUM OF ART

OKAYAMA PREFECTURAL MUSEUM OF ART

# ANNUAL REPORT

2023.4 – 2024.3

岡山県立美術館年報  
令和5年度



## 目次

設置目的	4
設立経過	5
展覧会事業	7
1. 岡山の美術	7
2. 岡山の美術（特別展示、収蔵品特集）	23
3. 特別展	39
4. 館蔵品貸出状況	80
5. 観覧者数一覧	82
教育普及事業	84
1. こんにちは美術館事業	84
2. 博学・博博・博社連携事業	93
3. 交流事業	106
4. ボランティア活動	107
5. ホールイベント実施状況	108
6. 刊行物	110
施設・設備の概要	112
組織及び職員構成	116
付録 新収蔵作品	
（寄贈作品一覧・購入作品一覧）	118

## 設置目的

岡山県立美術館は、郷土ゆかりの芸術家の優れた作品を収集・展示するとともに、内外の芸術活動を紹介する展覧会等を開催し、県民が社会や文化の多様性や新しい価値にであう場をつくることを目的として設置されました。



# 設立経過

昭和55年1月	天神山地域利用構想懇親会を開催
昭和55年3月	岡山県天神山文化施設整備基金を設置
昭和57年1月	天神山文化施設整備のための基礎調査を委託発注
昭和57年5月－昭和58年8月	天神山地区利用構想懇談会を開催し、整備の基本方針を打ち出す（全体会議3回、小委員会2回）
昭和57年12月－昭和58年8月	「天神山地区利用構想懇談会」の意見を踏まえ、また、中央、地元の学識経験者等の意見を聴きながら「天神山地区文化施設整備基本構想」を策定
昭和58年9月－昭和59年4月	基本設計委託および策定（委託先：(株)岡田新一設計事務所）
昭和59年5月－11月	基本設計に対する意見聴取および修正作業を実施（意見聴取者：学識経験者、各種団体、個人等）
昭和59年12月6日	実施設計委託（委託先：(株)岡田新一設計事務所）
昭和60年3月－昭和61年6月	敷地内既存建物解体撤去工事（岡山東警察署、岡山公共職業安定所、広島高裁岡山支部）
昭和60年4月1日	岡山県企画部に県立美術館開設準備事務局設置
昭和60年8月	岡山県立美術館（仮称）新築工事契約締結
昭和60年10月28日	岡山県立美術館（仮称）起工式
昭和60年10月－昭和62年7月	建設期間
昭和61年4月1日	岡山県企画部県立美術館開設準備事務局組織の変更
昭和62年4月1日	岡山県立美術館開設準備事務局設置（企画部出先機関）
昭和62年7月1日	岡山県立美術館竣工
昭和63年3月11日	岡山県立美術館条例制定
昭和63年3月18日	岡山県立美術館開館
昭和63年5月1日	岡山県企画部から総務部へ移管
平成10年4月1日	岡山県総務部から生活環境部へ移管
平成19年4月1日	指定管理者制度の導入（施設及び設備の維持管理に関するものの一部） 指定管理者：アトラティブ大永(株)[H19.4.1－H22.3.31, H22.4.1－H25.3.31]
平成22年4月1日	岡山県環境文化部へ移管
平成25年4月1日	指定管理業務の拡大（展示室監視業務、ホームページ管理業務等） 指定管理者：鹿島建物総合管理(株)[H25.4.1－H30.3.31, H30.4.1－R5.3.31]
平成25年5月23日	第13回日本建築家協会（JIA）25年賞を受賞
平成30年4月1日	指定管理業務の拡大（電話交換機保守業務、県外向け広報業務等）
令和5年4月1日	指定管理業務の拡大（特定建築物等定期点検業務等） 指定管理者：大林ファシリティーズ(株)大阪支店[R5.4.1－R10.3.31]



# 展覧会事業

## 1. 岡山の美術

岡山県は、室町時代の雪舟以降、浦上玉堂・松岡壽・鹿子木孟郎・平櫛田中・坂田一男・国吉康雄・小野竹喬・池田遙邨ら優れた芸術家を現代に至るまで輩出してきた。当館では彼らの卓越した業績を紹介するため「岡山の美術」をメインテーマとして運営している。

### 令和5(2023)年度 岡山の美術一覧

展 覧 会 名	会 期	会期日数
第1期	2023年3月17日(金) - 5月7日(日)	46 (うち23年度33日)
第4期	7月15日(土) - 8月27日(日)	40
第5期	9月6日(水) - 11月5日(日)	53
第7期	12月15日(金) - 2024年1月14日(日)	23
第8期	1月16日(火) - 2月18日(日)	30
第9期	2月27日(火) - 4月7日(日)	42 (うち23年度36日)

※第2、3期は特別展に、第6期は特別展示に充てた。

それぞれ pp.34-51、24-33を参照

第1期作品目録 3月17日(金)－5月7日(日)

※所蔵記載がない作品は本館所蔵品

作者名	作品名	制作年	材質・技法	所蔵
<b>【洋画】</b>				
岡崎 信吾	青い麦	昭和62 (1987) 年	油彩・カンヴァス	
松井 えり菜	あなただけDreaming!	平成30 (2018) 年	油彩・カンヴァス	
松岡 壽	ピエトロ・ミカの服装の男	明治14 (1881) 年	油彩・カンヴァス	
松岡 壽	凱旋門	明治15 (1882) 年頃	油彩・カンヴァス	
松岡 壽	父の像 (松岡隣)	明治22 (1889) 年	油彩・カンヴァス	
松岡 壽	老翁像	明治28 (1895) 年	油彩・カンヴァス	
原田 直次郎	風景	明治19 (1886) 年	油彩・カンヴァス	
原田 直次郎	上野東照宮	明治22 (1889) 年	油彩・カンヴァス	
原田 直次郎	素浅鳴尊八岐大蛇退治画稿	明治28 (1895) 年頃	油彩・カンヴァス	
満谷 国四郎	裸婦	明治28 (1895) 年	油彩・カンヴァス	
満谷 国四郎	スペイン コルドバ風景	大正 2 (1913) 年	油彩・カンヴァス	
満谷 国四郎	瀬戸内海風景	大正 6 (1917) 年	油彩・カンヴァス	
満谷 国四郎	鏡を見る女	大正 5 (1916) 年	油彩・カンヴァス	
満谷 国四郎	朝の身仕舞	昭和 6 (1931) 年	油彩・カンヴァス	
坂田 一男	静物	大正13 (1924) 年	油彩・カンヴァス	個人蔵
坂田 一男	キュビズム的人物像	大正14 (1925) 年	油彩・カンヴァス	
坂田 一男	作品	昭和23 (1948) 年	油彩・カンヴァス	
坂田 一男	或る夜の幻想	昭和24 (1949) 年	油彩・カンヴァス	
坂田 一男	コンポジション (メカニック・エレメント)	昭和30 (1955) 年	油彩・カンヴァス	
坂田 一男	力学的構成	昭和31 (1956) 年	油彩・カンヴァス	
国吉 康雄	自画像	大正 7 (1918) 年	油彩・カンヴァス	福武コレクション
国吉 康雄	カーテンを引く子供	大正12 (1923) 年頃	油彩・カンヴァス	
国吉 康雄	二人の赤ん坊	大正12 (1923) 年	油彩・カンヴァス	福武コレクション
国吉 康雄	水難救助員	大正13 (1924) 年	油彩・カンヴァス	福武コレクション
国吉 康雄	ロバのいる風景	昭和 3 (1928) 年	油彩・カンヴァス	
国吉 康雄	化粧	昭和 3 (1928) 年	油彩・カンヴァス	福武コレクション
国吉 康雄	日本の張子の虎とがらくた	昭和 7 (1932) 年	油彩・カンヴァス	福武コレクション
国吉 康雄	もの思う女	昭和10 (1935) 年	油彩・カンヴァス	福武コレクション
国吉 康雄	逆さのテーブルとマスク	昭和15 (1940) 年	油彩・カンヴァス	福武コレクション
国吉 康雄	夜明けが来る	昭和19 (1944) 年	油彩・カンヴァス	
国吉 康雄	ここは私の遊び場	昭和22 (1947) 年	油彩・カンヴァス	福武コレクション
国吉 康雄	祭りは終わった	昭和22 (1947) 年	油彩・カンヴァス	
国吉 康雄	鯉のぼり	昭和25 (1950) 年	油彩・カンヴァス	福武コレクション
国吉 康雄	ミスターエース	昭和27 (1952) 年	油彩・カンヴァス	福武コレクション

作者名	作品名	制作年	材質・技法	所蔵
中川 堅一	中川雪肖像	明治16 (1883) 年	油彩・カンヴァス	
原 撫松	西井多吉翁肖像	明治36 (1903) 年	油彩・カンヴァス	野崎家塩業歴史館
松原 三五郎	桃	明治時代 (19-20世紀)	油彩・カンヴァス	
赤松 麟作	水鳥のいる風景	明治36 (1903) 年	油彩・カンヴァス	
鹿子木 孟郎	海岸	昭和12 (1937) 年	油彩・カンヴァス	
佐竹 徳	清津峡谷	昭和28 (1953) 年	油彩・カンヴァス	
佐竹 徳	赤松	昭和48 (1973) 年頃	油彩・カンヴァス	
佐竹 徳	オリーブ樹	制作年不詳 (20世紀)	油彩・カンヴァス	
中津瀬 忠彦	働く人々・B	昭和29 (1954) 年	油彩・カンヴァス	
中津瀬 忠彦	旭川	昭和37 (1962) 年	油彩・カンヴァス	
中津瀬 忠彦	田植時	昭和45 (1970) 年	油彩・カンヴァス	
中津瀬 忠彦	パリ風景	昭和34 (1959) 年	油彩・カンヴァス	
中津瀬 忠彦	マドリッドの裏町	昭和38 (1963) 年	油彩・カンヴァス	
中津瀬 忠彦	ナポリ風景	昭和39 (1964) 年	油彩・カンヴァス	
赤堀 佐兵	らくだ	昭和35 (1960) 年頃	油彩・カンヴァス	
水野 恭子	笛 (少年)	昭和26 (1951) 年	油彩・カンヴァス	
水野 恭子	温室B	昭和28 (1953) 年	油彩・カンヴァス	
水野 恭子	桜	平成19 (2007) 年	油彩・カンヴァス	
水野 恭子	櫻樹	平成20 (2008) 年	油彩・カンヴァス	
中山 巍	緑の窓辺	昭和36 (1961) 年	油彩・カンヴァス	

### 【工芸】 春分一立夏 春うらら

平田 郷陽	子雀	昭和時代 (20世紀)	木彫、着せ込み	個人蔵
平田 郷陽	子雀	昭和時代 (20世紀)	木彫、着せ込み	
太田 儔	籃胎蒔醬箱 さくら	令和元 (2019) 年	籃胎蒔醬	
小松原 賢次	七子塗り蒔絵盤「草むしろ」	平成24 (2012) 年	変わり塗り	
小松原 賢次	蒔絵「野の詩」	平成10 (1998) 年	平文、螺鈿、卵殻	
久保田 厚子	青白磁桜陶匣	昭和62 (1987) 年	磁器	
森谷 南人子	春光	昭和28 (1953) 年	紙本着色	
河井 寛次郎	辰砂菱花筥	昭和時代 (20世紀)	陶器	個人蔵
河井 寛次郎	花扁壺	昭和時代 (20世紀)	陶器	個人蔵
河井 寛次郎	辰砂蓋物	昭和25 (1950) 年頃	陶器	個人蔵
河井 寛次郎	丸紋辰砂壺	昭和時代 (20世紀)	陶器	個人蔵
河井 寛次郎	三色手壺 (梅原旧蔵)	昭和時代 (20世紀)	陶器	個人蔵
河井 寛次郎	筒描花紋鉢	昭和28 (1953) 年頃	陶器	個人蔵

作者名	作品名	制作年	材質・技法	所蔵
金谷 朱尾子	春という名の神話	平成6（1994）年	紙本着色	

書院

衣笠 豪谷	桃花鰻魚図	明治25（1892）年	絹本着色	
西村 春湖	獅子摘兜伏香炉	大正-昭和時代（20世紀）	備前焼	個人蔵
西村 春湖	獅子蓋鎧櫃香炉	大正-昭和時代（20世紀）	備前焼	個人蔵

【日本画】 日本絵画に描かれた動物たち

承虎	山水図	室町時代（15-16世紀）	紙本墨画淡彩	
甫雪 等禅	騎牛釈迦図	室町後期-桃山時代（16世紀）	紙本墨画淡彩	
森 周峯	馬図	江戸時代（18-19世紀）	紙本墨画	個人蔵
森 周峯	牛図	江戸時代（18-19世紀）	紙本墨画	個人蔵
雲谷 等益	群馬図屏風	江戸時代（17世紀）	紙本墨画淡彩	
衣笠 豪谷	孔雀波鷺図屏風	明治29（1896）年	紙本墨画	個人蔵
衣笠 豪谷	芭蕉に鶏図	明治29（1896）年	紙本着色	
浦上 春琴	百蟲図巻	天保12（1841）年	紙本着色	個人蔵
正宗 得三郎	虎嘯烈風図（牧谿和尚遺法）	制作年不詳	紙本墨画	
満谷 国四郎	麒麟	制作年不詳	紙本墨画	
鹿子木 孟郎	親子鶏図	制作年不詳	紙本墨画淡彩	個人蔵
高橋 秋華	鶏図屏風	昭和時代（20世紀）	絹本着色	
稲葉 春生	野鳥（スケッチ）	昭和3（1928）年	鉛筆、淡彩・紙	
稲葉 春生	イタチ・カミキリムシ（スケッチ）	昭和5（1930）年、昭和24（1949）年	鉛筆、淡彩・紙	
稲葉 春生	鮎①（スケッチ）	昭和27（1952）年	鉛筆、淡彩・紙	
森谷 南人子	軍鶏	明治40（1907）年	絹本着色	

展示棟

兼行 誠吾	象	平成29（2017）年	陶器	
-------	---	-------------	----	--

## 第4期作品目録 7月15日(土)－8月27日(日)

※所蔵記載がない作品は本館所蔵品

作者名	作品名	制作年	材質・技法	所蔵
<b>【洋画】</b>				
渡辺 文三郎	松島	制作年不詳 (20世紀)	油彩・カンヴァス	
前田 吉彦	男性像	明治時代 (1868-1904年頃)	油彩・カンヴァス	個人蔵
松原 三五郎	牡丹	制作年不詳	油彩・板	個人蔵
松原 三五郎	海景	大正4 (1915) 年	油彩・カンヴァス	
満谷 国四郎	満谷 英三郎像	制作年不詳 (1900-10年頃)	油彩・カンヴァス	
赤松 麟作	水鳥のいる風景	明治36 (1903) 年	油彩・カンヴァス	
児島 虎次郎	裸婦素描	明治43 (1910) 年	鉛筆・紙	
児島 虎次郎	姉妹	明治44 (1911) 年	油彩・カンヴァス	大原美術館より寄託
児島 虎次郎	旭川の夏	大正2 (1913) 年	油彩・カンヴァス	大原美術館より寄託
児島 虎次郎	風景	大正2-6 (1913-17) 年頃	油彩・カンヴァス	個人蔵
児島 虎次郎	読書	大正12 (1923) 年	油彩・カンヴァス	大原美術館より寄託
児島 虎次郎	手鏡を持つ女	大正12 (1923) 年	油彩・カンヴァス	大原美術館より寄託
児島 虎次郎	天平山の秋	大正15 (1926) 年	油彩・カンヴァス	大原美術館より寄託
児島 虎次郎	水仙を持つ少女	大正15 (1926) 年	油彩・カンヴァス	
国吉 康雄	鳩とスカーフ	昭和7 (1932) 年	油彩・カンヴァス	個人蔵
国吉 康雄	逆さのテーブルとマスク	昭和15 (1940) 年	油彩・カンヴァス	福武コレクション
国吉 康雄	スージー	昭和18 (1943) 年	カゼイン・石膏パネル	福武コレクション
国吉 康雄	夜明けが来る	昭和19 (1944) 年	油彩・カンヴァス	
国吉 康雄	少女よお前の命のために走れ	昭和21 (1946) 年	カゼイン・石膏パネル	福武コレクション
国吉 康雄	祭りは終わった	昭和22 (1947) 年	油彩・カンヴァス	
国吉 康雄	舞踏会へ	昭和25 (1950) 年	カゼイン・石膏パネル	福武コレクション
国吉 康雄	ミスターエース	昭和27 (1952) 年	油彩・カンヴァス	福武コレクション
原 撫松	自画像	明治38 (1905) 年	油彩・カンヴァス	
原 撫松	老人像	明治39 (1906) 年	油彩・カンヴァス	
中山 巍	画室の男	大正15 (1926) 年頃	油彩・カンヴァス	
中山 巍	黒衣の女	大正15 (1926) 年頃	油彩・カンヴァス	
坂田 一男	キュピズムの人物像	大正14 (1925) 年	油彩・カンヴァス	
坂田 一男	コンパス	昭和24 (1949) 年	油彩・板	
工藤 哲巳	限定プールに於ける増殖性連鎖反応	昭和35 (1960) 年	ラッカー・板	個人蔵
太田 三郎	POST WAR 66 戦災痕	平成23 (2011) 年	レーザープリント・紙	
劉 生容	焼金 No. 6	昭和40 (1965) 年	油彩、コラージュ・カンヴァス	
劉 生容	作品 No. 1201	昭和51 (1976) 年	油彩、コラージュ・カンヴァス	
東島 毅	S-004	平成8 (1996) 年	ハウスペイント、スプレーペイント・カンヴァス	
東島 毅	FMF-M	平成12 (2000) 年	ハウスペイント、スプレーペイント・カンヴァス	

第5期作品目録 9月6日(水)－11月5日(日)

※所蔵記載がない作品は本館所蔵品

作者名	作品名	制作年	材質・技法	所蔵
<b>【洋画】英国に学んだ画家・原撫松</b>				
原 撫松	自画像	明治38 (1905) 年	油彩・カンヴァス	
原 撫松	海岸風景	明治23 (1890) 年	油彩・カンヴァス	
原 撫松	多田貞一郎像	明治24 (1891) 年	油彩・カンヴァス	
原 撫松	牡丹	明治25-27 (1892-94) 年	水彩・紙	
原 撫松	鈴木タヨ像	明治30 (1897) 年代中頃	油彩・カンヴァス	
原 撫松	菊池容斎筆『前賢故実』原撫松模写 (抜粋)	制作年不詳 (19-20世紀)	紙本墨画	
原 撫松	野崎武吉郎像	明治37 (1904) 年	油彩・カンヴァス	野崎家塩業歴史館蔵
原 撫松	青い服の婦人	明治38-40 (1905-07) 年	油彩・カンヴァス	
原 撫松	老人像	明治39 (1906) 年	油彩・カンヴァス	
原 撫松	横向きの裸婦	明治40 (1907) 年	油彩・カンヴァス	
原 撫松	小室三吉像	明治40 (1907) 年	油彩・カンヴァス	
原 撫松	小室美恵像	明治40 (1907) 年	油彩・カンヴァス	
原 撫松	ハイパークコーナー	明治38 (1905) 年	水彩・紙	
原 撫松	ヌード	明治40 (1907) 年	水彩・紙	
原 撫松	愛と生 (ワッツ模写)	明治39 (1906) 年	水彩・紙	
松原 三五郎	鹿のいる風景	制作年不詳 (19-20世紀)	油彩・カンヴァス	個人蔵
中川 豎一	中川雪肖像	明治16 (1883) 年	油彩・カンヴァス	
三宅 克己	大英博物館入口	昭和 5 (1930) 年	水彩・紙	個人蔵
三宅 克己	倫敦議事堂の時計台	昭和 5 (1930) 年	水彩・紙	個人蔵
三宅 克己	倫敦ケンシントン公園	昭和 5 (1930) 年	水彩・紙	個人蔵
三宅 克己	倫敦国民画堂前の教会堂	昭和 5 (1930) 年	水彩・紙	個人蔵
人見 純一	キングストン郊外	制作年不詳 (20世紀)	水彩・紙	
人見 純一	ターナー模写 (ローマ・コンスタンチン凱旋門)	制作年不詳 (20世紀)	水彩・紙	
人見 純一	キングストンヒル	昭和元 (1926) 年	油彩・カンヴァス	
<b>特別展「ウィリアム・モリス」関連展示 民藝・白樺ゆかりの作家たち 民藝 一用の美一</b>				
芹沢 銈介	いろは文六曲屏風 六作品	昭和33 (1958) 年	木綿・木版	個人蔵
芹沢 銈介	小川紙すき村文型絵染着物	昭和18 (1943) 年	縮緬	
棟方 志功	東北経鬼門譜	昭和14 (1939) 年	紙・木版	個人蔵
芹沢 銈介	法然上人絵伝 頭光踏蓮 掛軸	昭和16 (1941) 年	紙・型絵	個人蔵
棟方 志功	青不動明王図	昭和27 (1952) 年	紙本着色	個人蔵
芹沢 銈介	草文壺	制作年不詳	陶器	個人蔵
芹沢 銈介	本の挿絵			個人蔵

作者名	作品名	制作年	材質・技法	所蔵
棟方 志功	金太郎 桃太郎図	制作年不詳	紙本着色	個人蔵
棟方 志功	流離抄板画卷 狐狼の柵	昭和28 (1953) 年	紙・木版	個人蔵
棟方 志功	歌々板画卷 細雪に題す	昭和31 (1956) 年	紙・木版	個人蔵
芹沢 銈介	猫	制作年不詳	板に着色	個人蔵
芹沢 銈介	小川紙漉 紙すき	昭和13 (1938) 年	紙・型絵	個人蔵
芹沢 銈介	まんりき まげもの	昭和18 (1943) 年	紙・型絵	個人蔵
芹沢 銈介	ガラス絵 河井・浜田 壺二つ	昭和46 (1971) 年	ガラスに着色	個人蔵
棟方 志功	遺憾なことへの柵	昭和19 (1944) 年	紙・木版	個人蔵
柳 宗悦	冬ナクバ春ナキニ	制作年不詳	紙本墨書	個人蔵
バーナード・リーチ	壺の図	制作年不詳	紙本墨画	個人蔵
バーナード・リーチ	幾何学紋様壺	制作年不詳	陶器	個人蔵
バーナード・リーチ	壺	昭和41 (1966) 年	陶器	個人蔵
河井 寛次郎	額 陶拓	制作年不詳	紙・木版	個人蔵
河井 寛次郎	呉洲丸紋四方壺	制作年不詳	陶器	個人蔵
濱田 庄司	柿釉抜絵面取花瓶	制作年不詳	陶器	個人蔵
濱田 庄司	柿釉丸紋盛鉢	制作年不詳	陶器	個人蔵
濱田 庄司	赤絵花瓶	昭和43 (1968) 年	陶器	個人蔵
濱田 庄司	地鉄丸紋赤絵取皿	制作年不詳	陶器	個人蔵
濱田 庄司	掛合釉方壺	制作年不詳	陶器	個人蔵
濱田 庄司	鉄砂角瓶	制作年不詳	陶器	個人蔵
濱田 庄司	赤絵土瓶	昭和43 (1968) 年	陶器	個人蔵
河井 寛次郎	鐵薬長鉢	昭和25 (1950) 年頃	陶器	個人蔵
河井 寛次郎	呉洲鐵陶硯	昭和25 (1950) 年頃	陶器	個人蔵
河井 寛次郎	湯呑	昭和25 (1950) 年頃	陶器	個人蔵
河井 寛次郎	練上碗	昭和31 (1956) 年	陶器	個人蔵
河井 寛次郎	鐵釉花絵蓋物	昭和25 (1950) 年頃	陶器	個人蔵

### 『白樺』 ゆかりの作家たち

正宗 得三郎	河港	明治44 (1911) 年	油彩・カンヴァス	
正宗 得三郎	パリのアトリエ	大正12 (1923) 年	油彩・カンヴァス	
正宗 得三郎	婦人像 (パリジェンヌ)	大正 3 (1914) 年	油彩・カンヴァス	
有島 生馬	有島信子像	大正 2 (1913) 年	鉛筆、紙	個人蔵
有島 生馬	原田照子像	大正 3 (1914) 年	油彩・カンヴァス	個人蔵
梅原 龍三郎	赤絵皿に浜焼鯛	制作年不詳 (20世紀)	着彩、金泥・紙	
梅原 龍三郎	鴨	制作年不詳 (20世紀)	着彩、金箔・パネル	

作者名	作品名	制作年	材質・技法	所蔵
梅原 龍三郎	ヤーリーと鬼平红柿	制作年不詳 (20世紀)	着彩、金箔・紙	
梅原 龍三郎	葡萄と20世紀梨	制作年不詳 (20世紀)	着彩、金箔・絹、紙	
岸田 劉生	早春の畑	大正3 (1914) 年	油彩・カンヴァス	
岸田 劉生	春日遊戯図	大正6 (1917) 年	紙本水彩	
高田 博厚	岸田劉生像	昭和43 (1968) 年	ブロンズ	

描かれた植物 秋の草花と果蔬

宮本 武蔵	茄子図	江戸時代 (17世紀)	紙本墨画	
浦上 春琴	花卉図巻	文化13 (1816) 年	絹本着色	
浦上 春琴	菊花図	天保11 (1840) 年	絹本淡彩	
衣笠 豪谷	梅菊秋海棠図	明治時代 (19世紀)	紙本着色	
衣笠 豪谷	写生画帖	明治15-29 (1882-96) 年	紙本墨画	
塩出 英雄	秋草	昭和6 (1931) 年	紙本着色	
高橋 秋華	牡丹・秋草図 (左隻)	昭和10 (1935) 年	絹本着色	個人蔵
稲葉 春生	萩に小禽図	昭和初期 (20世紀)	絹本着色	
徳永 仁臣	菊	大正-昭和時代 (20世紀)	金地紙着色	
松岡 壽	ぶどう	昭和15 (1940) 年	油彩・カンヴァスボード	
原 撫松	茄子	明治25 (1892) 年	水彩・紙	
原 撫松	松茸	明治25 (1892) 年頃	水彩・紙	
赤松 麟作	葉鶏頭	制作年不詳 (20世紀)	油彩・カンヴァス	
正宗 得三郎	しぐれ芙蓉	昭和35 (1960) 年	油彩・カンヴァス	
梅原 龍三郎	ポーポーと葡萄	制作年不詳 (20世紀)	着彩・紙	
安井 曾太郎	静物 (ペルシャ皿に葡萄と柿)	制作年不詳 (20世紀)	水彩・紙	
中山 巍	かぼちゃのある静物	昭和32 (1957) 年頃	油彩・カンヴァス	
佐藤 一章	静物	昭和25 (1950) 年	油彩・カンヴァス	
平賀 石泉	小皿 (蔬菜)	大正-昭和時代 (20世紀)	木・偏刀彫	
難波 仁斎	描菊醬秋草文飾箱	昭和50 (1975) 年	乾漆、描菊醬	個人蔵
難波 仁斎	描菊醬呼月卓	昭和40 (1965) 年	木造、描菊醬	
山口 松太	存清錦秋手箱	平成4 (1992) 年頃	存清、すり箔	
小松原 賢次	平文割貝伏蒔絵箱「錦秋」	平成20 (2008) 年	平文、螺鈿	
岡本 欣三	釉裏紅鶏頭図花瓶	昭和10 (1935) 年頃	陶土	
小野 為郎 (二代)	柚子と小鳥	昭和時代 (20世紀)	三彩彫漆	
小野 為郎 (二代)	石榴と小鳥	昭和時代 (20世紀)	三彩彫漆	
小野 為郎 (二代)	柿と小鳥	昭和時代 (20世紀)	三彩彫漆	
山口 松太	堆錦蒔絵柿文香盒	平成16 (2004) 年	堆錦、蒔絵	

作者名	作品名	制作年	材質・技法	所蔵
小松原 賢次	秋海棠文棗	平成16（2004）年	螺鈿、卵殻	
小松原 賢次	菊花文卵殻棗	昭和55（1980）年	卵殻	
小松原 賢次	切貝菊花四方盆	平成23（2011）年	螺鈿	
山口 松太	木彫茄子香合	昭和-平成時代（20世紀）	木彫、金彩	
山口 松太	木彫嘉木香合	昭和-平成時代（20世紀）	木彫、漆塗り、金彩	
山口 松太	木彫嘉木ニ金亀虫香合	平成3（1991）年	木彫、金彩	
山口 松太	木彫石榴香合	平成3（1991）年	木彫、金彩	
山口 松太	慈姑置物	昭和-平成時代（20世紀）	木彫、金彩	
岡本 欣三	紫欣釉茄子香盒	昭和時代（20世紀）	陶土	書院に展示
徳永 仁臣	柿	大正-昭和時代（20世紀）	紙本着色	書院に展示

第7期作品目録 12月15日(金)－2024年1月14日(日)

工芸は第8期まで通期展示  
※所蔵表記がない作品は本館所蔵品

作者名	作品名	制作年	材質・技法	所蔵	備考
【工芸】 2024 甲辰－龍飛鳳舞－					
難波 仁齋	漆黒龍鳳紋八角盛器	昭和時代(20世紀)	木、蒔絵		
難波 仁齋	描きんま香卓 銘歛楽	昭和44(1969)年	乾漆、描蒔髹		
難波 仁齋	漆輪花鉢	昭和時代(20世紀)	乾漆、描蒔髹	個人蔵	
難波 仁齋	晴松文壺	昭和25(1950)年頃	乾漆、蒔絵	個人蔵	
難波 仁齋	描蒔髹乾漆亀甲盆	昭和39(1964)年	乾漆、描蒔髹	個人蔵	
難波 仁齋	描蒔髹瑞果和楽中棗	昭和時代(20世紀)	木、描蒔髹	個人蔵	
難波 仁齋	描蒔髹吹寄文砧花入	昭和時代(20世紀)	乾漆、描蒔髹・蒔絵	個人蔵	
難波 仁齋	蒔絵松竹梅茶杓(銘 福寿)	昭和時代(20世紀)	木、蒔絵	個人蔵	
難波 仁齋	蒔絵松竹梅茶杓(銘 松風)	昭和時代(20世紀)	木、蒔絵	個人蔵	
難波 仁齋	描きんま梅林文平棗	昭和40年代後半 (1970-1975頃)	木、描蒔髹		
難波 仁齋	金色紙漆絵(描蒔髹瑞鳥)	昭和45(1970)年	紙本漆絵	個人蔵	
難波 仁齋	金色紙漆絵(吉備路)	昭和47(1972)年	紙本漆絵		
難波 仁齋	金色紙漆絵(蝶文壺)	昭和40(1965)年	紙本漆絵		
難波 仁齋	軸「梅柳図」	昭和時代(20世紀)	紙本淡彩	個人蔵	
山口 松太	乾漆龍文水指	昭和51(1976)年頃	乾漆、蒔絵		
山口 松太	蒔絵瑞松飾箱	平成3(1991)年	乾漆、卵殻・螺鈿・蒔絵		
山口 松太	松絵飾り盆	昭和-平成時代(20世紀)	木、漆絵		
山口 松太	重ね杯	昭和-平成時代(20世紀)	木、漆絵		
山口 松太	金色紙漆絵(松と椀)	昭和-平成時代(20世紀)	紙本漆絵		
小野 為郎(二代)	飾り皿 柚子	昭和時代(20世紀)	三彩彫漆		
小野 為郎(二代)	飾り皿 鷹	昭和時代(20世紀)	三彩彫漆		
小野 為郎(二代)	飾り皿 海老	昭和時代(20世紀)	三彩彫漆		
金重 陶陽	備前緋襷鳳凰菓子盆	昭和3(1928)年	備前土	個人蔵	
金重 陶陽	備前緋襷銚子	昭和12-13(1937-38)年	備前土	個人蔵	
西村 春湖	瑞鳥雲透し香炉	大正-昭和時代(20世紀)	備前土	個人蔵	書院飾り
西村 春湖	備前龍耳獅子香炉	昭和時代(20世紀)	備前土		
大饗 仁堂	騎龍観音	昭和時代(20世紀)	備前土	個人蔵	
岡本 欣三	赤絵皿	昭和47(1972)年	陶器		
岡本 欣三	白梅香盒	大正-昭和時代(20世紀)	磁器		
岡本 欣三	紫欣釉茄子香盒	大正-昭和時代(20世紀)	磁器		
岡本 欣三	天目黒梅文茶碗	大正-昭和時代(20世紀)	陶器		
香取 正彦	富貴の臺	昭和時代(20世紀)	銅 鍍金 鍍金		書院飾り
金井 春山	備前 龍	昭和時代(20世紀)	備前土		書院飾り

作者名	作品名	制作年	材質・技法	所蔵	備考
<b>【書画】 浦上玉堂、異例の新作</b>					
浦上 玉堂	大根図	江戸時代（18世紀）	絹本墨画	個人蔵	
浦上 玉堂	墨石図	寛政6（1794）年頃	紙本墨画	個人蔵	
	玉堂所用提重	江戸時代（19世紀）	朱漆塗金泥彩		浦上家伝来
浦上 玉堂	山水図（扇面）	寛政元（1789）年	紙本墨画淡彩	個人蔵	
浦上 玉堂	一行書（粉蝶）	江戸時代（18世紀）	紙本墨書		大原コレクション
浦上 玉堂	三行書（人各有）	江戸時代（18世紀）	紙本墨書		大原コレクション

### 辰年・新年特集

伝月壺	白衣観音図	元時代（14世紀）	絹本墨画		
不詳	如意輪観音図	南北朝時代（14世紀）	絹本着色	正光院蔵	重要美術品
広瀬 臺山	瓶花図	江戸時代（18-19世紀）	絹本着色	個人蔵	
(画) 藤 桃斎 (賛) 斎藤 九暉	描龍図	江戸時代（19世紀）	絹本着色		
夏雲 落款	雲龍図	江戸時代（18世紀）	紙本墨画	個人蔵	
岡本 豊彦	仙女太真王夫人図	江戸時代（19世紀）	絹本着色	個人蔵	
(画) 岡本 豊彦 (賛) 六如	龍図	江戸時代（19世紀）	絹本墨画	個人蔵	
柴田 義董	群仙図巻	文化8（1811）年	紙本淡彩	個人蔵	
鹿子木 孟郎	豊後風連洞の古話	昭和2（1927）年	油彩、カンヴァス	個人蔵	
松島 白虹	鯉に山吹	昭和10（1935）年	絹本着色		
稲葉 春生	浮鯉	昭和時代（20世紀）	絹本着色		
高橋 秋華	牡丹図	大正-昭和前期（20世紀）	絹本着色		
高橋 秋華	武陵桃源図	大正-昭和前期（20世紀）	紙本淡彩		
高橋 秋華	鶴図	大正-昭和前期（20世紀）	紙本着色		
高橋 秋華	旭日蒼浪之図	昭和8（1933）年	絹本着色		
高橋 秋華	雪景図	昭和前期（20世紀）	絹本着色		
高橋 秋華	蓬萊仙境図	昭和前期（20世紀）	絹本着色		
高橋 秋華	獅子舞図	昭和28（1953）年	紙本着色		書院に展示

第8期作品目録 1月16日(火)－2月18日(日)

工芸は第7期から通期展示  
※所蔵表記がない作品は本館所蔵品

作者名	作品名	制作年	材質・技法	所蔵	備考
【工芸】 2024 甲辰－龍飛鳳舞－					
難波 仁齋	漆黒龍鳳紋八角盛器	昭和時代(20世紀)	木、蒔絵		
難波 仁齋	描きんま香卓 銘歛楽	昭和44(1969)年	乾漆、描蒔髹		
難波 仁齋	漆輪花鉢	昭和時代(20世紀)	乾漆、描蒔髹	個人蔵	
難波 仁齋	晴松文壺	昭和25(1950)年頃	乾漆、蒔絵	個人蔵	
難波 仁齋	描蒔髹乾漆亀甲盆	昭和39(1964)年	乾漆、描蒔髹	個人蔵	
難波 仁齋	描蒔髹瑞果和楽中棗	昭和時代(20世紀)	木、描蒔髹	個人蔵	
難波 仁齋	描蒔髹吹寄文砧花入	昭和時代(20世紀)	乾漆、描蒔髹・蒔絵	個人蔵	
難波 仁齋	蒔絵松竹梅茶杓(銘 福寿)	昭和時代(20世紀)	木、蒔絵	個人蔵	
難波 仁齋	蒔絵松竹梅茶杓(銘 松風)	昭和時代(20世紀)	木、蒔絵	個人蔵	
難波 仁齋	描きんま梅林文平棗	昭和40年代後半 (1970-1975頃)	木、描蒔髹		
難波 仁齋	金色紙漆絵(描蒔髹瑞鳥)	昭和45(1970)年	紙本漆絵	個人蔵	
難波 仁齋	金色紙漆絵(吉備路)	昭和47(1972)年	紙本漆絵		
難波 仁齋	金色紙漆絵(蝶文壺)	昭和40(1965)年	紙本漆絵		
難波 仁齋	軸「梅柳図」	昭和時代(20世紀)	紙本淡彩	個人蔵	
山口 松太	乾漆龍文水指	昭和51(1976)年頃	乾漆、蒔絵		
山口 松太	蒔絵瑞松飾箱	平成3(1991)年	乾漆、卵殻・螺鈿・蒔絵		
山口 松太	松絵飾り盆	昭和-平成時代(20世紀)	木、漆絵		
山口 松太	重ね杯	昭和-平成時代(20世紀)	木、漆絵		
山口 松太	金色紙漆絵(松と椀)	昭和-平成時代(20世紀)	紙本漆絵		
小野 為郎(二代)	飾り皿 柚子	昭和時代(20世紀)	三彩彫漆		
小野 為郎(二代)	飾り皿 鷹	昭和時代(20世紀)	三彩彫漆		
小野 為郎(二代)	飾り皿 海老	昭和時代(20世紀)	三彩彫漆		
金重 陶陽	備前緋襷鳳凰菓子盆	昭和3年(1928)	備前土	個人蔵	
金重 陶陽	備前緋襷銚子	昭和12-13(1937-38)年	備前土	個人蔵	
西村 春湖	瑞鳥雲透し香炉	大正-昭和時代(20世紀)	備前土	個人蔵	書院飾り
西村 春湖	備前龍耳獅子香炉	昭和時代(20世紀)	備前土		
大饗 仁堂	騎龍観音	昭和時代(20世紀)	備前土	個人蔵	
岡本 欣三	赤絵皿	昭和47(1972)年	陶器		
岡本 欣三	白梅香盒	大正-昭和時代(20世紀)	磁器		
岡本 欣三	紫欣釉茄子香盒	大正-昭和時代(20世紀)	磁器		
岡本 欣三	天目黒梅文茶碗	大正-昭和時代(20世紀)	陶器		
香取 正彦	富貴の臺	昭和時代(20世紀)	銅、鍍金・鍍金		書院飾り
金井 春山	備前 龍	昭和時代(20世紀)	備前土		書院飾り

作者名	作品名	制作年	材質・技法	所蔵	備考
<b>【書画】 令和2～4年度新収蔵品を中心に</b>					
海野 蠖斎	山水図	文化14（1817）年	絹本墨画淡彩	令和3年度	
斎藤 九畹	雨中帰村図	文政4（1821）年	紙本着色	令和3年度	
斎藤 九畹	楼閣山水図（秋景山水図）	文政5（1822）年	絹本淡彩	令和3年度	
狩野 永朝	山水人物図	江戸時代後期（19世紀）	紙本着色	令和3年度	
小橋 陶復	竹石図	江戸時代後期（19世紀）	絹本墨画淡彩	令和2年度	
小橋 陶復	山水図	江戸時代後期（19世紀）	紙本墨画淡彩	令和2年度	
小橋 陶復	山水図	江戸時代後期（19世紀）	絹本墨画淡彩	令和2年度	
小橋 陶復	墨梅図	文化8（1811）年	紙本墨画	令和2年度	書院に展示
白神 皞々	山水図	江戸時代後期（19世紀）	絹本墨画淡彩	令和3年度	
三好 雲仙	楼閣山水図	文久3（1863）年	紙本墨画淡彩	令和3年度	
三好 雲仙	唐子七福神鶴亀図	江戸時代後期（19世紀）	絹本着色	令和3年度	
白神 澹庵	山水図（傲藍瑛）	安政6（1859）年	絹本着色	令和3年度	
岡部 雲程	山水図	明治4（1871）年	絹本淡彩	令和3年度	
岡本 金波	四季一禎山水図	明治19（1886）年	絹本淡彩	令和3年度	
西 晴雲	樹下人物図	昭和時代（20世紀）	紙本着色	令和3年度	
高橋 秋華	海金剛図屏風	大正-昭和時代（20世紀）	紙本墨画	平成19年	
高橋 秋華	外金剛図屏風	大正-昭和時代（20世紀）	紙本墨画	令和4年度	
高橋 秋華	牡丹図	大正-昭和前期（20世紀）	絹本着色	令和4年度	
高橋 秋華	武陵桃源図	大正-昭和前期（20世紀）	紙本淡彩	令和4年度	
高橋 秋華	鶴図	大正-昭和前期（20世紀）	紙本着色	令和4年度	
高橋 秋華	旭日蒼浪之図	昭和8（1933）年	絹本着色	令和4年度	
高橋 秋華	雪景図	昭和前期（20世紀）	絹本着色	令和4年度	
高橋 秋華	蓬莱仙境図	昭和前期（20世紀）	絹本着色	令和4年度	

第9期作品目録 2月27日(火)－4月7日(日)

※所蔵表記がない作品は本館所蔵品

作者名	作品名	制作年	材質・技法	所蔵
【洋画】 戦後の昭和から平成まで				
国吉 康雄	ミスターエース	昭和27 (1952) 年	油彩・カンヴァス	福武コレクション
国吉 康雄	祭りは終わった	昭和22 (1947) 年	油彩・カンヴァス	
柚木 久太	山と空	昭和35 (1960) 年	油彩・カンヴァス	
柚木 祥吉郎	子	昭和26 (1951) 年	油彩・カンヴァス	
佐藤 一章	雪の朝	昭和22 (1947) 年	油彩・カンヴァス	
小林 喜一郎	自画像	昭和36 (1961) 年	油彩・カンヴァス	
片岡 銀蔵	或る老人 (自画像)	昭和33 (1958) 年	油彩・カンヴァス	
石原 義武	港	昭和42 (1967) 年	油彩・カンヴァス	
佐竹 徳	オリーブ樹	不詳 (1959-1988)	油彩・カンヴァス	
野平 上	牛窓とオリーブ樹	昭和38 (1963) 年	油彩・カンヴァス	岡山県郷土文化財団蔵
高谷 重生	清澄	昭和37 (1962) 年頃	油彩・カンヴァス	
小林 易夫	かい笛	昭和42 (1967) 年	油彩・カンヴァス	
青地 秀太郎	新雪の乗鞍岳	昭和50 (1975) 年	油彩・カンヴァス	
中山 巍	白の中の群像	昭和41 (1966) 年	油彩・カンヴァス	
中津瀬 忠彦	風景 (初夏)	昭和23 (1948) 年頃	油彩・カンヴァス	
山本 正	神器	昭和34 (1959) 年	油彩・カンヴァス	
水野 恭子	温室B	昭和28 (1953) 年	油彩・カンヴァス	
小野 絵麻	裏道がお好き	昭和52 (1977) 年	油彩、アクリル絵具・カンヴァス	
小野 二三	鳥	昭和34 (1959) 年	油彩・カンヴァス	
吉田 俊雄	牛	昭和33 (1958) 年	油彩・カンヴァス	
青木 正春	作品 (祭礼)	昭和37 (1962) 年頃	油彩・カンヴァス	
アオキ スミエ	1983	昭和58 (1983) 年	油彩、鉛筆・カンヴァス	
斎藤 真一	さすらいの楽師	昭和54 (1979) 年	油彩・カンヴァス	
赤木 曠児郎	ノートルダム・ド・パリ	昭和52 (1977) 年	油彩・カンヴァス	
宮 忠子	冬の太陽	昭和55 (1980) 年	麻紙・墨	
岡崎 信吾	青い麦	昭和62 (1987) 年	油彩・カンヴァス	
岡野 耕三	共鳴して鳴りだすふたつの弦	昭和46 (1971) 年	油彩・カンヴァス	
有元 利夫	会話	昭和55 (1980) 年	混合技法・カンヴァス	
瀬本 容子	祝祭	平成9 (1997) 年	テンペラ・板	

作者名	作品名	制作年	材質・技法	所蔵
坂田一男とA.G.O.、そして岡山ゆかりの前衛美術				
坂田 一男	作品	昭和22 (1947) 年 7月27日	油彩・カンヴァス	
坂田 一男	コンポジション	昭和23 (1948) 年	油彩・カンヴァス	
坂田 一男	コンポジション	不詳	油彩・カンヴァス	
坂田 一男	コンポジション	昭和24 (1949) 年	油彩・カンヴァス	
坂田 一男	或る夜の幻想	昭和24 (1949) 年	油彩・カンヴァス	
坂田 一男	コンポジション (メカニック・エレメント)	昭和30 (1955) 年	油彩・カンヴァス	
坂田 一男	平行線と濃度によるコンポジション	昭和30 (1955) 年	油彩・カンヴァス	個人蔵
坂田 一男	力学的構成	昭和31 (1956) 年	油彩・カンヴァス	
竹内 清	神話・たぢからを	昭和25 (1950) 年	油彩・カンヴァス	
竹内 清	神話・うずめ	昭和25 (1950) 年	油彩・カンヴァス	
三橋 健	作品 (錨作り)	昭和32 (1957) 年	油彩・カンヴァス	
横田 建三	和の中の演出プラン	昭和38 (1963) 年	油彩・板	個人蔵
工藤 哲巳	限定プールに於ける増殖性連鎖反応	昭和35 (1960) 年	ラッカー・板	個人蔵
中原 浩大	ギフチョウ	昭和61 (1986) 年	油彩・カンヴァス	個人蔵
劉 生容	焼金 No.6	昭和40 (1965) 年	油彩、コラージュ・カンヴァス	
東島 毅	Untitled	平成11 (1999) 年	ハウスペイント、スプレーペイント、 モデリングペースト・カンヴァス	
寺田 武弘	変位 (2)	昭和44 (1969) 年	木	



## 2. 岡山の美術(特別展示、収蔵品特集)

「岡山の美術」に関して、特別展示と収蔵品特集をおこない、内容を充実させている。

令和5(2023)年度 特別企画、収蔵品特集 一覧

展 覧 会 名	会 期	会期日数
特別展示 第十三回I氏賞受賞作家展 内なる日常-feel the pulse	2023年11月11日(土) - 12月10日(日)	27
特別展示 もっと伝統工芸 技と美の出会い 陶芸 米田和(九谷焼)	11月11日(土) - 12月10日(日)	27
特別展示 生誕140年 清水比庵展 ～日々を愛でる～	11月11日(土) - 12月10日(日)	27
収蔵品特集 中山巍	12月15日(金) - 2024年2月18日(日)	53

## 岡山の美術 特別展示 第十三回I氏賞受賞作家展 内なる日常—feel the pulse

会 期 2023年11月11日(土)－12月10日(日)

会 場 岡山県立美術館 2階展示室

主 催 岡山県立美術館

### 【趣旨】

岡山県にゆかりのある新進気鋭の美術作家を支援し、次代を担う美術家の育成を目指す「I氏賞」の第13回(2019年度)・第14回(2020年度)大賞受賞作家である、平子雄一と工藤あゆみの作品を紹介する展覧会。

植物や自然と人間との共存関係をテーマに制作を続ける平子雄一は、500号の大作《Lost in Thought 109》を含む絵画作品と、木材を彫刻し彩色した立体作品によるインスタレーション《Wooden Wood 47》などにより、カラフルでスケールの大きな空間を展開した。絵と文章からなる作品を中心に繊細な感覚を示す工藤あゆみは、初期の代表作である《はかれないものをはかる》シリーズ、コロナ禍でロックダウンとなったイタリアでの日々を綴った《IO RESTO A CASA (I stay home)》シリーズの作品群とともに、本展準備のため日本に帰国した11月の16日間の新聞紙面を題材に最新作《Because, it's my news.》を出品した。

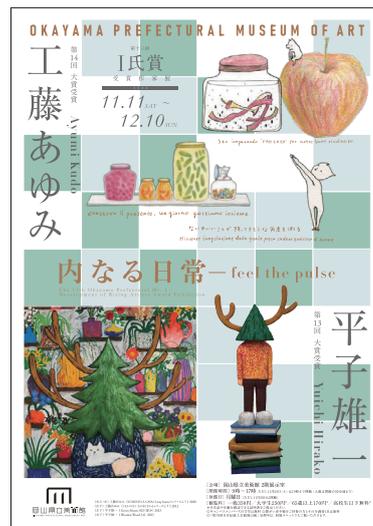
また会期初日に、出品作家によるアーティストトークを開催し、ともに岡山県出身である二人の作家の制作背景や、作品の魅力に触れていただく機会とした。

### 【関連事業】

#### ●アーティストトーク

日 時：11月11日(土) 14:00－

会 場：2階展示室



チラシ (A4表)



チラシ (A4裏)



アーティストトーク



展示風景

【刊行物】

● 展覧会図録



図録ケース（外面）

【出品目録】

第十三回 I氏賞受賞作家展 内なる日常 — feel the pulse 平子雄一・工藤あゆみ  
The 13th Okayama Prefectural Mr.I Development of Rising Artists Award Exhibition

平子 雄一（ひらこ ゆういち）

番号	作品名	制作年	材質	所蔵
1	Lost in Thought 109	2023	Acrylic on canvas	個人蔵 (Shin Takeuchi)
2	Green Master 82	2023	Acrylic on canvas	作家蔵
3	Lost in Thought 110	2023	Acrylic on canvas	作家蔵
4	Wooden Wood 48	2023	Acrylic on wood	作家蔵
5	Wooden Wood 47	2023	Acrylic on wood, in 16 parts	作家蔵

工藤 あゆみ（くどう あゆみ）

番号	作品名	制作年	材質	所蔵
1	IO RESTO A CASA (I stay home)	2020	紙・インク・色鉛筆など	作家蔵
2	はかれないものをはかる	2012	木・インク・色鉛筆	作家蔵
3	Because, it's my news.	2023	キャンバス・インク・色鉛筆・新聞	作家蔵



## 【出品目録】

※作家名表記のないものはすべて米田和による作品 ※材質表記のないものはすべて磁器

管理番号	作品名	作家名	制作年	材質	所蔵先	備考
緑-1	さいびょうさぎもんまいたざら 彩描うさぎ文まな板皿		2001		緑ヶ丘美術館	
緑-2	さいびょうこうだいまるくみざら 彩描高台丸組皿		2005		緑ヶ丘美術館	
緑-3	こくびょうちようかもんつぼ 黒描鳥花文壺		2016		緑ヶ丘美術館	
緑-4	さいじうさぎもんばち 彩磁兎文鉢		1992		緑ヶ丘美術館	第39回日本伝統工芸展入選
緑-5	さいゆうはなもんかくざら 彩釉花文角皿		2007		緑ヶ丘美術館	
緑-6	さいゆうちようかもんさんかくざら 彩釉鳥花文三角皿		2006		緑ヶ丘美術館	神戸ビエンナーレ2007入選
緑-7	さいゆうとりもんいたざら 彩釉鳥文板皿		2006		緑ヶ丘美術館	
緑-8	こくびょうちようかもんぎんぶたつきこつぼ 黒描鳥花文銀蓋付小壺		2018		緑ヶ丘美術館	
緑-9	こくびょうちようかもんぶたつきこつぼ 黒描鳥花文蓋付小壺		2018		緑ヶ丘美術館	
緑-10	こくびょうちようかもんこうだいざら 黒描鳥花文高台皿		2018		緑ヶ丘美術館	
緑-11	こくびょうちようかもんおりき 黒描鳥花文折り器		2018		緑ヶ丘美術館	
緑-12	こくびょうちようかもんかくざら 黒描鳥花文角皿		2012		緑ヶ丘美術館	第59回日本伝統工芸展入選
緑-13	こくびょうちようかもんばち 黒描鳥花文鉢		2015		緑ヶ丘美術館	
緑-14	こくびょうぎんさいはなもんつぼ 黒描銀彩花文壺		2012		緑ヶ丘美術館	
緑-15	こくびょうちようかもんつぼ 黒描鳥花文壺		2012		緑ヶ丘美術館	
緑-16	こくびょうつぼ「みずべ」 黒描壺「水辺」		2018		緑ヶ丘美術館	
緑-17	こくびょうちようかもんぶたつきこつぼ 黒描鳥花文蓋付壺		2018		緑ヶ丘美術館	
緑-18	さいびょうちようかもんくみざら 彩描鳥花文組皿		2018		緑ヶ丘美術館	
緑-19	こくびょうみずべのずあさばち 黒描水辺図浅鉢		2019		緑ヶ丘美術館	
緑-20	さいゆうかしき「みずのほしのかけら」 彩釉菓子器「水ノ星ノカケラ」		2018		緑ヶ丘美術館	第12回現代茶陶展入選
緑-21	さいゆうとりもんさんかくざら 彩釉鳥文三角皿		2019		緑ヶ丘美術館	
緑-22	さいゆうはなとりのずかくざら 彩釉花ト鳥図角皿		2019		緑ヶ丘美術館	
緑-23	さいゆうくさととのずみずさし 彩釉草ト鳥図水指		2018		緑ヶ丘美術館	
緑-24	こくびょうとりずはないれ 黒描鳥図花入		2020		緑ヶ丘美術館	

管理番号	作品名	作家名	制作年	材質	所蔵先	備考
緑-25	さいゆううさぎもんばち 彩釉うさぎ文鉢		1997		緑ヶ丘美術館	第38回石川の伝統工芸展北國新聞社長賞受賞
緑-26	さいゆううさぎもんばち 彩釉うさぎ文鉢		1995		緑ヶ丘美術館	第42回日本伝統工芸展入選
緑-27	さいびょうはなもんちようかくざら 彩描花文長角皿		2006		緑ヶ丘美術館	第53回日本伝統工芸展入選
緑-28	こくびょうとりもんつぼ「みずべ」 黒描鳥文壺「水辺」		2018		緑ヶ丘美術館	
緑-29	こくびょうかひょうもんつぼ 黒描霞漂文壺		2019		緑ヶ丘美術館	第66回日本伝統工芸展入選
緑-30	こくびょうかちようもんばち 黒描花鳥文鉢		2017		緑ヶ丘美術館	第64回日本伝統工芸展入選
緑-31	くろえふかばち「みずべ」 黒絵深鉢「水辺」		2019		緑ヶ丘美術館	
緑-32	くろえばち「みずにあそぶ」 黒絵鉢「水ニ遊ぶ」		2020		緑ヶ丘美術館	
緑-33	さいびょうそうもんさんかくなみざら 彩描草文三角波皿		2020		緑ヶ丘美術館	
緑-34	ちゃぼこ 茶箱	箱：浦えつ子 仕覆・袱紗：西村たみ子 拭漆：若林雅子	2020		緑ヶ丘美術館	
緑-35	ちゃかご 茶籠	籠：浦えつ子 仕覆・袱紗：西村たみ子 茶杓・茶巾入：笹島友紀子 茶筌筒(杉八角)：作者不明	2018		緑ヶ丘美術館	
緑-36	さいゆうくろえちようかもんふたつきつぼ 彩釉黒絵鳥花文蓋付壺		2019		緑ヶ丘美術館	
緑-37	こくびょうはずつぼ 黒描蓮図壺		2020		緑ヶ丘美術館	第8回陶美展十四代柿右衛門記念賞受賞
緑-38	さいびょうくろえおもだかもんつぼ 彩釉黒絵沢瀉文壺		2019		緑ヶ丘美術館	
緑-39	さいゆうとりもんちやわん 彩釉鳥文茶碗		2018		緑ヶ丘美術館	
緑-40	こくびょうつばきつぼ 黒描椿図壺		2021		緑ヶ丘美術館	
緑-41	いちりんのはな 一輪の花（白）		2020		緑ヶ丘美術館	
緑-42	さいゆうかちようつぼ 彩釉花鳥図壺		2020		緑ヶ丘美術館	
緑-43	いちりんのはな 一輪の花（青）		2020		緑ヶ丘美術館	
緑-44	こくびょうはすのみちずちようかくざら 黒描蓮ノ道図長角皿 「とこをはかと」 「何処ヲハカト」		2021		緑ヶ丘美術館	第9回 菊池ビエンナーレ入選
緑-45	こくびょうようかもんちようかくざら 黒描揺花文長角皿		2019		緑ヶ丘美術館	第8回菊池ビエンナーレ入選
緑-46	こくびょうやまいもつぼ 黒描山芋図壺		2021		緑ヶ丘美術館	第61回石川の伝統工芸展入選

管理番号	作品名	作家名	制作年	材質	所蔵先	備考
米-1	こくびょうちようかもんちようかくざら 黒描鳥花文長角皿		2009		作家蔵	第56回日本伝統工芸展入選
米-2	さいゆうこくびょうとりもんちようかくざら 彩釉黒描鳥花文長角皿		2018		作家蔵	第59回石川の伝統工芸展入選
米-3	こくびょうちようかもんつぼ 黒描鳥花文壺		2008		作家蔵	
米-4	こくびょうちようかもんばち 黒描鳥花文鉢		2014		作家蔵	
米-5	さいびょうはなもんばち 彩描花文鉢		2006		作家蔵	
米-6	さいびょうさぎもんざら 彩描うさぎ文皿		1996		作家蔵	第43回日本伝統工芸展入選
米-7	ふたつきこつぽ 蓋付小壺 (1)		2022		作家蔵	
米-8	ふたつきこつぽ 蓋付小壺 (2)		2022		作家蔵	
米-9	ふたつきこつぽ 蓋付小壺 (3)		2022		作家蔵	
米-10	ふたつきこつぽ 蓋付小壺 (4)		2022		作家蔵	
米-11	ふたつきこつぽ 蓋付小壺 (5)		2022		作家蔵	
米-12	せいさくこうてい 制作工程		2023		作家蔵	
緑-47-54	墨画		2018	紙本墨画	緑ヶ丘美術館	

#### 参考出品

古-1	こくたにあおでばしょうずはち 古九谷 青手芭蕉図鉢	作者不詳	17世紀		能美市九谷焼美術館	
古-2	りゅうかきもんのうこうずばん 龍花卉文農耕図盤	九谷 庄三	1816 - 1883		能美市九谷焼美術館	

#### 書院

特別出品 For the silver	篠田 桃紅		1964	紙本墨画金銀彩	個人蔵	
---------------------	-------	--	------	---------	-----	--

# 岡山の美術 特別展示

## 生誕140年 清水比庵展

### ～日々を愛でる～

**会 期** 2023年11月11日(土) - 12月10日(日)

**会 場** 岡山県立美術館 2階展示室

**主 催** 岡山県立美術館

**助 成** 公益財団法人福武教育文化振興財団

**後 援** 岡山県教育委員会、岡山市、岡山市教育委員会、  
公益財団法人岡山県郷土文化財団、  
公益社団法人岡山県文化連盟、  
一般財団法人岡山県国際交流協会、  
山陽新聞社、RSK山陽放送、OHK岡山放送、  
TSCテレビせとうち、RNC西日本放送、  
KSB瀬戸内海放送



B3ポスター

### 【趣旨】

清水比庵（1883-1975）は、歌・書・画の三芸において優れた作品を残した高梁市出身の歌人である。京都帝国大学法律学科を卒業後、司法官・判事を経て銀行や企業に務め、昭和5（1930）年に栃木県日光町長に就任。高梁時代より歌・書・画に親しみ、独学独習により自身の作風を築いた。日光町長在任時は特に短歌の創作を積極的に行い歌壇の注目を受け、その後昭和20～30年代には自詠の短歌を独特な書体で墨書し、温かみのある画を添える作品をより盛んに制作。昭和30年代後半、80歳を迎える頃から力強さとのびやかさを備えた独自の芸術を作り上げた。

本展覧会では、ご遺族所蔵の作品を中心に約40点を、退職前から亡くなるまでの時系列に沿って展示し、歌・書・画を横断する多様な比庵芸術を紹介した。

### 【関連事業】

- 開催記念ギャラリートーク
 

日 時：11月12日（日）14:00-14:30

会 場：2階展示室

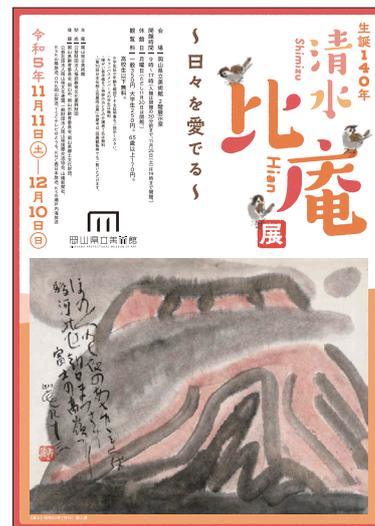
講 師：ワーデン充子氏（清水比庵の孫）
- フロアレクチャー
 

日 時：①11月25日（土）17:30-18:00

②12月10日（日）14:00-14:30

会 場：2階展示室

講 師：橘凜（当館学芸員）

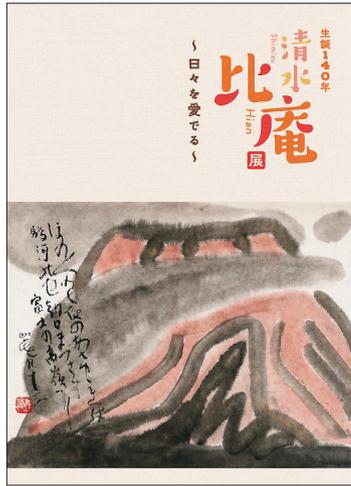


チラシ (A4表)



チラシ (A4裏)

【刊行物】  
●小冊子



小冊子



展示風景

【出品目録】

番号	作者	題名	年代	員数	材質	所蔵
資料	清水比庵	絵葉書	大正～昭和	1式		個人
1	清水比庵	夕茜	昭和初期	1幅	紙本着色 軸装	個人
2	清水比庵	あを空の	昭和初期	1幅	紙本墨書 軸装	個人
3	清水比庵	富士山	昭和初期	1幅	紙本墨画 軸装	個人
4	清水比庵	山居の窓	昭和初期	1幅	紙本着色 軸装	個人
5	清水比庵	富士山裾 青木原紅葉	昭和初期	1幅	紙本着色 軸装	個人
6	清水比庵	閑庭暖日	昭和初期	1面	紙本着色 額装	個人
7	清水比庵	樵婦	昭和初期	1幅	紙本着色 軸装	岡山県立美術館
8	清水比庵	山畑	昭和27年(1952)頃	1幅	紙本着色 軸装	個人
9	清水比庵	ふるさと	昭和34年(1959)	1幅	紙本着色 軸装	個人
10	清水比庵	牛追い	昭和後期	1面	紙本着色 額装	岡山県立美術館
11	清水比庵	鳥ひとつ	昭和37年(1962)	1面	紙本着色 額装	個人
12	清水比庵	老松	昭和後期	1面	紙本着色 額装	個人
13	清水比庵	御題 聲	昭和41年(1966)	1幅	紙本着色 軸装	個人
14	清水比庵	九十九里にて	昭和43年(1968)	1面	紙本墨書 額装	個人
15	清水比庵	老松	昭和44年(1969)	1幅	紙本着色 軸装	個人
16	清水比庵	春の一日	昭和45年(1970)	1幅	紙本着色 軸装	個人
17	清水比庵	竹聲松影	昭和後期	1幅	紙本着色 軸装	個人
18	清水比庵	山青く	昭和後期	1面	紙本着色 額装	岡山県立美術館
19	清水比庵	富士山	昭和45年(1970)	1幅	紙本着色 軸装	個人
20	清水比庵	少而学	昭和45年(1970)	1幅	紙本墨書 軸装	個人
21	清水比庵	一年十二ヶ月	昭和46年(1971)	1幅	紙本墨書 軸装	個人
22	清水比庵	ほのぼのと	昭和47年(1972)	1面	紙本墨書 額装	個人

番号	作者	題名	年代	員数	材質	所蔵
23	清水比庵	寿	昭和47年(1972)	1面	紙本着色 額装	個人
24	清水比庵	つわ蒨	昭和後期	1面	紙本着色 額装	個人
25	清水比庵	御題 祭里	昭和49年(1974)	1面	金属加工 額装	個人
26	清水比庵	柿と栗	昭和49年(1974)	1幅	紙本着色 軸装	個人
27	清水比庵	雨	昭和49年(1974)頃	1幅	紙本着色 軸装	岡山県立美術館
28	清水比庵	水の音	昭和後期	1面	紙本着色 額装	岡山県立美術館
29	清水比庵	福寿	昭和50年(1975)	1幅	紙本着色 軸装	個人
30	清水比庵	御題 星	昭和50年(1975)	1幅	紙本墨書 軸装	個人
31	清水比庵	林表明霽色	昭和50年(1975)	1幅	紙本墨書 軸装	個人
32	清水比庵	薔薇	昭和50年(1975)	1幅	紙本着色 軸装	個人
33	清水比庵	蘭亭序	昭和50年(1975)	1幅	紙本墨書 軸装	岡山県立美術館
34	清水比庵	富士山	昭和50年(1975)	1幅	紙本着色 軸装	個人
35	清水比庵	すずめ	昭和50年(1975)	1幅	紙本着色 軸装	岡山県立美術館
36	画：清水比庵 歌：岡本章子	雀	昭和後期	1幅	紙本着色 軸装	個人
37	画：清水三溪 歌：清水比庵	雀	昭和45年(1970)	1幅	紙本着色 軸装	個人
38	画：川合玉堂 短歌：清水比庵	雨情	昭和後期	1幅	紙本着色 軸装	個人
39	画：小林和作 歌：清水比庵	海	昭和後期	1面	紙本着色 額装	個人
40	清水比庵	庭木立	昭和後期	1点	陶器	岡山県立美術館
41	清水比庵	いくまはり	昭和後期	1点	陶器	岡山県立美術館

# 収蔵品特集 中山巍

会期 2023年12月15日(金) - 2024年2月18日(日)

会場 岡山県立美術館 2階展示室 (700㎡使用)

主催 岡山県立美術館

## 【趣旨】

当館は岡山市に生まれた中山巍（1893-1978）の個展を1999年に開催しています。以後ご遺族などから寄贈があり、このうち8点の作品を修復しました。修復作としては滞欧中の《男の全身》（1924）、帰国後に制作した《日曜画家と静物》（1932）などが挙げられます。中山は生誕130年であり、50点あまりの収蔵品（所蔵品と寄託品）を選んだうえで、滞欧期から太平洋戦争後に至る画業を、帰国後間もない頃の作品を中心にして振り返りました。

## 【関連事業】

### ●学芸員によるフロアレクチャー

講師：廣瀬就久（当館主任学芸員）

日時：12月23日（土）18:00-18:30 [美術のタベ]

2月12日（月・振休）14:00-14:30

場所：2階展示室

## 【刊行物】

### ●無料小冊子



**収蔵品特集 中山巍** Permanent Exhibition Collection Special Feature NAKAYAMA Takashi

中山巍(1893-1978)は岡山山前に生まれた。東京美術学校西洋画科を卒業して、同校研究科を1922年に修了したのち渡仏する。パリでは美術学校以来の友人たちと交流しながら、ブロンク(1929-1930)、シャギー(1931-1932)と親交を深めた。1928年に帰国して、滞欧作二冊展で発表する。その後1930年には創立美術協会を創設して、生涯この協会に活動した。当館では1999年中山の個展を開催した。その後遺族などから作品の寄贈があり、これまで8点の修復を行った。本展で8点を同時に紹介する。滞欧中の《男の全身》(1924)、ヨーロッパに滞在する日本の戦士などを描いた滞欧後の代表作である《日曜画家》(1929)と《婦人の休日(有閑女人図)》(1930)、そして戦後の《鳥を飼う室内》(1964)などが興味深い作品である。

中山は生誕130年を記念し、69点のうち50点の所蔵品に寄託品を合わせた収蔵品を運び、滞欧期から太平洋戦争後に至るまでの画業を、帰国後間もない頃の作品を中心にして振り返る。

21. 鳥を飼う静物 Still life with red music score



**収蔵品特集 中山巍** Collection Special Feature NAKAYAMA Takashi

2023年12月15日(金) - 2024年2月18日(日) FRI 15 DEC 2023 - SUN 18 FEB 2024

主 催：岡山県立美術館

開催期間：9:00-17:00（12月23日(土)は19:00閉館(入館は閉館30分前まで)）  
休 館 日：12月25日(日)、12月26日(日)（祝日）  
休 業 日：12月27日(日)（祝日）  
休 業 日：12月28日(月)（祝日）  
観 覧 料：一般150円・大学生250円・65歳以上の方70円・高校生以下無料  
【学生証、年齢を証明できる証明書を提示してください】  
キッズのメンバーズは別途料金。障害者や高齢者等とごとの観覧料は別途。 ※特別展覧の特別観覧料(観覧券)も購入できます。

チラシ (A4表)

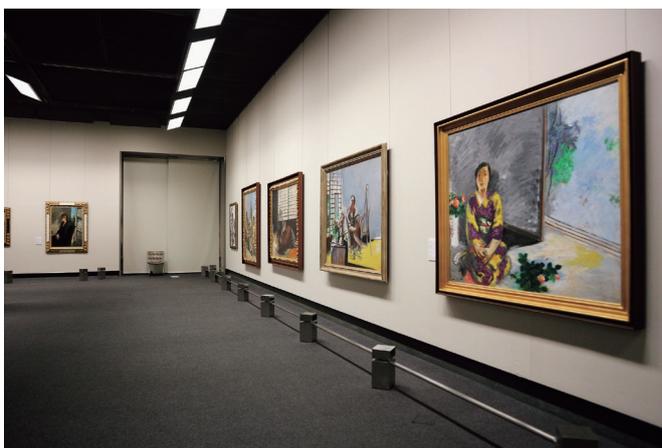


中山巍(1893-1978)は岡山山前に生まれた。東京美術学校西洋画科を卒業して、同校研究科を1922年に修了したのち渡仏する。パリでは美術学校以来の友人たちと交流しながら、ブロンク(1929-1930)、シャギー(1931-1932)と親交を深めた。1928年に帰国して、滞欧作二冊展で発表する。その後1930年には創立美術協会を創設して、生涯この協会に活動した。当館では1999年中山の個展を開催した。その後遺族などから作品の寄贈があり、これまで8点の修復を行った。本展で8点を同時に紹介する。滞欧中の《男の全身》(1924)、ヨーロッパに滞在する日本の戦士などを描いた滞欧後の代表作である《日曜画家》(1929)と《婦人の休日(有閑女人図)》(1930)、そして戦後の《鳥を飼う室内》(1964)などが興味深い作品である。

中山は生誕130年を記念し、50点あまりの収蔵品(所蔵品と寄託品)を選んだうえで、滞欧期から太平洋戦争後に至る画業を、帰国後間もない頃の作品を中心にして振り返りました。

岡山県立美術館  
〒700-0814 岡山県北區美観町3-46  
Tel. 086-232-4000 Fax 086-234-2068  
https://okayama-kgb.or.jp/

チラシ (A4裏)



展示風景

## 【出品目録】

※中山巍作品の材質はすべて油彩、カンヴァス The material and format of all Nakayama works are oil on canvas.  
 ※所蔵先無記載の作品は岡山県立美術館所蔵品 All works without location are the Okayama Prefectural Museum of Art Collections.

番号 No.	作品名	Title	寸法 dimensions (mm)		制作/加筆年 Date/Added	所蔵者 Location
			縦 L	横 W		
展覧会 Exhibition	小冊子 Booklet				* 後年加筆 Added Later	
<b>第1章 滞欧期まで(－1928)</b>						
1	静物	Still life	367	445	c.1921	個人蔵 Private Collection
2	1 プロフィール	Profile	455	335	1922/*	
3	パリの屋根	Roof of the houses in Paris	606	500	1922/*	
4	パリ淡雪	Light snow in Paris	455	335	1922/*	
5	2 男の全身	Full-Length portrait of a man	1289	880	1924	
6	家婦	House keeper	1167	803	1924/68	
7	3 家族	Family	1300	885	1925	
8	4 時計と男	Clock and man	909	727	1925	
9	5 森の見える寺院	Charch in the forest	909	727	1925	
10	首飾りの女	Woman with a necklace	803	606	c.1925	
11	6 画室の男	Man in the studio	1167	803	c.1926	
12	7 黒衣の女	Woman in black	1167	803	c.1926	
13	8 ヴィオロニスト	Violonist	1305	890	1926/68	
14	サボと椅子	A pair of sabot and a chair	860	610	1926/68	
15	9 男の首	Portrait of a man	409	318	滞欧期 (1922－28)	
16	10 縞のエプロン	The woman wearing a striped apron	910	728	c.1927	
17	11 珊瑚色の服の女	Woman wearing coral clothes	731	595	滞欧期 (1922－28)	
18	12 帽子の女	Woman in a hat	643	537	滞欧期 (1922－28)	
19	母子のいる室内	Mother and child in a room	890	1250	1927/68	
20	パリ	Paris	803	1000	1927/68	
21	黒衣座婦	Sitting woman in black	1120	800	1927/68	
<b>第2章 帰国後(1928－1945)</b>						
22	13 窓辺肖像	Portrait beside a window	909	727	1929	
23	14 室内	In a room	1137	804	1929	
24	15 座婦	Sitting woman	1298	881	1929	

番号 No.	作品名	Title	寸法 dimensions (mm)		制作/加筆年 Date/Added	所蔵者 Location
			縦 L	横 W		
25	16 婦人の休日(有閑女人図)	Woman in the idle moment	1303	1621	1930	
26	17 海浜	Seashore	1158	797	1931	
27	画家とモデル	The artist and the model	1621	1303	1931/68	
28	婦人座像	Sitting woman	903	727	1931/68	
29	18 日曜画家と静物	Sunday painter and still life	1303	1619	1932	
30	椿と娘	Camellia and girl	1300	1621	1932/68	
31	19 砂浜	Dune	1939	1300	1935/68	
32	満州記念	The memory of Manchuria	456	530	c.1937	個人蔵 Private Collection
33	20 夏所見	Summer	1620	1305	1936	
34	21 ギリシャの追想	Reminiscence of Greece	1303	1939	1937	
35	22 街の群衆(朝鮮)	Crowd in a city (Korea)	1621	1303	1939/68	
36	23 門(朝鮮)	Gate(Korea)	1621	1303	1939/68	
37	24 父と子	Father and Children	1303	1621	1940/68	

### 第3章 戦後(1945-)

38	群れ重なる人々	People lying over one another	900	1130	c.1947	
39	25 パレットを持つ自画像	Self-Portrait with palette	803	651	1949	
40	アトリエ	Atelier	1621	1303	1949	
41	26 金魚鉢のある静物	Still life with a goldfish bowl	727	903	1950	
42	27 画室の一隅	Corner in the studio	1167	727	1952	
43	28 愛好家	Art lover	1167	910	1955	
44	夜の窓辺の花	Flowers by the window at night	730	910	1956	個人蔵 Private Collection
45	29 かぼちゃのある静物	Still life with squashes	803	651	c.1957	
46	花	Flowers	410	243	1959	個人蔵 Private Collection
47	三彩鉢と櫻実	Sansai bowl and cherries	500	606	1959	個人蔵 Private Collection
48	30 緑の窓辺	Interior with green window	790	985	1961	
49	31 赤い楽本のある静物	Still life with red music score	910	735	1962	

番号 No.	作品名	Title	寸法 dimensions (mm)		制作/加筆年 Date/Added	所蔵者 Location
			縦 L	横 W		
展覧会 Exhibition	小冊子 Booklet				* 後年加筆 Added Later	
50	32 蜜柑とガラス器のある窓辺静物	Still life with oranges and glass bowls	803	1167	1962	
51	33 Mozartのある室内	Interior with the score of Mozart	1167	916	1963	
52	34 鳥を飼う室内	Interior keeping birds	910	1167	1964	
53	洋文字のある静物	Still life with alphabets	1000	803	1966	
54	白山吹と古陶とピカソ	Rhodotypos scandens, old pottery and Picasso	903	727	1967	
55	35 南苑のベランダ	Balcony beside the south garden	1167	910	1968	
56	36 風景の中の花束	Flowers in landscape	1168	809	1974	
参考1 Ref.1	スケッチ(ヴラマンク作) ペン・インク、紙	Sketch (by Maurice de Vlaminck) Pen and ink on paper	210	290	n.d.	岡山県立美術館蔵(中山巍旧蔵) Okayama prefectural museum of art, formerly owned by NAKAYAMA Takashi
参考2 Ref.2	出現 I (シャガール作) エッチング・アクアチント、紙	Appearance I (by Marc Chagall) Etching and aquatint on paper	488	383	1924-25	岡山県立美術館蔵(中山巍旧蔵) Okayama prefectural museum of art, formerly owned by NAKAYAMA Takashi
参考3 Ref.3	ほほえむ自画像(シャガール作) エッチング・ドライポイント、紙	Smiling self-portrait (by Marc Chagall) Etching and drypoint on paper	380	280	1924-25	岡山県立美術館蔵(中山巍旧蔵) Okayama prefectural museum of art, formerly owned by NAKAYAMA Takashi



### 3. 特別展

特別展では、国内外のすぐれた作品を特定のテーマに沿って大規模に集めて紹介している。

#### 令和5(2023)年度 特別展一覧

展覧会名	会期	会期日数
和田誠展	2023年3月24日（金）－ 5月 7日（日）	40 (うち23年度 33日)
開館35周年収蔵品展 CORRELATION－交流と継承	5月19日（金）－ 7月 2日（日）	38
美をたどる 皇室と岡山～三の丸尚蔵館収蔵品より	7月15日（土）－ 8月27日（日）	40
第74回 岡山県美術展覧会	9月 6日（水）－ 9月17日（日）	10
ウィリアム・モリス 英国の風景とともにめぐるデザインの軌跡	9月29日（金）－11月 5日（日）	33
第70回日本伝統工芸展岡山展	11月16日（木）－12月 3日（日）	14
『鬼滅の刃』吾峠呼世晴原画展	12月15日（金）－2024年 2月18日（日）	53
走泥社再考 前衛陶芸が生まれた時代	2月27日（火）－ 4月 7日（日）	42 (うち23年度 36日)

※和田誠展の下記事項は令和4(2022)年度年報に掲載した。

会場、主催、特別協力、企画協力、協力、後援、趣旨、関連事業、出品目録

# 開館35周年収蔵品展 CORRELATION－交流と継承

会 期 2023年5月19日(金)－7月2日(日)  
6月11日(日)まで前期 6月14日(水)から後期

会 場 2階展示室、地下展示室、屋内広場  
主 催 岡山県立美術館  
後 援 (公財)岡山県郷土文化財団、(公社)岡山県文化連盟、  
(一財)岡山県国際交流協会

## 【趣旨】

当館は2023年3月18日に開館35周年を迎えたところ、購入とご寄贈により毎年深化していく当館収蔵品を、2階と地下の全展示室と屋内広場で広く紹介する展覧会を開催した。同時代で交流する美術、そして前の時代から後の時代へと継承する美術を、それぞれに趣向を凝らしたテーマで紐解き、絵画、彫刻、工芸といった分野、そして中世美術から現代美術までを横断する展覧会になった。

## 【関連事業】

- 記念講演会 「岡山県立美術館35年の歩み」  
講 師：守安収（当館館長）  
日 時：6月11日（日）14:00－15:30  
場 所：2階ホール
- 展示解説 各学芸員が担当部分を解説（毎週土曜日、各30分）  
講師、日時：森田詩織（当館学芸員）、5月20日 14:00－／  
6月17日 14:00－  
鈴木恒志（当館学芸員）、5月27日 14:00－  
洪性孝（当館学芸員）、5月27日 18:00－  
橋村直樹（当館主任学芸員）、6月3日 14:00－  
福富幸（当館副管理者学芸課長事務取扱）、  
6月10日 14:00－  
橘凜（当館学芸員）、6月24日 14:00－  
古川文子（当館学芸員）、6月24日 18:00－  
廣瀬就久（当館主任学芸員）、7月1日 14:00－  
場 所：2階展示室、地下展示室、屋内広場



ポスター (B2)



ポスター (B3)



チラシ (A3表)



チラシ (A3裏)



展示風景 前期



展示風景 後期

## 【出品目録】

※所蔵欄に記載のない作品は岡山県立美術館所蔵  
 ※展示期間欄に記載のない作品は通期展示

番号	作者	作品名	制作年	材質	所蔵	展示期間	指定、備考など
<b>1章 総合文化センターから岡山県立美術館へ</b>							
1-01	原田直次郎	素戔鳴尊八岐大蛇退治画稿	明治28（1895）年頃	油彩・カンバス			
1-02	赤松麟作	霧の穂高	昭和15（1940）年	油彩・カンバス			
1-03	中山巍	画室の一隅	昭和27（1952）年	油彩・カンバス			
1-04	斎藤真一	明星	昭和55（1980）年	油彩・カンバス			
1-05	坂田一男	コンポジション	昭和24（1949）年	油彩・カンバス			
1-06	坂田一男	或る夜の幻想	昭和24（1949）年	油彩・カンバス			
1-07	岸田劉生	ギヤマンのある静物	昭和4（1929）年	油彩・カンバス			
1-08	野見山曉治	ベルギーの炭坑町	昭和29（1954）年	油彩・カンバス			
1-09	川島理一郎	物語	昭和38（1963）年	油彩・カンバス			
1-10	梅原龍三郎	如月寒鯛	制作年不詳	着彩、金泥・紙			
1-11	梅原龍三郎	色絵鉢に果物	制作年不詳	着彩、金箔・絹、紙			
1-12	安井曾太郎	静物（如月の鯛）	制作年不詳	油彩・カンバス			
1-13	安井曾太郎	静物（新種白桃青赤白各種）	制作年不詳	油彩・カンバス			
1-14	小山富士夫	絵唐津壺	昭和時代（20世紀）	唐津土・灰釉・鉄絵			
1-15	小山富士夫	色絵大皿	昭和時代（20世紀）	黄白土・色絵			
1-16	小山富士夫	柿釉酒盃	昭和時代（20世紀）	黄白土・柿釉			
1-17	小山富士夫	金彩花字文酒盃	昭和49（1974）年	灰白土			
1-18	小山富士夫	備前徳利	昭和時代（20世紀）	備前土			
1-19	小山富士夫	唐津黒地白筋文徳利	昭和時代（20世紀）	唐津土・鉄絵・灰釉			

番号	作者	作品名	制作年	材質	所蔵	展示期間	指定、備考など
1-20	小山富士夫	青白磁酒盃	昭和時代（20世紀）	磁土			
1-21	小山富士夫	伊賀酒盃	昭和時代（20世紀）	伊賀土・灰釉			
1-22	小山富士夫	信楽酒盃	昭和時代（20世紀）	信楽土			
1-23	横田建三	黄土	昭和41（1966）年	油彩・カンバス	個人蔵		
1-24	香川昌久	死 犠牲者	昭和35（1960）年	油彩・カンバス	個人蔵		
1-25	寺田武弘	変位（1）	昭和44（1969）年	木			
1-26	アオキスミエ	1974	昭和49（1974）年	カンバス、油彩、鉛筆			
1-27	劉生容	作品 No.1201	昭和51（1976）年	油彩、コラージュ・カンバス			
1-28	速水史郎	渦	昭和47（1972）年	瓦			
1-29	河口龍夫	10の部分よりなる筒体	昭和49（1974）年	鉛			
1-30	河口龍夫	22の部分よりなる六面体	昭和49（1974）年	鉛			
1-31	平櫛田中	鏡獅子	昭和33（1958）年	木彫・彩色			

## 2章 日展王国岡山

2-01	片岡銀蔵	融和	昭和9（1934）年	油彩・カンバス			
2-02	佐藤一章	背面裸婦	昭和4（1929）年	油彩・カンバス			
2-03	佐藤一章	雪の朝	昭和22（1947）年	油彩・カンバス			
2-04	河原修平	峠道	昭和13（1938）年	油彩・カンバス			
2-05	小林易夫	砂丘	昭和24（1949）年	油彩・カンバス			
2-06	日原晃	パリーの街角	昭和40（1965）年	油彩・カンバス			
2-07	岡本錦朋	青年平和像	昭和40（1965）年	ブロンズ			
2-08	小林喜一郎	家族コンポジション	昭和10（1935）年頃	油彩・カンバス			
2-09	正宗得三郎	パリのアトリエ	大正12（1923）年	油彩・カンバス			
2-10	中山巍	ヴァイオリニスト	大正15（1926）年	油彩・カンバス			
2-11	竹内清	キカイ	昭和34（1959）年	油彩・カンバス			
2-12	青木正春	呪詛・石化	昭和32（1957）年	油彩・カンバス			
2-13	奥田仁	法観寺五重塔	昭和16（1941）年	油彩・カンバス	個人蔵		

## 3章 岡山を描く

3-01	村尾栄	鳥城夕焼	昭和17（1942）年	油彩・カンバス		前期	
3-02	正宗得三郎	岡山城	制作年不詳（20世紀）	油彩・カンバス		後期	
3-03	中津瀬忠彦	旭川	昭和37（1962）年	油彩・カンバス			
3-04	淵上旭江	五畿七道図	寛政8（1796）年序	絹本着色			場面替え

番号	作者	作品名	制作年	材質	所蔵	展示期間	指定、備考など
3-05	富岡鉄斎	豪溪真景図	明治40（1907）年	紙本淡彩		後期	
3-06	佐藤常子	紬織着物「吉備野」	平成12（2000）年	絹		前期	
3-07	佐藤常子	紬織着物「山河」	平成19（2007）年	絹		後期	
3-08	宮忠子	吉備津彦の杜	平成3（1991）年	麻紙・青墨			
3-09	高木聖鶴	万葉集三首歌書 「黄薇風韻」	平成13（2001）年	絹本墨書			
3-10	柚木久太	山と空	昭和35（1960）年	油彩・カンバス	個人蔵	前期	
3-11	柚木久太	初夏の内海	昭和44（1969）年	油彩・カンバス	個人蔵	後期	
3-12	片岡銀蔵	無題（備中高島風景）	昭和19（1944）年頃	油彩・カンバス			
3-13	吉田苞	初秋の朝	昭和4（1929）年	油彩・カンバス			
3-14	横尾忠則	物語の始まりと終わり	平成23（2011）年	油彩、カンバス			
3-15	大橋皓志	漁港の朝	昭和30（1955）年	水彩・紙		後期	
3-16	石原義武	岡山港	昭和47（1972）年	油彩・カンバス	個人蔵	前期	
3-17	佐竹徳	オリーブ樹	制作年不詳（20世紀）	油彩・カンバス			
3-18	岡野耕三	干しだこ	昭和38（1963）年頃	油彩・カンバス			
3-19	太田三郎	Seed Project	平成7、平成14、 平成16(1995,2002,2004)年	ムクゲの種子・和紙			
3-20	ハンス・ファン・ デル・メール	蒜山	平成13（2001）年	カラー写真プリント	岡山県蔵		
3-21	杉浦慶侖	神さまの殺し方 No.13	平成30（2018）年	インクジェット			
3-22	杉浦慶侖	神さまの殺し方 No.14	平成30（2018）年	インクジェット			
3-23	高原洋一	水田の上の幾何形 A	昭和54（1979）年	シルクスクリーン版画			
3-24	緑川洋一	鳥城夕映	昭和18-20(1943-45)年	ゼラチン・シルバー・プリント (ヴィンテージ・プリント)			
3-25	緑川洋一	鳥城全景	昭和18-20(1943-45)年	ゼラチン・シルバー・プリント (ヴィンテージ・プリント)			
3-26	小林正秀	美作	平成30（2018）年	ピグメントプリント			
3-27	小林正秀	美作	平成30（2018）年	ピグメントプリント			
3-28	宮川香山	虫明染付手付樽 (楠溪下絵)	明治3（1870）年		個人蔵		県指定重要文化財
3-29	宮川香山	虫明染付手付樽	明治3（1870）年		個人蔵		
3-30	岡本英山	虫明煎茶器（虫明八景）	大正-昭和時代 (20世紀)		個人蔵		
3-31	岡本欣三	染付鉢〈瀬戸内風景〉	昭和-平成時代 (20世紀)				
3-32	三橋健	ナワ蛇と巫女と磐境	昭和42（1967）年	油彩・カンバス			
3-33	不詳	桃太郎絵巻	江戸時代（18世紀）	紙本着色		巻き替え	
3-34	長沢蘆雪	昔噺図	江戸時代（18世紀）	絹本墨画淡彩	個人蔵	前期	
3-35	柴田是真	桃太郎図	江戸時代（19世紀）	紙本着色		後期	
3-36	松井えり菜	「令和おとぎ草子 桃太郎」	令和2（2020）年	紙に墨、水彩絵の具		場面替え	

番号	作者	作品名	制作年	材質	所蔵	展示期間	指定、備考など
3-37	山本杏園	「桃太郎」と 従者「犬」「猿」「雉」	大正7（1918）年	木彫・彩色		前期	
3-38	松井えり菜	桃太郎	令和2（2020）年	ミクストメディア	個人蔵	後期	
3-39	平田郷陽	金太郎		木彫・着せ込み	個人蔵	後期	
3-40	棟方志功	倭画 静物（果物・壺）	制作年不詳		個人蔵	前期	
3-41	棟方志功	金太郎 桃太郎 図	制作年不詳		個人蔵	後期	
3-42	芹沢銈介	ガラス絵 河井・浜田 壺二つ	昭和46（1971）年頃		個人蔵	前期	
3-43	芹沢銈介	いろは文字	昭和42（1967）年		個人蔵	後期	
3-44	濱田庄司	黒釉錆流描大鉢	昭和時代		個人蔵		
3-45	河井寛次郎	三色扁壺	昭和37（1962）年		個人蔵		
3-46	富本憲吉	染付・花字紅茶碗	制作年不詳		個人蔵		
3-47	富本憲吉	色絵金彩箸置	制作年不詳		個人蔵		

書院

	重森三玲	書「明歴々」	制作年不詳（20世紀）	紙本墨書		前期	
	重森三玲	書「翠」	制作年不詳（20世紀）	紙本墨書		後期	

4章 京都日本画の系譜と岡山

4-01	岡本豊彦	松鶴波濤図屏風	江戸時代（19世紀前期）	紙本金地着色		前期	
4-02	岡本豊彦	夏冬山水図屏風	江戸時代	紙本淡彩		後期	
4-03	柴田義董	群仙図巻	文化8（1811）年	紙本淡彩	個人蔵	巻き替え	
4-04	高橋秋華	春秋	大正9（1920）年	絹本着色	個人蔵	隻替え	
4-05	小野竹喬	一本の木	昭和47（1972）年	紙本着色		前期	
4-06	小野竹喬	夕茜	昭和43（1968）年	紙本着色		後期	
4-07	小野竹喬	ヨウシュヤマゴボウ	昭和37（1962）年	紙本着色		後期	
4-08	森谷南人子	五月霽	昭和11（1936）年頃	紙本着色		前期	
4-09	森谷南人子	遠帆連浪	昭和11（1936）年	紙本着色		後期	
4-10	稲葉春生	萩に小禽図	昭和初期	絹本着色		前期	
4-11	稲葉春生	柘榴図	昭和初期	紙本着色		後期	
4-12	池田遙邨	暗夜	昭和38（1963）年	紙本着色		前期	
4-13	池田遙邨	雪へ雪ふるしづけさに をる山頭火	昭和61（1986）年	紙本着色		後期	

番号	作者	作品名	制作年	材質	所蔵	展示期間	指定、備考など
5章 平櫛田中とその周辺～院展から人形芸術まで～							
5-01	大林千萬樹	胡笳の声	大正2-3 (1913-14) 年頃	絹本着色		前期	
5-02	大林千萬樹	紅粧	大正11 (1922) 年頃	絹本着色		後期	
5-03	片岡球子	裸婦	昭和63 (1988) 年	紙本着色			
5-04	塩出英雄	閑庭	昭和41 (1966) 年	紙本着色		前期	
5-05	塩出英雄	閑境	昭和47 (1972) 年	紙本着色		後期	
5-06	平櫛田中	五浦釣人	昭和38 (1963) 年	木彫			
5-07	平櫛田中	西山逍遙	昭和37 (1962) 年	木彫・彩色			
5-08	平櫛田中	靈亀随	制作年不詳	木彫・彩色			
5-09	平田郷陽	支度(師匠・藤娘)	昭和17 (1942) 年	木彫、着せ込み		前期	
5-10	平田郷陽	河畔落日	昭和16 (1941) 年	木彫、着せ込み		後期	
5-11	平田郷陽	石津仲治氏肖像	昭和20 (1945) 年	木彫、着せ込み		後期	
5-12	大林蘇乃	失言	昭和時代	木芯、陶塑 紙貼り		前期	
5-13	大林蘇乃	べに	昭和時代	木芯 陶塑 紙貼り		後期	
5-14	小野忠子	行く (のちに大物になる少年)	平成7 (1995) 年	木芯桐塑紙貼		前期	
5-15	小野忠子	歡喜	昭和51 (1976) 年	木芯桐塑紙貼		後期	
5-16	秋山信子	潮騒	平成4 (1992) 年	乾漆			

## 6章 岡山の伝統工芸－作家たちの交流 ～日本工芸会を中心に～

6-01	磯井如眞	蒔薺平菓子盆草花文	昭和時代 (20世紀)	蒔薺	個人蔵		
6-02	太田儔	籃胎蒔薺小箱 涼風	令和元 (2019) 年	籃胎蒔薺		前期	
6-03	太田儔	カマキリ絵キンマ香合	平成時代 (20世紀)	蒔薺		後期	
6-04	太田儔	虫の絵キンマ香合	平成時代 (20世紀)	蒔薺		後期	
6-05	難波仁斎	描蒔薺四寶筥	昭和38 (1963) 年	乾漆・描蒔薺	個人蔵	前期	
6-06	難波仁斎	描蒔薺乾漆沢蟹盆	昭和48 (1973) 年	乾漆・描蒔薺、螺鈿	個人蔵	後期	
6-07	難波仁斎	描蒔薺沢蟹文花入	昭和48 (1973) 年	乾漆・描蒔薺、螺鈿	個人蔵	後期	
6-08	山本象石	キンマ鼓筥 猫	昭和27 (1952) 年頃	蒔薺		前期	
6-09	山本象石	碁筥一対菊総彫	昭和時代 (20世紀)	彫漆		後期	
6-10	山口松太	油柰堆錦箱「大和」	平成17 (2005) 年	油柰堆錦・蒔絵・螺鈿		前期	
6-11	山口松太	乾漆油柰堆錦筒形箱 「アンドロメダ」	平成14 (2002) 年			後期	
6-12	小松原賢次	卵殻平文蒔絵箱「光雨」	平成24 (2012) 年	卵殻、平文、蒔絵ストライプ		前期	
6-13	小松原賢次	卵殻変わり塗り箱「郷」	平成21 (2009) 年	変わり塗り、卵殻、平文		後期	
6-14	佐官研斎	松竹梅製巻蓑セット	大正-昭和時代 (20世紀)	木(松・竹・梅)		前期	

番号	作者	作品名	制作年	材質	所蔵	展示期間	指定、備考など
6-15	大野昭和斎	桑造線象嵌箱	平成元（1989）年	桑・黄楊・黒柿		前期	
6-16	大野昭和斎	櫛杓目沈金盛器 「躍動」	平成元（1989）年	櫛		後期	
6-17	太田芝山	櫛流れ稜喰籠	昭和時代（20世紀）	櫛		前期	
6-18	森田翠玉	老松造盆	平成5（1993）年頃	松		前期	
6-19	林鶴山	櫛拭漆提盤	平成5（1993）年	櫛		前期	
6-20	小川一洋	栗拭漆象嵌箱	平成時代（20世紀）	栗、黒柿・指物		後期	
6-21	國本敏雄	神代杉木彩重箱	平成17（2005）年	神代杉		後期	
6-22	小椋芳之	栃杓広盆	平成15（2003）年	栃、挽物		後期	
6-23	高月國光	櫛造鉢	平成29（2017）年	櫛 挽物 漆仕上げ		後期	
6-24	久保田厚子	青白磁幾何学文様大皿	平成13（2001）年	磁器		前期	
6-25	深田恒弘	結晶文四方組皿	昭和-平成時代 （20世紀）	陶器		前期	
6-26	黒井一楽	喰籠	昭和時代（20世紀）	虫明焼		後期	
6-27	黒井千左	彩色象嵌線文大皿	平成時代（20世紀）	虫明焼		後期	

## 7章 松原三五郎と満谷国四郎からたどる画家たち

7-01	松原三五郎	桃	明治時代（19-20世紀）	油彩・カンバス			
7-02	松原三五郎	海景	大正4（1915）年	油彩・カンバス			
7-03	満谷国四郎	裸婦	明治28（1895）年	油彩・カンバス			
7-04	満谷国四郎	瀬戸内海風景	大正6（1917）年	油彩・カンバス			
7-05	渡辺文三郎	松島	制作年不詳 （19-20世紀）	油彩・カンバス			
7-06	渡辺幽香	編物をする女	明治21（1888）年	エッチング・紙		前期	
7-07	渡辺幽香	三味線を弾く女	明治21（1888）年	エッチング、手彩色・紙		後期	
7-08	徳永仁臣	自画像	制作年不詳 （19-20世紀）	油彩・カンバス			
7-09	中川堅一	中川雪肖像	明治16（1883）年	油彩・カンバス			
7-10	原撫松	鈴木トメ像	明治30年代中頃 （1900年代初頭）	油彩・カンバス			
7-11	原撫松	鈴木タヨ像	明治30年代中頃 （1900年代初頭）	油彩・カンバス			
7-12	鹿子木孟郎	海岸	昭和12（1937）年	油彩・カンバス			
7-13	寺松国太郎	追憶	昭和4（1929）年	油彩・カンバス			
7-14	赤松麟作	裸婦	昭和2（1927）年	油彩・カンバス			
7-15	佐竹徳	清津峡谷	昭和28（1953）年	油彩・カンバス			
7-16	柚木久太	鞆津の朝	明治44（1911）年	油彩・カンバス	個人蔵		
7-17	佐藤一章	母と子	昭和17（1942）年	油彩・カンバス			
7-18	池田遙邨	冬の入海	大正11（1922）年	絹本着色		前期	

番号	作者	作品名	制作年	材質	所蔵	展示期間	指定、備考など
7-19	森谷南人子	内海早春	大正6 (1917) 年頃	紙本着色		後期	

## 8章 家族や親子、師弟のつながり

8-01	小野絵麻	裏道がお好き	昭和52 (1977) 年	油彩、アクリル・カンバス			
8-02	小野二三	誕生の詩	昭和49 (1974) 年	油彩・ボード			
8-03	木原康行	詩画集『死と転生』 散文詩：中村真一郎 銅版画：木原康行	昭和52 (1977) 年	エングレーヴィング・アルシュ 紙		頁替え	
8-04	木原千珂	LUMIERE	平成7 (1995) 年	アクリル・カンバス			
8-05	森山知己	描法再現 紅白梅図屏風	平成23 (2011) 年	紙本金地着色			
8-06	金孝妍	月と光、そして太陰潮	令和2 (2020) 年	銀箔・和紙			
8-07	金谷哲郎	球体 (ステンレス)	平成時代 (21世紀)	ステンレス、溶接			
8-08	金谷朱尾子	わが裡なる火山列島	昭和57 (1982) 年	紙本着色			
8-09	家住利男	F.160201	平成28 (2016) 年	板ガラス・接着・研磨			
8-10	有永浩太	gaze	平成26 (2014) 年	ガラス 吹きガラス、レース ガラス、レティチェット			
8-11	金重陶陽	額「私の女房です」 (画賛)	昭和35 (1960) 年	紙本墨書	個人蔵		前期
8-12	金重陶陽	鉄釉台鉢	昭和39 (1964) 年	陶土	個人蔵		前期
8-13	金重陶陽	手紙 (ホノルルから道明宛)	昭和39 (1964) 年		個人蔵		前期
8-14	金重道明	伊部八角飾皿	昭和時代 (20世紀)	備前土	個人蔵		前期
8-15	金重晃介	BOX I	昭和50-51 (1975-76) 年頃	瀬戸土			前期
8-16	金重素山	火襷木瓜手鉢	昭和時代 (20世紀)	備前土	個人蔵		前期
8-17	金重有邦	伊部火襷水瓶	平成29 (2017) 年	備前土	個人蔵		
8-18	藤原啓	備前大徳利形壺	昭和40年代後半	備前土			前期
8-19	藤原雄	備前播座壺	昭和-平成時代 (20世紀)	備前土			前期
8-20	藤原和	備前透し花器	平成時代 (20世紀)	備前土	個人蔵		前期
8-21	藤原建	備前窯変耳付水指	昭和46 (1971) 年頃	備前焼			前期
8-22	山本陶秀	備前緋襷広口花器	平成5 (1993) 年	備前土			前期
8-23	山本雄一	備前緋襷広口花器	平成12 (2000) 年	備前土	個人蔵		前期
8-24	伊勢崎陽山	童子虫取置物	大正-昭和時代 (20世紀)		個人蔵		前期
8-25	伊勢崎満	備前砧花入	昭和-平成時代 (20世紀)	備前土			前期
8-26	伊勢崎淳	備前角花生	平成20 (2008) 年	備前土			
8-27	隠崎隆一	備前混淆花器	令和4 (2022) 年	備前混淆土			
8-28	金重陶陽	備前手鉢	昭和10年代	備前土	個人蔵		後期
8-29	金重陶陽	備前焼茶碗	昭和16 (1941) 年	備前土			後期

番号	作者	作品名	制作年	材質	所蔵	展示期間	指定、備考など
8-30	金重陶陽	茶碗（扁庵釘彫）	昭和時代（20世紀）	備前土	個人蔵	後期	
8-31	金重陶陽	備前德利 奥村土牛梅ノ絵釘彫	昭和38（1963）年	備前土	個人蔵	後期	
8-32	金重陶陽	備前德利 酒井三良河童絵釘彫	昭和38（1963）年	備前土	個人蔵	後期	
8-33	金重陶陽	志野茶碗	昭和20（1945）年	志野土	個人蔵	後期	
8-34	荒川豊蔵	「陶陽大人茶杓削る図」	昭和20（1945）年	紙本墨画	個人蔵	後期	
8-35	荒川豊蔵	瀬戸黒春壽二字茶碗 （平櫛田中筆）	昭和54（1979）年	美濃土		後期	
8-36	小山富士夫	朝鮮唐津水指 （銘 松の露）	昭和43（1968）年	唐津土		後期	
8-37	小山富士夫	絵唐津茶碗 （荒川豊蔵書）	昭和50（1975）年	唐津土		後期	
8-38	加藤土師萌	備前花入（号 忘銘）	昭和28（1953）もしくは 39（1964）年頃	備前土		後期	
8-39	三村陶景	彩色備前勇駒香炉	大正時代（20世紀）	備前土		後期	
8-40	大饗仁堂	備前焼手造黄安仙人	大正-昭和時代 （20世紀）	備前土	個人蔵	後期	
8-41	西村春湖	備前焼東方朔	昭和時代（20世紀）	備前土	個人蔵	後期	
8-42	浦上善次	備前獅子	昭和61（1986）年頃	備前土		後期	
8-43	島村光	貌	平成30（2018）年	備前焼		後期	
8-44	森陶岳	備前條文壺	昭和-平成時代 （20世紀）	備前土	個人蔵	後期	
8-45	浦上玉堂	山高水長図	江戸時代（19世紀）	紙本墨画淡彩		前期	
8-46	浦上玉堂	山澗読易図	江戸時代後期（19世紀）	紙本墨画淡彩		後期	
8-47	浦上玉堂	雲山静望図	江戸時代後期（19世紀）	紙本墨画淡彩		後期	
8-48	浦上玉堂	山雨染衣図	江戸時代後期（19世紀）	紙本墨画淡彩		後期	重要文化財
8-49	釧雲泉	高隠自適図	寛政4（1792）年	紙本淡彩		後期	
8-50	頼山陽	紀氏寶刀歌	江戸時代後期（19世紀）	紙本墨書		前期	
8-51	浦上春琴	凍雲欲雪図（竹下為書）	文化14（1817）年	絹本墨画淡彩		前期	
8-52	浦上春琴	僊山清暁図	天保15（1844）年	絹本着色		後期	
8-53	浦上春琴	山水画帖	文化6（1809）年	絹本淡彩		前期	
8-54	浦上春琴	山水図（春琴帖）	天保2（1831）年	絹本墨画・絹本淡彩		後期	
8-55	浦上玉堂・ 春琴・秋琴他	玉堂琴囊	寛政10（1798）年	麻布墨書／墨画淡彩ほか		前期	
8-56	廣瀬臺山	幽巖茅屋図	寛政8（1796）年	紺紙金泥		前期	
8-57	飯塚竹斎	浅絳山水図	文政8（1825）年	紙本着色	個人蔵	前期	
8-58	浦上秋琴	山水図（散歩多勝遊）	明治3（1870）年	紙本淡彩		後期	

## 9章 筆様の伝播

9-01	足利義持	寒山図	室町時代（15世紀）	紙本墨画		前期	重要美術品
9-02	不詳	山水図 （天澤座元送別詩画軸）	室町時代（16世紀）	紙本墨画淡彩		後期	重要美術品

番号	作者	作品名	制作年	材質	所蔵	展示期間	指定、備考など
9-03	伝馬遠	高士探梅図	元時代（14世紀）	絹本墨画淡彩		前期	
9-04	伝夏珪	山水図（円窓形）	元時代（14世紀）	絹本墨画		後期	
9-05	牧谿	老子図	南宋時代末-元時代初 （13世紀）	紙本墨画		前期	重要文化財
9-06	玉潤	廬山図	南宋時代末-元時代初 （13世紀）	絹本墨画		後期	重要文化財
9-07	拙宗等揚	出山釈迦図	室町時代（15世紀）	紙本墨画		前期	
9-08	拙宗等揚	雪景山水図	室町時代（15世紀）	紙本墨画淡彩		後期	
9-09	雪舟等楊	山水図（傲玉潤）	室町時代（15世紀）	紙本墨画		前期	重要文化財
9-10	伝雪舟	山水図（円窓形）	室町時代（16世紀）	紙本墨画淡彩		後期	
9-11	秋月等観	山水図	室町時代（15-16世紀）	紙本墨画		前期	
9-12	惟馨周徳	破墨山水図	室町時代（16世紀）	紙本墨画		後期	
9-13	雲溪永怡	雪景山水図	室町時代（16世紀）	紙本墨画淡彩		前期	
9-14	楊富	山水図	室町時代（16世紀）	紙本墨画		後期	
9-15	雲谷等益	楼閣山水図屏風	江戸時代（17世紀）	紙本墨画淡彩		前期	
9-16	雪村周継	瀟湘八景図屏風	室町時代末-桃山時代 （16世紀）	紙本墨画		後期	
9-17	宮本武蔵	布袋竹雀枯木翡翠図	江戸時代（17世紀）	紙本墨画		前期	
9-18	宮本武蔵	鶴図	江戸時代（17世紀）	紙本墨画		後期	
9-19	宮本武蔵	周茂叔図	江戸時代（17世紀）	紙本墨画		後期	
9-20	宮本武蔵	達磨図	江戸時代（17世紀）	紙本墨画		後期	
9-21	狩野董川中信	雪舟山水長巻模本	安政3（1856）年	紙本墨画淡彩		巻き替え	
9-22	富岡鉄斎	雪舟逸事巻	明治22、23（1889、90）年	紙本着色		巻き替え	

## 10章 海外に学び、描く

10-01	松岡壽	ローマの郊外 オレーヴァノ風景	イタリア滞在期	水彩・紙		前期	
10-02	松岡壽	石造りの家 オレーヴァノ風景	イタリア滞在期	水彩・紙		後期	
10-03	松岡壽	ピエトロ・ミカの 服装の男	明治14（1881）年	油彩・カンバス			
10-04	原田直次郎	裸体習作	明治17-19（1884-86）年 頃	油彩・カンバス	個人蔵	前期	
10-05	原田直次郎	男性像	明治19（1886）年	油彩・カンバス	個人蔵	後期	
10-06	原田直次郎	風景	明治19（1886）年	油彩・カンバス			
10-07	児島虎次郎	姉妹	明治44（1911）年	油彩・カンバス	大原美術館 より寄託		
10-08	原撫松	老人像	明治39（1906）年	油彩・カンバス		前期	
10-09	原撫松	横向きの裸婦	明治40（1907）年	油彩・カンバス	個人蔵	後期	
10-10	鹿子木孟郎	裸婦習作（立像）	明治35（1902）年	木炭・紙		前期	
10-11	鹿子木孟郎	男裸体習作（背面）	明治35（1902）年	木炭・紙		前期	

番号	作者	作品名	制作年	材質	所蔵	展示期間	指定、備考など
10-12	鹿子木孟郎	男裸体習作（横向）	明治35（1902）年	木炭・紙		後期	
10-13	鹿子木孟郎	男裸体習作 （杖を持つ男）	明治35（1902）年	木炭・紙		後期	
10-14	満谷国四郎	裸婦	大正2（1913）年	油彩・カンバス			
10-15	柚木久太	巴里の冬	大正2（1913）年	油彩・カンバス	個人蔵	前期	
10-16	柚木久太	婦人像	大正2（1913）年	油彩・カンバス	個人蔵	後期	
10-17	正宗得三郎	婦人像（パリジェンヌ）	大正3（1914）年	油彩・カンバス			
10-18	坂田一男	キュビズムの人物像	大正14（1925）年	油彩・カンバス		前期	
10-19	坂田一男	坐る女Ⅲ	大正15（1926）年	油彩・カンバス		後期	
10-20	中山巍	パリの屋根	大正11（1922）年	油彩・カンバス		前期	
10-21	中山巍	老人	昭和2（1927）年	油彩・カンバス		後期	
10-22	片岡銀蔵	パリジェンヌ	昭和3（1928）年	油彩・カンバス			
10-23	犬飼恭平	習作（酔った男）	大正10（1921）年	油彩・カンバス	個人蔵		
10-24	国吉康雄	カーテンを引く子供	大正12（1923）年頃	油彩・カンバス			
10-25	国吉康雄	祭りは終わった	昭和22（1947）年	油彩・カンバス			
10-26	野木定次郎	アトリエにて	制作年不詳	油彩・カンバス	個人蔵	前期	
10-27	野木定次郎	静物	制作年不詳	油彩・カンバス		後期	

## 11章 岡山ゆかりの現代美術

11-01	工藤哲巳	限定プールに於ける 増殖性連鎖反応	昭和35（1960）年	ラッカー・板	個人蔵		
11-02	山本正	大和路	昭和38（1963）年	油彩・カンバス			
11-03	岡野耕三	もはやひとは 抵抗することをやめ	昭和46（1971）年	油彩・カンバス			
11-04	岡崎信吾	麦	平成13（2001）年	油彩・カンバス			
11-05	瀬本容子	音楽の旅	平成16（2004）年	テンペラ・板			
11-06	有元利夫	会話	昭和55（1980）年	混合技法・カンバス			
11-07	内田智也	Combination Nest#2001	平成12（2000）年	エッチング、アクアチント・ 紙		前期	
11-08	小田宏子	くもの柱	平成15（2003）年	雁皮紙、綿、ステープル針、 発泡スチロール		後期	
11-09	山部泰司	廬山積層高遠図	平成29（2017）年	アクリル・カンバス			
11-10	中原浩大	無題	昭和61（1986）年	油彩・カンバス			
11-11	高橋秀	蒼	平成20（2008）年	アクリル、金箔・カンバス	個人蔵		
11-12	柚木沙弥郎	とうもろこし かぜ	平成24（2012）年	型紙・綿		前期	
11-13	柚木沙弥郎	無題	平成24（2012）年	型紙・綿		後期	
11-14	東島毅	S-004	平成8（1996）年	ハウスペイント、 スプレーペイント・カンバス			
11-15	草間喆雄	Koto	平成28（2016）年	コイリング			

番号	作者	作品名	制作年	材質	所蔵	展示期間	指定、備考など
	河合寿成	二葉盛器（鉄製盛器）	昭和17（1942）年	鉄			エントランスにて展示

## 12章 「I氏賞」コレクション

12-01	児玉知己	温かい絵画	平成24（2012）年	アクリル絵具、塗料、紙・カンバス			
12-02	加藤竜	コロッセオ	平成23（2011）年	油彩・カンバス			
12-03	炭田紗季	あの蓮池ならすぼんとは まってみる	平成31（2019）年	油彩・カンバス			
12-04	下道基行	Dusk/Dawn Thira/Siem Reap	平成23（2011）年	ラムダプリント			
12-05	小野耕石	Hundred Layers of Colors	平成25-26(2013-14)年	スクリーンプリント、 油性インク・紙			
12-06	松井えり菜	あなただけDreaming!	平成30（2018）年	油彩・カンバス			
12-07	高松明日香	海からの風	平成25（2013）年	アクリル・カンバス			
12-08	原彰子	Abita 原画	平成24（2012）年	墨、水彩・紙			
12-09	築山弘毅	say hello wave good bye	平成30（2018）年	顔料、金属箔、金属粉、 合成樹脂・パネル			
12-10	李侖京	moment of glory	令和4（2022）年	PPシート、金箔糸、金糸、 針金、オリジナルテクニック			
12-11	李侖京	bloom 2023#a	令和5（2023）年	オーガンジー、草木染、 手縫い			
12-12	李侖京	bloom 2023#b	令和5（2023）年	オーガンジー、草木染、 手縫い			
12-13	兼行誠吾	光の帯 Collapse	平成31（2019）年	磁器			
12-14	兼行誠吾	光の帯 Ring	平成31（2019）年	磁器			
12-15	兼行誠吾	光の帯 Spiral	平成31（2019）年	磁器			
12-16	大西伸明	mini kupa	平成20（2008）年	樹脂に塗装			屋内広場にて展示
12-17	北川太郎	しま	平成18（2006）年	御影石	個人蔵		屋内広場にて展示
12-18	北川太郎	時空ピラミッド	平成27（2015）年	御影石	個人蔵		屋内広場にて展示
12-19	北川太郎	コダイ	令和4（2022）年	トラバーチン	個人蔵		屋内広場にて展示
12-20	北川太郎	トリデ	平成25（2013）年	大理石	個人蔵		屋内広場にて展示
12-21	北川太郎	静けさ	平成31（2019）年	竜山石	個人蔵		屋内広場にて展示
12-22	原彰子	Abita / What they believe / 私は詩人—シ バ / 発見する手 / 羊膜	平成24-28(2012-16)年	映像			屋内広場にて展示

## 美をたどる 皇室と岡山 ～三の丸尚蔵館収蔵品より

会 期 2023年7月15日(土)～8月27日(日)

前期:7月15日(土)～8月6日(日)

後期:8月8日(火)～8月27日(日)

会 場 岡山県立美術館 2階展示室および地下展示室

主 催 特別展「美をたどる 皇室と岡山～三の丸尚蔵館収蔵品より」実行委員会 (岡山県立美術館、山陽新聞社、RSK山陽放送)、宮内庁

特別協賛 株式会社 宗家 源 吉兆庵

助 成 令和5年度地域ゆかりの文化資産を活用した展覧会支援事業  
後 援 一般財団法人岡山県国際交流協会、公益社団法人岡山県観光連盟、おかやま観光コンベンション協会、岡山県教育委員会、岡山市、岡山市教育委員会、岡山県郷土文化財団、公益社団法人岡山県文化連盟

特別協力 文化庁、紡ぐプロジェクト、読売新聞社



ポスター (B2)



ポスター (B3)

### 【趣旨】

代々皇室に受け継がれた美術作品・資料等を保管・研究・展示する三の丸尚蔵館の作品80点を、当館所蔵の作品10点とともに展示。書跡、日本絵画、洋画、彫刻、工芸などの各分野から、やまと絵の最高峰とされる高階隆兼筆《春日権現験記絵》(国宝)をはじめ、横山大観による水墨風景画の逸品《秩父霊峯春暁》、極めて精緻な彫金による《神龍呈瑞》などの貴重な作品を紹介するとともに、松岡壽、満谷国四郎、児島虎次郎、鹿子木孟郎や、人形作家・平田郷陽ら岡山出身作家による作品など、様々な観点から岡山にゆかりのある美術品を展示した。

### 【関連事業】

#### ● 記念講演会「三の丸尚蔵館—開館30年の歩み」

日 時: 2023年7月15日(土) 14:00～15:30

会 場: 能楽堂ホールtenjin9

講 師: 小林彩子 (三の丸尚蔵館主任研究官)

#### ● 学芸員による美術館講座

- ・「名宝の軌跡／雲谷派の足跡」

日 時: 7月23日(日) 14:00～15:30

講 師: 森田詩織 (当館学芸員)

会 場: 地下1階講義室

- ・「皇室ゆかりの近代日本画を見る」

日 時: 8月13日(日) 14:00～15:30

講 師: 橘凜 (当館学芸員)

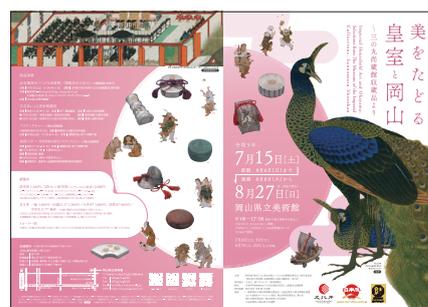
会 場: 地下1階講義室

#### ● フロアレクチャー「油彩画の始まりをさぐる」

日 時: 8月6日(日) 14:00～14:45

講 師: 廣瀬就久 (当館主任学芸員)

会 場: 2階展示室、地下1階展示室



チラシ (A3表)



チラシ (A3裏)

●美術の夕べ 夜間開館日限定フロアレクチャー

- ・「第Ⅰ・Ⅱ章を中心に」

日 時：7月29日（土）17:30－18:30

会 場：2階展示室、地下1階展示室

講 師：橘凜、森田詩織

- ・「第Ⅲ・Ⅳ章を中心に」

日 時：8月26日（土）17:30－18:30

会 場：2階展示室、地下1階展示室

講 師：福富幸（当館副管理者事務取扱学芸課長）、廣瀬就久  
各回17:30－18:30

【刊行物】

●展覧会図録



図録表紙



会場風景

【出品目録】

・所蔵欄に\*と記載のある作品は岡山県立美術館、そのほか記載のない作品はすべて宮内庁三の丸尚蔵館の所蔵品

番号	作品名	作者	制作年	材質	所蔵	前期	後期
<b>第Ⅰ章 集積—中近世美術の賞翫</b>							
1	大江切本古今和歌集	伝藤原行成	1巻	平安時代(12世紀)	紙本墨書		巻替
2	安宅切本和漢朗詠集	伝源俊頼	1巻	平安時代(12世紀)	紙本墨書		巻替
3	【国宝】春日権現験記絵 巻11	高階隆兼	20巻のうち 1巻	鎌倉時代 延慶2年(1309)頃	絹本着色		巻替
4	耕作図	伝狩野元信	2幅	室町時代(16世紀)	紙本墨画淡彩		
5	四季草花図屏風	伝狩野永徳	2曲1双	安土桃山時代(16世紀)	紙本金地着色		
6	唐子遊図屏風	狩野探幽	6曲1双	江戸時代(17世紀)	紙本金地着色		
7	西湖八景図巻	雲谷等璠ほか	1巻	江戸時代(17~18世紀)	絹本墨画		巻替
8	唐土名勝図屏風	雲谷派	8曲1双	江戸時代(17~18世紀)	絹本墨画淡彩		隻替
9	をくり(小栗判官絵巻) 巻5	岩佐又兵衛	15巻のうち 1巻	江戸時代(17世紀)	紙本着色		巻替
10	浮舟図・花鳥図	土佐光成	3幅	江戸時代(17~18世紀)	絹本着色		
11	牡丹孔雀図	円山応挙	1幅	江戸時代 安永5年(1776)	絹本着色		
12	塩松八景図巻	住吉広守	1巻	江戸時代(18世紀)	絹本着色		巻替
13	霸王別姫図	原在中	1幅	江戸時代 天明5年(1785)	絹本着色		
14	四季耕作図	原在照	2幅	江戸~ 明治時代初期(19世紀)	絹本着色		
15	山水図	藤本鉄石	1幅	江戸時代 安政4年(1857)	紙本墨画		
<b>第Ⅱ章 煌き—近代日本画の粋</b>							
16	和気清麿朝臣図巻	富岡鉄斎	1巻	明治17年(1884)	紙本着色		巻替
17	梅花書屋之図	田能村直入	1幅	明治17年(1884)	絹本着色		
18	水墨山水	田能村直入	1幅	明治35年(1902)	絹本墨画		
19	松竹図	幸野楳嶺	1幅	明治13年(1880)	絹本墨画淡彩		
20	柏鹿伴鹿児ノ図	森川曾文	1幅	明治31年(1898)	絹本着色		
21	京都市画帖	竹内栖鳳 上村松園ほか	2帖	大正4年(1915)	絹本着色		場面替
22	昭和度 主基地方風俗歌屏風	山元春挙	6曲1双	昭和3年(1928)	紙本着色		隻替
23	薰風稚雀・寒汀白鷺	竹内栖鳳	2幅	昭和3年(1928)	絹本着色		
24	虎之図	黒住章堂	1幅	大正5年(1916)	絹本着色		
25	鶏冠花	東原方僊	2曲1隻	大正7年(1918)	絹本着色		
26	花鳥之図	杉谷雪樵	1幅	明治22年(1889)	絹本着色		
27	水石契久之図	村瀬玉田	1幅	明治22年(1889)	絹本着色		
28	張交画帖	山名貫義ほか	1帖	明治28年(1895)	絹本着色		場面替
29	龍虎図	橋本雅邦	1点	明治32年(1899)	絹本着色		
30	群猿之図	川端玉章	1幅	明治23年(1890)頃	絹本着色		
31	景雲餘彩	横山大観ほか	1帖	大正11年(1922)	絹本着色		場面替

番号	作品名	作者	制作年	材質	所蔵	前期	後期
32	秩父霊峯春暁	横山大観	昭和3年(1928)	絹本墨画			
33	漁村曙	横山大観	昭和15年(1940)	絹本着色			
34	耀く大八洲	横山大観	昭和16年(1941)	紙本墨画淡彩			巻替
35	光彩	片岡球子ほか	昭和61年(1986)	紙本着色			場面替

### 第三章 黎明—油彩画秀作選

36	バーナード城	百武兼行	1点	明治11年(1878)	カンヴァス、油彩		
37	ピエトロ・ミカの服装の男	松岡壽	1点	明治14年(1881)	カンヴァス、油彩	*	
38	ベルサリエーレの歩哨	松岡壽	1点	明治20年(1887)	カンヴァス、油彩		
39	仏将ロゼト中尉負傷之図(模写)	松岡壽	1点	明治22年(1889)	カンヴァス、油彩		
40	凱旋門	松岡壽	1点	明治15年(1882)頃	カンヴァス、油彩	*	
41	父の像(松岡隣)	松岡壽	1点	明治22年(1889)	カンヴァス、油彩	*	
42	栗子山隧道	高橋由一	1点	明治14年(1881)	カンヴァス、油彩		
43	陸海軍連合大演習	高橋源吉	1点	明治23年(1890)	カンヴァス、油彩		
44	風景	原田直次郎	1点	明治19年(1886)	カンヴァス、油彩	*	
45	上野東照宮	原田直次郎	1点	明治22年(1889)	カンヴァス、油彩	*	
46	和気清麿奏神教図	佐久間文吾	1点	明治23年(1890)	カンヴァス、油彩		
47	菅公梅を詠ずるの図	二世五姓田芳柳	1点	明治24年(1891)	カンヴァス、油彩		
48	田子之浦	五姓田義松	1点	明治25年(1892)	カンヴァス、油彩		
49	淡煙	中村不折	1点	明治31年(1898)	カンヴァス、油彩		
50	松島	渡辺文三郎	1点	制作年不詳	紙、水彩	*	
51	富士遠望(七里ヶ浜)	渡辺文三郎	1点	明治30年(1897)	紙、水彩	*	
52	樋口大尉小児を扶くる	浅井忠	1点	明治28年(1895)	カンヴァス、油彩		
53	林大尉戦死之図	満谷国四郎	1点	明治30年(1897)	カンヴァス、油彩		
54	裸婦	満谷国四郎	1点	明治28年(1895)	カンヴァス、油彩	*	
55	瀬戸内海風景	満谷国四郎	1点	大正6年(1917)	カンヴァス、油彩	*	
56	なさけの庭	児島虎次郎	1点	明治40年(1907)	カンヴァス、油彩		
57	西湖畔牌楼	児島虎次郎	1点	大正15年(1926)	カンヴァス、油彩		
58	ポプラ	中川八郎	1点	明治44年(1911)	カンヴァス、油彩		
59	朝陽富士	和田英作	1点	大正6年(1917)	カンヴァス、油彩		
60	大台ヶ原山中	鹿子木孟郎	1点	昭和7年(1932)	カンヴァス、油彩		
61	海岸	鹿子木孟郎	1点	昭和12年(1937)	カンヴァス、油彩	*	
62	水彩画帖	浅井忠、平木政次ほか	1帖	明治31年(1898)頃	紙、水彩		場面替

番号	作品名	作者	制作年	材質	所蔵	前期	後期
第IV章 寿ぎ一意匠を尽くす							
63	松樹鷹置物	高村光雲	1点	大正13年(1924)	木彫		
64	一致	新海竹太郎	1点	明治44年(1911)	木彫		
65	萬歳楽置物	山崎朝雲	1点	昭和3年(1928)	木彫、彩色、螺鈿台		
66	みなかみ	山崎朝雲	1点	大正4年(1915)	木彫		
67	楽土	平田郷陽	1点	昭和15年(1940)	紙塑、彩色		
68	瑞鳥	平田郷陽	1点	昭和34年(1959)	木彫、衣裳人形		
69	竹梅薔薇蒔絵十種香箱		1具	江戸時代(18世紀)	木、漆塗、蒔絵		
70	忍草蒔絵十種香箱		1具	江戸時代(18~19世紀)	木、漆塗、蒔絵		
71	塩瀬友禅に刺繍海棠に孔雀図掛幅	西村總左衛門(12代)	1幅	明治14年(1881)	友禅染、刺繍		
72	天鷲絨友禅富士図壁掛		1幅	明治40年代(20世紀)	天鷲絨友禅		
73	色絵四季草花図食器	幹山伝七	12点	明治時代前期(19世紀後半)	陶磁		
74	七宝桜図花瓶	濤川惣助	1対	明治43年(1910)頃	七宝		
75	神龍呈瑞	中川義實ほか	1点	明治33年(1900)	(像)銀、金、赤銅、 四分一、彫金 (台)蒔絵		
76	赤切子ガラス花瓶	ヴァル・サン・ランバール・ ガラス工場	1点	昭和3年(1928)頃	ガラス		
77	青切子ガラス花瓶	ヴァル・サン・ランバール・ ガラス工場	1対	大正14年(1925)	ガラス		
78	菊桐鳳凰文ガラス花瓶	満洲大連窯業工場	1対	昭和3年(1928)	ガラス		
79	月桂樹文ガラス花瓶	南満洲硝子株式会社	1対	昭和7年(1932)	ガラス		
80	棒形ボンボニエール		1点	昭和3年(1928)	銀		
81	文箱形弓に巻物文ボンボニエール		1点	昭和6年(1931)	銀		
82	舞楽兜形ボンボニエール		1点	昭和9年(1934)	銀		
83	竹形ボンボニエール		1点	昭和9年(1934)	銀		
84	扇形菊桜文ボンボニエール		1点	昭和10年(1935)	銀		
85	宝船形ボンボニエール		1点	昭和10年(1935)	銀		
86	手箱形鳥居文ボンボニエール		1点	昭和10年(1935)	銀		
87	丸形梅唐草文ボンボニエール		1点	昭和18年(1943)	木、蒔絵		
88	菊花形双鶴若杉桐文 ボンボニエール		1点	昭和41年(1966)	銀		
89	丸形瑞鳥文ボンボニエール		1点	昭和43年(1968)	銅、内側鍍銀		
90	角鳥籠形ボンボニエール		1点	昭和時代初期(20世紀)	銀		



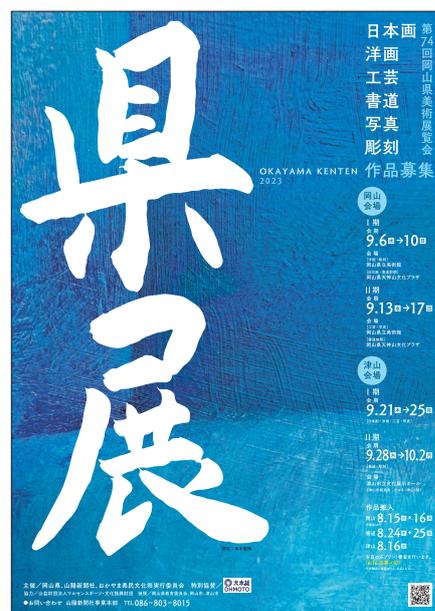
## 第74回岡山県美術展覧会

- 会 期 2023年9月6日(水)－9月17日(日)  
 I期:9月6日(水)－9月10日(日)  
 II期:9月13日(水)－9月17日(日)
- 会 場 岡山県立美術館地下1階展示室
- 主 催 岡山県、山陽新聞社、おかやま県民文化祭実行委員会
- 特別協賛 大本組
- 協 力 公益財団法人マルセンスポーツ・文化振興財団
- 後 援 岡山県教育委員会、岡山市、津山市

### 【趣旨】

岡山県美術展覧会（略称：県展）は、戦後まもなく洋画県展、日本画県展として開かれたのが始まりである。その後、昭和28年に書道県展が生まれ、昭和34年の第10回展で、3展合同の県展が誕生した。その後、写真、工芸、彫刻の部門が加わり、現在全部で6部門の、名実ともに県下最大の総合美術展へと発展した。岡山美術界の充実と向上、そして県民への普及を目的に、毎年開催している。

当館では、全6部門のうち、洋画・彫刻部門を9月6日－10日に、工芸・写真部門を9月13日－17日に展示した。



ポスター (B3)

	山陽新聞 社大賞	山陽新聞 社賞	岡山県 知事賞	岡山県 教育長賞	岡山市長 賞	県展 特別賞	桃花賞	地域奨励 賞	県展賞	奨励賞	入選	委嘱以上	展示総数
日本画	1	1	1	1	1	0	0	1	3	4	34	16	62
洋画	1	2	1	1	1	1	2	1	16	20	118	45	208
工芸	1	1	1	1	1	1	0	1	4	7	53	35	105
書道 (漢字)	1	1	0	1	0	4	12	1	32	60	326	85	967
書道 (かな)	1	1	1	0	1	3	12	1	28	52	273	71	
書道 (篆刻)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	
写真	1	1	1	1	1	1	1	1	9	12	86	24	138
彫刻	0	0	0	1	1	0	0	0	0	2	8	20	32
計	6	7	5	6	6	10	27	6	92	158	899	296	1,512

作品応募数（一般出品者）	2,130点	（※大賞含む）
入賞・入選数	1,222点	
岡山会場 展示総数	1,512点	

# ウィリアム・モリス 英国の風景とともにめぐるデザインの軌跡

会 期 2023年9月29日(金) - 11月5日(日)

会 場 岡山県立美術館 地下展示室

主 催 岡山県立美術館、RSK山陽放送

後 援 プリティッシュ・カウンシル、岡山県教育委員会、岡山市、  
岡山市教育委員会、(公財)岡山県郷土文化財団、(公社)  
岡山県文化連盟、(一財)岡山県国際交流協会、山陽新聞社

特別協賛 さえら

## 【趣旨】

19世紀後半の英国において芸術家、詩人、思想家、社会運動家などとして活躍したウィリアム・モリス (1834-96) は、世界に先駆けて産業化していた当時の英国において、妥協のない美しいデザインと丁寧な手仕事を追求し、芸術と日常生活との統合を目指した「アーツ・アンド・クラフツ運動」を先導した。身近にあった自然と中世主義に根差したモリスの理念とデザインは、時代を超えて愛され、現在のわれわれの生活のなかで色褪せることなく息づいている。

本展では、モリスの住まい、学び、働いた場所、仲間たちとの交流に焦点を当てながら、モリスらが手掛けた壁紙やファブリック、書物や調度類に加え、モリスが多大な影響を受けたジョン・ラスキンの著作の図版集、さらにはモリスゆかりの建物や風景を撮影した写真や映像を展示することによって、その幼少期から晩年に至るまでの創作の軌跡をたどった。

## 【関連事業】

### ● 記念講演会「ウィリアム・モリスの歴史と現在」

日 時：10月1日(日) 14:00-15:30

講 師：藤田治彦 (大阪大学名誉教授)

会 場：2階ホール

### ● 美術館講座「ウィリアム・モリスと中世趣味」

日 時：10月21日(土) 14:00-15:30

講 師：橋村直樹 (学芸員)

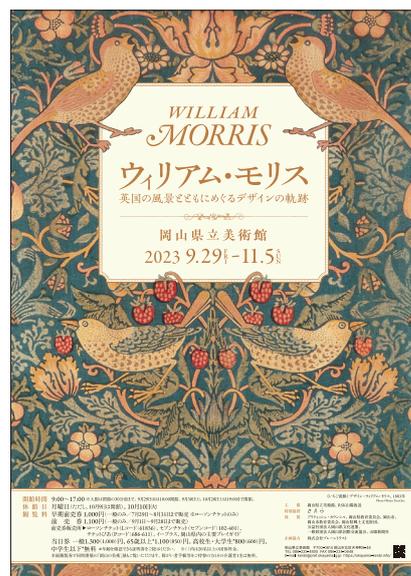
会 場：地下講義室

### ● 美術の夕べ「担当学芸員によるフロアレクチャー」

日 時：9月30日(土)、10月28日(土) 18:00-19:00

講 師：橋村直樹 (学芸員)

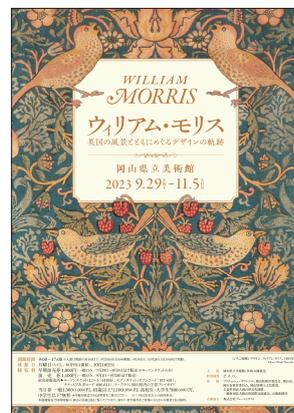
会 場：地下展示室



ポスター (B2)



ポスター (B3)



チラシ (A4表)



チラシ (A4裏)

## 【出品目録】

※作品番号O2は明星大学蔵、そのほかはすべて個人蔵。

No.	作品名	種別	作者	制作年	技法・材質	サイズ(縦×横cm)
<b>第1章：若きモリスが出会ったデザインの源泉 少年期から青年期〈1834-1859〉</b>						
O1	ジョン・ラスキン 「ヴェネツィアの建築の実例」	図版集 (16点組)	ジョン・ラスキン	1887年	リトグラフ、エッチング、 メゾチント	63.3×43.5cm
1	ドゥッカレ宮殿 第20番目の柱頭			8	カ・フォスカリ小運河のビザンティンの廃墟	
2	サンタ・マリア・マテル・ドミニ広場のアラブ風の窓			9	上心アーチの飾り迫縁 カ・フォスカリ小運河の廃墟より	
3	ビザンティンの柱頭 トルチェッロとサン・マルコ聖堂より			10	カ・フォスカリ小運河の邸宅 推定復元図	
4	コーニスの削形 サンティ・ジョヴァンニ・エ・パオロ聖堂の墓より			11	扉口上部 コンタリニ・ポルタ・ディ・フェッロ邸と サンタ・マルゲリータ広場より	
5	ドゥッカレ宮殿 南側バルコニーの区画			12	扉口上部 ラモ・ディ・リムペット・モチェニーゴ	
5B	ドゥッカレ宮殿 南側バルコニーの断面図			13	扉口上部 サン・ルカ聖堂の小広場	
6	サン・マルコ聖堂 南側ポルティコ			14	ベルナルド・モチェニーゴ邸 窓の柱形の柱頭	
7	サン・マルコ聖堂 百合形柱頭の部分図			15	ドゥッカレ宮殿 ロッジアのルネサンスの柱頭	

## 第2章：田園風景とメトロポリス レッド・ハウスからクイーン・スクエアへ〈1859-1871〉

1	ひなぎく	壁紙	デザイン:ウィリアム・モリス	1864年	木版、色刷り	81.5×57cm
3	格子垣(黒)	壁紙	デザイン:ウィリアム・モリス (小鳥はフィリップ・ウェップ)	1864年	木版、色刷り	100×57cm
4	柘榴あるいは果実	壁紙	デザイン:ウィリアム・モリス	1866年頃	木版、色刷り	75×56.5cm
5	インディアン	壁紙	デザイン:おそらくジョージ・ ギルバート・スコット	1868-70年	木版、色刷り	82×56cm
6	サセックス・シリーズの肘掛 け椅子		デザイン:おそらくフィリップ・ ウェップ	1860年頃	黒檀色仕上げの ブナ材、蘭草座	85×50×44cm
7	ロセッティの長椅子		デザイン:おそらくダンテ・ ゲイブリエル・ロセッティ	1863年頃	黒檀色仕上げの ブナ材、蘭草座	89.5×139×46cm
8	サセックス・シリーズの丸椅 子		デザイン:おそらくフォード・ マドックス・ブラウン	1865年頃	黒檀色仕上げの 木材、蘭草座	83.5×44.5×42cm
9	サセックス・シリーズの背高 肘掛け椅子		デザイン:おそらくフォード・ マドックス・ブラウン	1865年頃	黒檀色仕上げの 木材、蘭草座	120×58×56.5cm
10	ひなぎく	タイル・パネル (暖炉の装飾)	デザイン:ウィリアム・モリス	1862年頃	手描き彩色陶器	97×47×94cm
A1	果実あるいは柘榴	壁紙	デザイン:ウィリアム・モリス	1866年頃	木版、色刷り	70.6×56cm
P1	ドローイングルーム (Red House)	写真	撮影:織作峰子	撮影地:レッド・ハウス		55.5×84.1cm
P2	丸窓からの視線	写真	撮影:織作峰子	撮影地:レッド・ハウス		55.5×84.1cm
P3	赤煉瓦の館	写真	撮影:織作峰子	撮影地:レッド・ハウス		55.5×84.1cm

No.	作品名	種別	作者	制作年	技法・材質	サイズ（縦×横cm）
P8	柘榴	写真	撮影：織作峰子			36.4×24cm
P9	檸檬	写真	撮影：織作峰子			36.4×24cm

第3章：モリスの理想の住まい ケルムスコット・マナー 〈1871-1896〉

11	ひなぎくあるいは草	カーペット	デザイン：ウィリアム・モリス	1870-75年頃	ヘックモンドワイク社： キダーミンスター・カーペット機 織り、あるいはウィルトン・ ロイヤル・カーペット社：ブラッセ ルおよびウィルトン・パイル織り	183×84cm
12	チューリップとバラ	内装用 ファブリック	デザイン：ウィリアム・モリス	1876年	三重織、ウール	80×85cm
13	チューリップ（グレー）	内装用 ファブリック	デザイン：ウィリアム・モリス	1875年	木版、色刷り、木綿	85×92.5cm
14	チューリップ（茶）	内装用 ファブリック	デザイン：ウィリアム・モリス	1875年	木版、色刷り、木綿	104×94cm
15	柳（金色）	壁紙	デザイン：ウィリアム・モリス	1874年	木版、色刷り	91×53.5cm
16	柳（緑）	壁紙	デザイン：ウィリアム・モリス	1874年	木版、色刷り	90×56cm
17	ぶどう	壁紙	デザイン：ウィリアム・モリス	1874年	木版、色刷り	54.5×56cm
18	マリーゴールド（ピンク）	壁紙	デザイン：ウィリアム・モリス	1875年	木版、色刷り	82.5×57.5cm
19	マリーゴールド（青）	壁紙	デザイン：ウィリアム・モリス	1875年	木版、色刷り	82×55cm
21	マリーゴールド（緑）	壁紙	デザイン：ウィリアム・モリス	1875年	木版、色刷り	53.5×53.5cm
22	るりはこべ	壁紙	デザイン：ウィリアム・モリス	1876年	木版、色刷り	84.5×55.5cm
23	りんご	壁紙	デザイン：ウィリアム・モリス	1877年	木版、色刷り	90×55cm
A2	ノリッチ	壁紙	デザイン：ウィリアム・モリス	1875年頃	木版、色刷り	109×56cm
A5	チューリップと柳	内装用 ファブリック	デザイン：ウィリアム・モリス	1873年		82.5×97cm
A6	すいかずら	内装用 ファブリック	デザイン：ウィリアム・モリス	1876年		136×96cm
A11	チューリップ（青）	内装用 ファブリック	デザイン： チャールズ・フランシス アンズリー・ヴォイジー	1875年	木版、色刷り	77×90cm
A14	壁掛け鏡			1880-1905年		79×63×3.1cm
P4	蜂蜜色の桃源郷 (Kelmscott Manor)	写真	撮影：織作峰子	撮影地：ケルムスコット・ マナー		84.1×55.5cm
P5	ホワイト・ルーム (Kelmscott Manor)	写真	撮影：織作峰子	撮影地：ケルムスコット・ マナー		48×72.8cm
P6	グリーン・ルーム (Kelmscott Manor)	写真	撮影：織作峰子	撮影地：ケルムスコット・ マナー		48×72.8cm

No. 作品名	種別	作者	制作年	技法・材質	サイズ（縦×横cm）
P7 柳	写真	撮影：織作峰子	撮影地：ケルムスコット・マナー		39.5×59.4cm
P10 青林檎	写真	撮影：織作峰子			36.4×24cm
P11 葡萄	写真	撮影：織作峰子			36.4×24cm
P12 コルン川沿の美しい家	写真	撮影：織作峰子	撮影地：パイブリー		55.5×84.1cm

#### 第4章：染めと織りに魅せられて ケルムスコット・ハウスとマートン・アビー 〈1878-1896〉

24	ハマスミス・ラグ		作：ウィリアム・モリス	1880年頃	木綿の縦糸にウールの手結び織り	85×114cm
26	孔雀と竜（青）	内装用 ファブリック	デザイン：ウィリアム・モリス	1878年	ジャカード手織り、ウール	75×85cm
27	孔雀と竜（赤）	内装用 ファブリック	デザイン：ウィリアム・モリス	1878年	ジャカード手織り、ウール	226×138cm
28	花園	内装用 ファブリック	デザイン：ウィリアム・モリス	1879年	ジャガード手織り、シルク、シルク・ウール	58×63cm
29	オーク	内装用 ファブリック	デザイン：ウィリアム・モリス	1881年	シルク・ダマスク織り	133×126.5cm
30	チャンピオン（なでしこ）	壁掛け布	デザイン：ウィリアム・モリス	1883年	ジャカード手織り、ウール	150×78cm （同サイズの2点1組）
31	斜文トレイル	内装用 ファブリック	デザイン：ジョン・ヘンリー・ダール	1893年頃	ジャカード手織り、ウール	72×112cm
34	暖炉の衝立 《クランフィールド》		デザイン：ウィリアム・モリス／ 刺繍：おそらくメイ・モリス	1890年頃	マホガニーの枠に刺繍 パネルはめ込み	102.5×65×31cm
36	暖炉の二曲衝立 《バラとオーヴァー》ほか		デザイン：ウィリアム・モリス	1900年頃	マホガニーの枠に刺繍 パネルはめ込み	100×120×1.9cm
37	『プリントド・リネン・ アンド・コットン』			1881年以降		28×22.5cm
38	兄弟うさぎ（青）	内装用 ファブリック	デザイン：ウィリアム・モリス	1882年	木版、色刷り、インディゴ 抜染、木綿	85×75cm
40	いちご泥棒	内装用 ファブリック	デザイン：ウィリアム・モリス	1883年	木版、色刷り、インディゴ 抜染、木綿	92.5×98cm
41	むぎなでしこ	内装用 ファブリック	デザイン：ウィリアム・モリス	1883年	木版、色刷り、木綿	56×45cm
42	花の鉢	内装用ファブ リック	デザイン：ウィリアム・モリス	1883年	木版、色刷り、インディゴ 抜染、木綿	61.5×38cm
43	柳の枝	内装用 ファブリック	デザイン：ウィリアム・モリス	1887年	木版、色刷り、木綿	101×96cm
44	らっぱ水仙	内装用 ファブリック	デザイン：ジョン・ヘンリー・ ダール	1891年頃	木版、色刷り、インディゴ 抜染、木綿	110×98cm
45	ウィンドラッシュ	内装用 ファブリック	デザイン：ウィリアム・モリス	1883年頃	木版、色刷り、木綿	104×94cm
47	クレイ（赤）	内装用 ファブリック	デザイン：ウィリアム・モリス	1884年	木版、色刷り、インディゴ 抜染、木綿	110×88cm
48	ロウデン	内装用 ファブリック	デザイン：ウィリアム・モリス	1884年	木版、色刷り、インディゴ 抜染、木綿	105×95cm

No.	作品名	種別	作者	制作年	技法・材質	サイズ(縦×横cm)
49	リー	内装用 ファブリック	デザイン:ウィリアム・モリス	1885年	木版、色刷り、 インディゴ抜染、木綿	124×98cm
50	メドウェイ	内装用 ファブリック	デザイン:ウィリアム・モリス	1885年	木版、色刷り、 インディゴ抜染、木綿	99×99cm
51	チャーウェル	内装用 ファブリック	デザイン:ジョン・ヘンリー・ ダール	1887年	色刷り、別珍	261×129cm
52	ひまわり(青)	壁紙	デザイン:ウィリアム・モリス	1879年	木版、色刷り	43.6×56.1cm
53	ひまわり(黄)	壁紙	デザイン:ウィリアム・モリス	1879年	木版、色刷り	40×47cm
54	ひまわり(紺)	壁紙	デザイン:ウィリアム・モリス	1879年	木版、色刷り	48×32cm
55	ひまわり(赤)	壁紙	デザイン:ウィリアム・モリス	1879年	木版、色刷り	96×55.6cm
56	マロウ(ぜにあおい)	壁紙	デザイン:ケイト・フォークナー	1879年	木版、色刷り	81.5×54cm
57	小鳥とアネモネ(黄)	壁紙	デザイン:ウィリアム・モリス	1882年	木版、色刷り	86.2×57cm
58	小鳥とアネモネ(緑)	壁紙	デザイン:ウィリアム・モリス	1882年	木版、色刷り	71.5×52cm
59	すいかずら	壁紙	デザイン:メイ・モリス	1883年	木版、色刷り	70×54.5cm
61	ガーデン・チューリップ(黄)	壁紙	デザイン:ウィリアム・モリス	1885年	木版、色刷り	85×52cm
62	ガーデン・チューリップ(橙)	壁紙	デザイン:ウィリアム・モリス	1885年	木版、色刷り	66.5×56.5cm
63	柳の枝	壁紙	デザイン:ウィリアム・モリス	1887年	木版、色刷り	93.5×42.5cm
64	らっば水仙	壁紙	デザイン:ジョン・ヘンリー・ ダール	1891年頃	木版、色刷り	77×46cm
65	やぐるまぎく(青)	壁紙	デザイン:ウィリアム・モリス	1892年	木版、色刷り	77×56.5cm
66	やぐるまぎく(茶)	壁紙	デザイン:ウィリアム・モリス	1892年	木版、色刷り	1035×55.5cm
67	やぐるまぎく(黄)	壁紙	デザイン:ウィリアム・モリス	1892年	木版、色刷り	96×55cm
68	セラндаイン (きんぼうげ/くさのおう)	壁紙	デザイン:ジョン・ヘンリー・ ダール	1896年	木版、色刷り	78×56cm
69	オーク・ツリー	壁紙	デザイン:ジョン・ヘンリー・ ダール	1896年	木版、色刷り	80×55cm
70	コンプトン	壁紙	デザイン:ジョン・ヘンリー・ ダール	1896年	木版、色刷り	79×46cm
72	ゴールデン・リリー(白)	壁紙	デザイン:ジョン・ヘンリー・ ダール		木版、色刷り	
A3	小鳥とぶどう	テーブルラン ナー	デザイン:ウィリアム・モリス	1879年		178×46.5cm
A4	刺繍パネル		デザイン:ウィリアム・モリス、 メイ・モリス、その他	1878-80年		42×42.5cm

No.	作品名	種別	作者	制作年	技法・材質	サイズ（縦×横cm）
A7	薔薇とあさみ	内装用 ファブリック	デザイン:ウィリアム・モリス	1881年		105×107cm
A8	小鳥とアネモネ	内装用 ファブリック	デザイン:ウィリアム・モリス	1882年	木版、色刷り	174×84cm
A9	ケネット	カーテン	デザイン:ウィリアム・モリス	1883年	木版、色刷り	238×164cm
A10	ウェイ	内装用 ファブリック	デザイン:ウィリアム・モリス	1883年頃	木版、色刷り	131×98cm
P13	ラベンダー色の女の子	写真	撮影:織作峰子	撮影地:スタンデン		25.4×16.5cm
P15	深層へ向かう碧	写真	撮影:織作峰子	撮影地:リー川		84.1×55.5cm
P16	メドウェイ川とアーチ橋	写真	撮影:織作峰子	撮影地:メドウェイ川		39.5×59.4cm
P17	クレイ川の流れる遊ぶ	写真	撮影:織作峰子	撮影地:クレイ川		39.5×59.4cm
P18	苺	写真	撮影:織作峰子			36.4×24cm

#### 第5章：書物をめぐる冒険 ケルムスコット・プレス 〈1891-1896〉

73	ウィリアム・モリス 『輝く平原の物語』		ウィリアム・モリス	1891年		20×14cm
74	ウィリアム・モリス 『ジョン・ボールの夢／王様の教訓』		ウィリアム・モリス	1892年		21×15cm
75	トマス・モア『ユートピア』		ウィリアム・モリス	1893年		21.3×15cm
76	ウィリアム・シェイクスピア 『詩集』		ウィリアム・モリス	1893年		21.5×15cm
77	ウィリアム・モリス訳 『フローラス王と美女ジャンヌ物語』		ウィリアム・モリス	1893年		15×11cm
78	アルフレッド・テニスン 『モード』		ウィリアム・モリス	1893年		21×14.9cm
79	ウィリアム・モリス 『世界のかなたの森』		ウィリアム・モリス	1894年		21×14.8cm
80	ウィリアム・モリス 『不思議な島々の湖』		ウィリアム・モリス	1897年		29×21.3cm
81	ウィリアム・モリス 『ケルムスコット・プレス設立趣意書』		ウィリアム・モリス	1898年		21×14.8cm
82	ウィリアム・モリス 『パターン・デザインにおけるいくつかのヒント』		ウィリアム・モリス	1899年		21.4×14.7cm
P14	印刷工房の中庭	写真	撮影:織作峰子	撮影地:ケルムスコット・ハウス		84.1×55.5cm

No.	作品名	種別	作者	制作年	技法・材質	サイズ(縦×横cm)
ケルムスコット・プレス刊本展示補遺—明星大学貴重書コレクションより						
02-04	ジョン・ラスキン『ゴシックの本質』		ウィリアム・モリス	1892年		21×15.3cm
02-08	ラウル・ルフエーヴル『トロイ物語集成』第1巻		ウィリアム・モリス	1892年		30×22.5cm
02-12	ウィリアム・モリス『ユートピア便り』		ウィリアム・モリス	1893年		21×15.5cm
02-13	ラモン・リュエ『騎士道』		ウィリアム・モリス	1893年		20.3×15cm
02-32	ウィリアム・モリス、A・J・ワイアット共訳『ペーオウルフ物語』		ウィリアム・モリス	1895年		29×22.5cm
02-34	ウィリアム・モリス『イアソンの生と死』		ウィリアム・モリス	1895年		30×22.5cm
02-39	ウィリアム・モリス『世界のはての泉』		ウィリアム・モリス	1896年		29×22cm
02-40	F・S・エリス編『チャーサー著作集』		ウィリアム・モリス	1896年		45×32cm

### 第6章：アーツ・アンド・クラフツ運動とモリスの仲間たち

83	イズニック風デザイン	タイル	デザイン：ウィリアム・ド・モーガン	1872-81年		15×15cm
84	茎の長い花	タイル	デザイン：ウィリアム・ド・モーガン	1872-81年		15.2×15.2cm
85	斜めの葉	タイル	デザイン：ウィリアム・ド・モーガン	1882-88年		15.5×15.5cm
86	浮き出し模様のライオン	タイル	デザイン：ウィリアム・ド・モーガン	1888-97年		15×15cm
87	赤いバラ	タイル・パネル	デザイン：ウィリアム・ド・モーガン	1888-97年		30×15cm
88	イエロー BBB	タイル・パネル	デザイン：ウィリアム・ド・モーガン	1890年頃		16×31cm
89	ルーメリアン	タイル・パネル	デザイン：ウィリアム・ド・モーガン	1890年頃		16×31cm
90	カーネーション	タイル	デザイン：ウィリアム・ド・モーガン	1898-1907年		15.6×15.6cm
91	ドードー	タイル	デザイン：ウィリアム・ド・モーガン	1900年頃		15.5×15.5cm
93	ランプ		デザイン：ウィリアム・アーサー・スミス・ベンソン	1900年頃	銅、真鍮、ガラス	高さ59×幅42cm (ランプシェード部分直径13cm)
94	卓上ランプ		デザイン：ウィリアム・アーサー・スミス・ベンソン	1860年代	銅、真鍮、ワセリンガラス	高さ41×幅17cm (ランプシェード部分直径17cm)
95	卓上ランプ		デザイン：ウィリアム・アーサー・スミス・ベンソン ランプシェード：ジェームズ・パウエル	20世紀初頭	銅、真鍮、オパールセントガラス	高さ42.5×幅28cm (ランプシェード部分直径10cm)

No.	作品名	種別	作者	制作年	技法・材質	サイズ(縦×横cm)
96	卓上ランプ		デザイン:ウィリアム・ アーサー・スミス・ベンソン		真鍮、ワセリンガラス	高さ38.8×幅39cm (ランプシェード部分 直径13cm)
A12	うず巻き	タイル	デザイン:ウィリアム・モリス あるいはフィリップ・ウェッブ	1870年頃		16cm角
A13	白鳥	タイル	デザイン:ウィリアム・モリス	1880年代頃		16cm角
P19	DIMENSIONS リス	Pigment print	織作峰子			48.3×32.9cm
P20	DIMENSIONS 薔薇とインコ	Pigment print	織作峰子			32.9×48.3cm
P21	DIMENSIONS 葡萄	Pigment print	織作峰子			48.3×32.9cm

## 第70回日本伝統工芸展岡山展

**会 期** 2023年11月16日(木) - 12月3日(日)

**会 場** 岡山県立美術館 地下1階展示室

**主 催** 岡山県立美術館、岡山県教育委員会、NHK岡山放送局、朝日新聞社、山陽新聞社、公益社団法人日本工芸会

**助 成** 令和5年度文化庁補助事業

**協 力** (公財)岡山県郷土文化財団、岡山県立大学、(公社)岡山県文化連盟

**後 援** 一般財団法人岡山県国際交流協会



ポスター (B3)

### 【趣旨】

日本伝統工芸展は、我が国に伝わる優れた工芸技術の保護・育成を目的に昭和29年に創立され、現在全国11会場(本年度は10会場)で開催されている。伝統を正しく受け継ぎ、さらに磨き、現代の暮らしに見合った新しい作品を世に送り出そうという趣旨のもと、厳正な審査を通過した入選作品の中から入賞作品、重要無形文化財保持者(人間国宝)、審・鑑査委員、中・四国在住者の作品を中心に271点を展覧。会期中には出品作家等による解説会、ワークショップなど普及事業を行った。

### 【関連事業】

《伝統工芸に親しむ》

#### ●列品解説会

日 時	部 門	講 師
11月16日(木) 11:00 -	金 工	佐故龍平氏
11月18日(土) 13:30 -	漆 芸	大谷早人氏
11月19日(日) 13:30 -	陶 芸	米田和氏
11月23日(木・祝) 13:30 -	染 織	村上良子氏
11月25日(土) 11:00 - 13:30 - 18:00 -	デビュートーク(木工)	小林篤史氏
	木 工	須田賢司氏
	美術の夕べ(備前焼)	伊勢崎晃一朗氏
11月26日(日) 11:00 - 13:30 -	デビュートーク(備前焼)	島村光氏
	七 宝	岩本文子氏
12月2日(日) 13:30 -	人 形	部谷きよみ氏

#### ●第70回展記念講演会

講 師：今泉今右衛門氏  
(陶芸家・国指定重要無形文化財保持者 有田焼)

日 時：12月3日(日) 13:30 - 15:00

会 場：講義室



チラシ (A4表)



チラシ (A4裏)

●映画上映会

日 時：会期中随時上映

上映映画：「陶芸 釉下燦々 人間国宝 吉田美統」

「金工 加賀象嵌 中川衛 美の世界－新たな伝統を創る－」

会 場：地下ホワイエ

●ワークショップ 協 力：岡山県立大学、日本工芸会中国支部陶芸部会

- ・ミニ登り窯焼成体験

日 時：10月29日（日）

会 場：岡山県立大学

- ・さいはっけん やきものと糸でつくる編みかご作り体験

日 時：11月19日（日）

会 場：地下屋内広場

- ・さいはっけん 団子で描くオリジナル巾着

日 時：11月23日（木・祝）

会 場：研修室

- ・WS備前焼—電動ロクロ体験

日 時：11月26日（日）

会 場：屋内広場

【展示点数等】

	応募出品点数		入選作品数		遺作	岡山展出品作品数
	人数	点数	人数	点数		点数
陶 芸	481	550	194	195	1	91
染 織	175	177	78	78	2	35
漆 芸	115	115	79	79		36
金 工	89	91	56	57	1	28
木竹工	106	109	65	65	1	31
人 形	46	47	26	27		18
諸工芸	88	88	51	51		27
計	1100	1177	554	552	5	266 + 遺作 5

## 『鬼滅の刃』 吾峠呼世晴原画展

- 会 期 2023年12月15日(金) - 2024年2月18日(日)
- 会 場 岡山県立美術館 地下一階展示室
- 主 催 岡山県立美術館、OHK岡山放送
- 共 催 山陽新聞社
- 特別協賛 株式会社DIRECT
- 協 賛 (公財) マルセンスポーツ・文化振興財団
- 原 作 吾峠呼世晴『鬼滅の刃』
- 企画協力 『鬼滅の刃』原画展製作委員会、週間少年ジャンプ編集部
- 後 援 岡山県教育委員会、岡山市、岡山市教育委員会、岡山県郷土文化財団、公益社団法人岡山県文化連盟、一般財団法人岡山県国際交流協会、FM岡山、レディオモモ、さりお山陽リビングメディア

### 【趣旨】

「週刊少年ジャンプ」2016年11号より連載が開始された、漫画家・吾峠呼世晴氏による『鬼滅の刃』。主人公・竈門炭治郎を中心に、人と鬼とが紡いだ切ない物語は鬼気迫る剣戟、時折コミカルに描かれるキャラクターたちが人気を呼び、コミックス全23巻で累計発行部数が1億5000万部を突破（電子版含む）した。

本展覧会では作者・吾峠呼世晴氏の想いの詰まった直筆原画を多数展示し、連載終了後も注目を集める本作の魅力、世界観を余すことなく伝えた。

### 【関連事業】

#### ● 記念講演会

- 日 時：1月13日(土) 14:00 - 15:30
- 会 場：美術館ホール
- 講 師：成相肇氏（東京国立近代美術館主任研究員）

#### ● 美術の夕べ

- 日 時：1月27日(土) 18:00 - 18:30
- 会 場：地下一階展示室
- 講 師：洪性孝（岡山県立美術館学芸員）



ポスター (B3) ©吾峠呼世晴/集英社



チラシ (A3表) ©吾峠呼世晴/集英社



チラシ (A3裏) ©吾峠呼世晴/集英社



展示風景 ©吾峠呼世晴／集英社



展示風景 ©吾峠呼世晴／集英社

## 走泥社再考 前衛陶芸が生まれた時代

The Sodeisha Group: An Era Born Out of Avant-garde Ceramics

会 期 2024年2月27日(火) - 4月7日(日)

会 場 岡山県立美術館 地下1階展示室

主 催 岡山県立美術館、山陽新聞社

後 援 公益社団法人岡山県文化連盟

公益財団法人岡山県郷土文化財団

一般財団法人岡山県国際交流協会

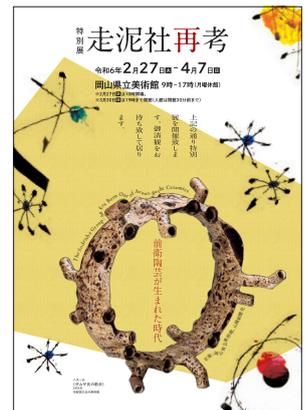
協 賛 スマートドライバースクール備岡校

特別協力 国立工芸館

企画協力 京都新聞



ポスター (B3)



チラシ (A4表)



チラシ (A4裏)

### 【趣旨】

1948(昭和23)年、戦後間もない京都において八木一夫、叶哲夫、山田光、松井美介、鈴木治の5人の陶芸家で結成された走泥社は、その後、会員の入れ替わりを経ながら50年間にわたり、日本の陶芸界を牽引してきた。創立メンバーはいずれも京焼の中心地である五條坂周辺で製陶業にかかわる者たちで、やきものが生活と密接に結びついた環境にあり、走泥社はその宣言文の最後に「我々の結合体は、“夢みる温床”ではなく、まさに白日の下の生活それ自体なのだ」と記したように、戦後という時代を自らの眼で真摯に見つめることで、土による新たな造形を模索するところからスタートした。走泥社という団体の功績について一言で述べるとすれば、長年の活動を通じて、前衛陶芸いわゆる「オブジェ焼」というものを世間に認知させたことである。

本展は、日本の前衛陶芸が確立していくうえで中心的な役割を果たした走泥社の活動に焦点を当て、その意義や意味を再検証するものだが、50年という走泥社の活動期間全体を見渡した時、日本陶芸界におけるその重要性は特に前半期にある。1960年代半ば以降、例えば1964年の国際現代陶芸展を皮切りに、1970年代にはいくつと様々な国際展が開催され、海外の動向が日本でも紹介されるようになり、走泥社が時代の中で有していた「前衛性」は次第に相対化されていく。それにより、走泥社としての活動はその後も継続するものの、比重は集団としての活動よりも個人の表現活動に移っていくことになった。然るに本展では、走泥社結成25年となる1973年までを対象とし、走泥社と同時期に前衛陶芸運動を展開した四耕会や日本の陶芸界に多大な影響を与えたピカソやイサム・ノグチの作品、1964年の現代国際陶芸展出品作との比較も交えて、約180点の作品と多数の資料類により走泥社における「前衛陶芸」の展開を紹介した。

### 【関連事業】

#### ●協賛華展

- 日 時：3月1日(金) - 3日(日)(池坊)
- 3月8日(金) - 10日(日)(草月流)
- 3月15日(金) - 17日(日)(小原流)
- 3月22日(金) - 24日(日)(桑原専慶流)

場 所：岡山県立美術館 1階エントランス

挿花協力：岡山県華道連盟

花器協力：備前焼 伊勢崎淳氏

● 記念講演会「今、なぜ走泥社なのか？」

日 時：3月20日（水・祝）14:00－15:30

場 所：美術館ホール

講 師：大長智広氏（京都国立近代美術館主任研究員）

● 美術館講座「走泥社再考—前衛陶芸が生まれた時代— 陶芸といけばな」

日 時：3月16日（土）14:00－15:30

場 所：講義室

講 師：福富 幸（岡山県立美術館副管理者学芸課長事務取扱）

● 美術の夕べ「走泥社再考」展を見る

日 時：3月30日（土）18:00－18:45

場 所：地下1階展示室

講 師：福富 幸（岡山県立美術館副管理者学芸課長事務取扱）

【出品目録】

※出品番号6、21の作品は京都国立近代美術館会場でのみ出品。

\* 群番号は団体名の省略として青：青年作陶家集団、走：走泥社、四：四耕会、他：それら以外の作家。

\* 寸法表記については、幅×奥行×高さ（cm）とし、平面作品等については縦×横（cm）。

出品番号	群番号	作家名	作品名	制作年	寸法(cm)	所蔵
第1章 前衛陶芸の始まり 走泥社結成とその周辺（1954年まで）						
1	青-1	中島清	草花文磁器飾壺	1946	20.0×20.0×35.0	京都国立近代美術館
2	青-2	叶哲夫	向日葵文三耳壺	1940年代中-後期	28.0×28.0×32.0	個人蔵
3	青-3	八木一夫	揺落向日葵図壺	1947	21.2×21.2×31.2	京都国立近代美術館
4	青-4	八木一夫	春の海	1947	19.0×20.0×22.0	京都国立近代美術館
5	青-5	山田光	柿釉搔取壺	1947	28.0×28.0×26.0	岐阜県美術館
7	走-1	叶哲夫	釉描三方器	1948	28.0×28.0×29.0	京都国立近代美術館
8	走-2	八木一夫	白化粧鉄絵壺	1948頃	23.5×23.5×33.0	京都国立近代美術館
9	走-3	八木一夫	白化粧鉄象嵌花生	1948頃	12.0×10.5×27.0	京都国立近代美術館
10	走-4	八木一夫	白化粧鉄象嵌花生	1948頃	10.5×9.5×27.0	京都国立近代美術館
11	走-5	八木一夫	白化粧鉄絵壺	1949	20.5×20.5×42.5	華道家元池坊総務所
12	走-6	八木一夫	白釉レビュー図蛤形水盤	1949	52.7×41.5×11.0	華道家元池坊総務所
13	走-7	八木一夫	二口壺	1950	20.0×12.5×19.0	京都国立近代美術館
14	走-8	八木一夫	ザムザ氏の散歩	1954	27.0×14.0×27.5	京都国立近代美術館
15	走-9	八木一夫	月	1954	22.5×19.5×17.0	京都国立近代美術館
16	走-10	山田光	白化粧線彫花器	1951	17.0×17.0×25.0	岐阜県現代陶芸美術館
17	走-11	山田光	二つの口の壺	1952	26.0×26.0×22.0	岐阜県現代陶芸美術館
18	走-12	山田光	作品	1953	18.0×17.0×29.0	岐阜県美術館
19	走-13	山田光	切った壺	1953	10.0×10.0×42.0	岐阜県現代陶芸美術館
20	走-14	山田光	切った壺	1953	10.0×10.0×33.0	岐阜県現代陶芸美術館

出品番号	群番号	作家名	作品名	制作年	寸法(cm)	所蔵
22	走-16	鈴木治	白釉黒絵 ピエロ文広口瓶	1949	38.6×38.6×35.3	華道家元池坊総務所
23	走-17	鈴木治	Rond	1950	19.5×19.5×43.5	華道家元池坊総務所
24	走-18	鈴木治	双頭壺	1951	31.4×10.9×28.0	個人蔵
25	走-19	鈴木治	黒絵長壺	1951-52	20.0×20.0×44.0	京都国立近代美術館
26	走-20	鈴木治	作品	1954	28.3×31.5×34.3	個人蔵
27	走-21	門井嘉衛	作品	1950	20.5×13.5×27.5	個人蔵
28	走-22	門井嘉衛	作品	1950	20.5×12.5×31.5	個人蔵
29	走-23	門井嘉衛	作品	1951	21.3×16.0×26.5	個人蔵
30	走-24	中島清	鉄釉ふで投つぼ	1951	33.0×33.0×36.0	京都府（京都文化博物館管理）
31	走-25	中島清	黒釉櫛目壺	1952	25.0×25.0×38.0	京都国立近代美術館
32	四-1	宇野三吾	土偶形花器	1950頃	24.0×7.0×32.0	滋賀県立陶芸の森陶芸館
33	四-2	宇野三吾	ハニワ形花器	1950頃	28.0×12.0×50.0	滋賀県立陶芸の森陶芸館
34	四-3	宇野三吾	黄釉花器	1950頃	24.0×20.0×34.0	滋賀県立陶芸の森陶芸館
35	四-4	岡本素六	花器	1950前後	30.0×15.0×32.0	滋賀県立陶芸の森陶芸館
36	四-5	清水卯一	鉄絵うず文花入	1948	12.0×12.0×33.5	滋賀県立美術館
37	四-6	鈴木康之	芽	1947	12.5×10.5×31.0	京都国立近代美術館
38	四-7	中西美和	抽象形花器	1950頃	32.0×20.0×37.0	滋賀県立陶芸の森陶芸館
39	四-8	林康夫	雲	1948	33.0×27.5×33.7	京都国立近代美術館
40	四-9	林康夫	無題	1950	52.5×30.0×60.5	京都国立近代美術館
41	四-10	林康夫	作品51-2	1951	50.0×27.5×32.0	和歌山県立近代美術館
42	四-11	藤田作	トルソ形花器	1949	26.5×15.5×48.0	滋賀県立陶芸の森陶芸館
43	四-12	三浦省吾	作品	1951	30.5×21.0×29.5	和歌山県立近代美術館
44	他-1	パブロ・ピカソ	三人の人物	1948.1.14	30.8×21.6×33.0	彫刻の森美術館（公益財団法人 彫刻の森芸術文化財団）
45	他-2	パブロ・ピカソ	ひげのある顔	1948.1.24	38.0×32.0	彫刻の森美術館（公益財団法人 彫刻の森芸術文化財団）
46	他-3	パブロ・ピカソ	走る人	1948-49	21.2×15.0×25.5	瀬戸市美術館
47	他-4	イサム・ノグチ	旅	1950	17.0×17.0×70.2	瀬戸市美術館
48	他-5	イサム・ノグチ	カブト	1952	33.0×31.5×71.5	一般財団法人草月会
49	他-6	イサム・ノグチ	ひまわり	1952	34.0×31.5×65.0	一般財団法人草月会
50	他-7		展覧会ポスター 「イサム・ノグチ展」	1952	60.5×86.0	個人蔵（八木一夫旧蔵）

出品番号	群番号	作家名	作品名	制作年	寸法(cm)	所蔵
第2章 オブジェ陶の誕生とその展開（1955-63年）						
51	走-26	八木一夫	歩行	1957	24.0×11.0×50.0	京都国立近代美術館
52	走-27	八木一夫	黒陶作品	1957	16.8×9.0×49.5	京都国立近代美術館
53	走-28	八木一夫	黒陶	1958	14.5×11.5×22.8	京都市美術館
54	走-29	八木一夫	休息の眼	1959	22.0×13.0×17.4	京都市美術館
55	走-30	八木一夫	碑・妃	1961	24.0×8.0×69.0	京都国立近代美術館
56	走-31	八木一夫	踊り	1962	22.5×17.5×26.0	京都国立近代美術館
57	走-32	八木一夫	壁体	1963	37.0×7.5×52.0	京都国立近代美術館
58	走-33	山田光	作品	1955	23.0×19.0×29.6	個人蔵
59	走-34	山田光	作品	1956	24.0×25.0×24.0	岐阜県現代陶芸美術館
60	走-35	山田光	作品	1957	22.5×28.0×25.0	岐阜県美術館
61	走-36	山田光	作品	1958	30.0×37.0×32.0	高松市美術館
62	走-37	山田光	二つの塔	1959	右30.0×8.7×81.5 左30.5×10.8×77.5	和歌山県立近代美術館
63	走-38	山田光	緑釉 塔	1962	9.0×14.0×63.3	広島県立美術館
64	走-39	山田光	塔	1963	36.0×16.0×39.0	岐阜県美術館
65	走-40	鈴木治	木魂	1959	73.5×23.0×22.0	京都国立近代美術館
66	走-41	鈴木治	汗馬	1959	83.0×12.0×31.0	京都国立近代美術館
67	走-42	鈴木治	風	1959	124.0×35.0	京都国立近代美術館
68	走-43	鈴木治	森の歌	1960	75.0×91.5	京都国立近代美術館
69	走-44	鈴木治	華麗なる野武士	1961	151.0×34.0	京都国立近代美術館
70	走-45	鈴木治	土偶	1963	35.3×25.8×47.0	京都国立近代美術館
71	走-46	鈴木治	数の土面	1963	42.5×13.5×44.5	福島県立美術館
72	走-47	河島浩三	作品	1958頃	32.0×32.0×27.0	個人蔵
73	走-48	森里忠男	ひょっとこ	1955	15.5×5.5×33.0	個人蔵
74	走-49	森里忠男	作品B	1955	14.3×7.6×30.5	個人蔵
75	走-50	森里忠男	作品	1957頃	13.5×13.5×32.0	個人蔵
76	走-51	森里忠男	作品	1958	28.5×14.0×30.5	個人蔵
77	走-52	森里忠男	作品	1950年代末 -60年代初頭	33.5×24.5×29.0	個人蔵
78	走-53	辻勘之	円の炎	1960頃	19.0×7.7×15.0	個人蔵
79	走-54	加藤達美	作品	1955頃	29.0×24.0×44.5	個人蔵
80	走-55	加藤達美	作品	1955頃	35.5×33.0×19.0	個人蔵
81	走-56	叶敏	作品	1955頃	41.0×38.0×30.0	個人蔵

出品番号	群番号	作家名	作品名	制作年	寸法(cm)	所蔵
82	走-57	熊倉順吉	さざめごと	1955	29.3×22.9×35.0	国立工芸館
83	走-58	熊倉順吉	凝固する炎	1956	25.0×25.0×81.5	国立工芸館
84	走-59	寺尾恍示	作品63-A	1963	61.2×11.6×71.8	京都市美術館
85	走-60	寺尾恍示	プラスの世界	1963	53.0×14.0×128.0	京都国立近代美術館
86	走-61	藤本能道	日蝕	1957	38.5×26.0×52.0	京都市立芸術大学芸術資料館
87	走-62	藤本能道	無題	1958	24.0×19.8×48.5	京都国立近代美術館
88	走-63	藤本能道	緑釉花器	1959頃	18.3×18.0×29.0	京都国立近代美術館
89	走-64	藤本能道	童話	1960	40.3×16.5×49.1	京都国立近代美術館
90	走-65	川上力三	かたりべ	1963	39.0×20.0×67.0	ギャラリーヒルゲート
91	走-66	川上力三	面相	1963	25.0×20.0×60.0	広島県立美術館
92	他-8	辻晉堂	禁煙（禁煙の名人）	1956	22.0×16.0×31.5	愛知県陶磁美術館
93	他-9	辻晉堂	時計	1956	34.0×10.0×40.0	京都国立近代美術館
94	他-10	辻晉堂	東山にて	1962	118.0×15.5×68.0	個人蔵
95	他-11	森野泰明	WORK 60-13	1960	70.0×65.0×45.0	常滑市
96	他-12	森野泰明	WORK 61-1	1961	44.0×14.3×103.0	和歌山県立近代美術館
97	他-13	柳原睦夫	作品	1963	39.0×19.8×54.1	京都市美術館

### 第3章 「現代国際陶芸展」以降の走泥社（1964-73年）

98	走-67	八木一夫	小町のギブス	1964	22.7×34.0×37.0	京都国立近代美術館
99	走-68	八木一夫	壁体	1964	68.5×6.5×52.0	京都国立近代美術館
100	走-69	八木一夫	曲	1964	28.0×13.5×33.5	岐阜県現代陶芸美術館
101	走-70	八木一夫	壁体	1964頃	63.0×6.0×53.0	愛知県陶磁美術館
102	走-71	八木一夫	黒陶 環	1967	30.5×10.0×30.5	国立工芸館
103	走-72	八木一夫	白い箱 OPEN OPEN	1971	23.0×23.0×29.0	京都国立近代美術館
104	走-73	八木一夫	頁1	1971	23.0×16.0×14.5	岐阜県現代陶芸美術館
105	走-74	八木一夫	ノ一	1972	22.3×15.3×3.9	京都国立近代美術館
106	走-75	山田光	塔	1964	47.0×6.0×39.0	京都国立近代美術館
107	走-76	山田光	塔	1964	53.0×11.0×29.0	京都府（京都文化博物館管理）
108	走-77	山田光	窓	1966	47.0×4.5×39.8	京都国立近代美術館
109	走-78	山田光	陶壁	1969	51.0×6.5×41.5	和歌山県立近代美術館
110	走-79	山田光	球体のある花生	1969頃	14.5×14.5×33.0	愛知県陶磁美術館
111	走-80	山田光	白の間隙	1971	48.0×7.5×59.0	高松市美術館
112	走-81	山田光	白の間隙	1971	37.0×12.0×45.0	福島県立美術館

出品番号	群番号	作家名	作品名	制作年	寸法(cm)	所蔵
113	走-82	山田光	1の周辺	1976	34.5×6.0×40.0	岐阜県現代陶芸美術館
114	走-83	鈴木治	フタツの箱	1964	41.5×25.5×40.5	国立工芸館
115	走-84	鈴木治	泥像	1965	35.0×23.0×40.0	京都国立近代美術館
116	走-85	鈴木治	座る泥像	1970	左29.3×29.3×58.0 右28.8×29.5×57.8	京都国立近代美術館
117	走-86	鈴木治	馬	1971	45.0×17.0×81.0	京都国立近代美術館
118	走-87	鈴木治	馬	1972	53.0×17.3×78.5	京都国立近代美術館
119	走-88	鈴木治	縞の立像	1971	24.7×23.0×39.5	樂翠亭美術館
120	走-89	鈴木治	天馬 <sup>おうばく</sup> 横轉	1973	20.5×12.8×16.5	岐阜県現代陶芸美術館
121	走-90	鈴木治	上を向く馬	1975	17.2×8.0×38.7	滋賀県立陶芸の森陶芸館
122	走-91	河島浩三	筆紋と壺	1972	17.5×17.5×29.0	個人蔵
123	走-92	辻勘之	KAO	1965	25.0×17.8×35.5	個人蔵
124	走-93	辻勘之	暴力団	1965	22.0×19.7×35.5	個人蔵
125	走-94	辻勘之	虫	1974	24.0×16.5×15.5 29.0×24.0×22.5 28.0×21.0×20.5 29.0×21.5×20.0ほか	個人蔵
126	走-95	熊倉順吉	暦日	1965	40.5×41.0×66.5	京都府（京都文化博物館管理）
127	走-96	熊倉順吉	困却	1965	31.5×20.5×29.0	岐阜県現代陶芸美術館
128	走-97	熊倉順吉	風人'67	1967	50.0×48.0×37.0	京都国立近代美術館
129	走-98	熊倉順吉	力つきて	1969	30.5×46.0×53.0	国立工芸館
130	走-99	熊倉順吉	座	1972	58.0×34.0×60.5	国立工芸館
131	走-100	鳥羽克昌	作品	1973頃	21.5×23.0×20.5 21.5×24.2×20.5 21.5×24.5×20.5	個人蔵
132	走-101	田辺彩子	作品	1973頃	18.5×18.0×24.5	個人蔵
133	走-102	田辺彩子	作品	1974頃	17.3×17.3×18.5	個人蔵
134	走-103	田辺彩子	作品	1979	16.0×7.3×40.0	個人蔵
135	走-104	林康夫	作品67-11	1967	40.0×26.0×41.0	高松市美術館
136	走-105	林康夫	作品69-3	1969	26.3×20.5×33.5	国立工芸館
137	走-106	林康夫	ホットケーキ	1971	33.0×32.0×18.0	和歌山県立近代美術館
138	走-107	川上力三	面相	1964	24.6×15.0×60.7	和歌山県立近代美術館
139	走-108	川上力三	荒法師	1964	31.0×28.0×63.0	個人蔵
140	走-109	川上力三	偽証	1966	24.0×10.4×40.7	和歌山県立近代美術館
141	走-110	吉竹弘	作品	1979	28.8×72.0×68.0	個人蔵
142	走-111	吉竹弘	作品	1979	27.0×65.0×63.0	個人蔵

出品番号	群番号	作家名	作品名	制作年	寸法(cm)	所蔵
143	走-112	近藤清次	作品	1972	53.0×41.0×26.0	個人蔵
144	走-113	林秀行	女の一生	1965	34.0×22.0×14.0 34.0×22.0×14.0 30.0×20.0×14.0	広島県立美術館
145	走-114	林秀行	箱の中の輪違い	1968	37.5×37.5×37.5	和歌山県立近代美術館
146	走-115	林秀行	三つの形	1970	20.5×20.5×44.5	和歌山県立近代美術館
147	走-116	林秀行	作品	1973	40.0×22.0×16.0 29.0×13.0×21.0 29.0×13.0×21.0 29.0×13.0×21.0	京都国立近代美術館
148	走-117	佐藤敏	バットマン	1971	29.0×34.0×42.0	広島県立美術館
149	走-118	佐藤敏	カブトマン	1971	31.0×28.0×43.0	高松市美術館
150	走-119	佐藤敏	ビットマン	1971	33.0×30.0×42.0	高松市美術館
151	走-120	高野基夫	ノンセンシカル・ムード	1973	インスタレーション (30.7×30.5×27.0ほか)	北海道立近代美術館
152	走-121	笹山忠保	アンタイトル	1968	126.0×36.5×36.0	個人蔵
153	走-122	笹山忠保	アンタイトル2	1968	133.0×37.0×36.0	個人蔵
154	走-123	笹山忠保	アンタイトル3	1968	132.0×36.5×37.0	個人蔵
155	走-124	人見政次	作品	1968	27.3×18.0×49.0	個人蔵
156	走-125	人見政次	土の精	1972	43.5×21.5×47.0	個人蔵
157	走-126	人見政次	作品	1973	32.0×18.5×55.0 34.0×18.0×56.0	個人蔵
158	走-127	三輪龍作	愛の為に	1967	24.4×8.7×20.2	国立工芸館
159	走-128	三輪龍作	愛の為に	1968	27.0×8.0×17.5	国立工芸館
160	走-129	三輪龍作	毒眼	1968	22.0×22.0×20.0	菊池寛実記念 智美術館
161	走-130	三輪龍作	LOVE	1969	90.0×84.0×103.0	高松市美術館
162	走-131	三輪龍作	LOVE	1969	90.0×84.0×103.0	高松市美術館
163	走-132	宮永理吉	パイプ	1970	30.0×14.0×34.5	国立工芸館
164	走-133	宮永理吉	格子A	1970	36.0×25.0×35.0	国立工芸館
165	走-134	宮永理吉	パイプ	1972	18.0×14.5×26.0	広島県立美術館
166	走-135	宮永理吉	三角の中の四角	1973	20.0×38.0 18.0×30.0	国立工芸館
167	走-136	宮永理吉	海	1973	28.0×29.0×29.5	京都国立近代美術館
168	走-137	里中英人	シリーズ： 公害アレルギー I-VI	1971	32.0×33.5×47.5ほか	京都国立近代美術館
169	走-138	益田芳徳	沈黙	1974	21.1×35.5×21.2 20.6×35.5×20.6 21.4×35.2×21.9 24.3×33.5×22.1	京都国立近代美術館
170	走-139	緑川宏樹	くすぶる	1975	右42.0×35.0×19.0 左25.0×25.0×38.0	いわき市立美術館

出品番号	群番号	作家名	作品名	制作年	寸法(cm)	所蔵
171	走-140	金ヶ江和隆	波打つ形	1976	40.0×35.0×50.0	個人蔵
172	走-141	金ヶ江和隆	ふたつの間には	1976	85.0×25.0×35.0	個人蔵
173	走-142	小西晴美	1970年 走泥社展会場風景	1970	スライド上映	個人蔵
174	走-143	小西晴美	1971年 走泥社展会場風景	1971	スライド上映	個人蔵
175	走-144	小西晴美	1972年 走泥社展会場風景	1972	スライド上映	個人蔵
176	他-14	ピーター・ヴォーコス	陶彫	1963	32.0×18.0×20.0	京都国立近代美術館
177	他-15	ハワード・コトラ	壺	1963	18.8×18.8×31.6	京都国立近代美術館
178	他-16	ケネス・スターバード	花生	1963	20.3×20.3×36.0	京都国立近代美術館
179	他-17	ルース・ダックワース	大平鉢	1963	44.2×44.2×15.5	京都国立近代美術館
180	他-18	ハンス・コパー	花生	1963	12.9×12.9×18.8	京都国立近代美術館
181	他-19	ルーチョ・フォンタナ	陶板	1963	38.0×1.4×19.2	京都国立近代美術館
182	他-20	ニーノ・カルーソ	共蓋壺	1963	23.5×20.5×36.9	京都国立近代美術館
183	他-21	原弘	「現代国際陶芸展」 ポスター	1964	各B2(72.8×51.5)	京都国立近代美術館

## 4. 館蔵品貸出状況

(古書画・日本画)

作者名	作品名	貸出先	展覧会名	会期
白神 皞々 (菅茶山賛)	韓信股くぐり図	菅茶山記念館	菅茶山と四条派の絵師たち	2023年 9月 6日(水)－10月15日(日)
浦上 玉堂	蘆隠老禪図	佐川美術館	吉左衛門X 浦上玉堂 × 楽直入	2023年 9月30日(土) －2024年 1月28日(日)
浦上 玉堂	山澗読易図	佐川美術館	吉左衛門X 浦上玉堂 × 楽直入	2023年 9月30日(土) －2024年 1月28日(日)
浦上 玉堂	琴写澗泉図	佐川美術館	吉左衛門X 浦上玉堂 × 楽直入	2023年 9月30日(土) －2024年 1月28日(日)
浦上 玉堂	疎松曲水図	佐川美術館	吉左衛門X 浦上玉堂 × 楽直入	2023年 9月30日(土) －2024年 1月28日(日)
浦上 玉堂	山高水長図	佐川美術館	吉左衛門X 浦上玉堂 × 楽直入	2023年 9月30日(土) －2024年 1月28日(日)
浦上 玉堂	寒林閒處図	佐川美術館	吉左衛門X 浦上玉堂 × 楽直入	2023年 9月30日(土) －2024年 1月28日(日)
浦上 玉堂	雲寒寒潭図	佐川美術館	吉左衛門X 浦上玉堂 × 楽直入	2023年 9月30日(土) －2024年 1月28日(日)
浦上 玉堂	雲山静望図	佐川美術館	吉左衛門X 浦上玉堂 × 楽直入	2023年 9月30日(土) －2024年 1月28日(日)
浦上 玉堂	静見秋山図	佐川美術館	吉左衛門X 浦上玉堂 × 楽直入	2023年 9月30日(土) －2024年 1月28日(日)
浦上 玉堂	深林絶壁図	佐川美術館	吉左衛門X 浦上玉堂 × 楽直入	2023年 9月30日(土) －2024年 1月28日(日)
浦上 玉堂	山翁嘯咏図	佐川美術館	吉左衛門X 浦上玉堂 × 楽直入	2023年 9月30日(土) －2024年 1月28日(日)
浦上 玉堂	清涼馨香図	佐川美術館	吉左衛門X 浦上玉堂 × 楽直入	2023年 9月30日(土) －2024年 1月28日(日)
浦上 玉堂	春山染雨図	佐川美術館	吉左衛門X 浦上玉堂 × 楽直入	2023年 9月30日(土) －2024年 1月28日(日)
浦上 玉堂	山靈出雨図	佐川美術館	吉左衛門X 浦上玉堂 × 楽直入	2023年 9月30日(土) －2024年 1月28日(日)
浦上 玉堂	雅子挾書勤賢問図	佐川美術館	吉左衛門X 浦上玉堂 × 楽直入	2023年 9月30日(土) －2024年 1月28日(日)
浦上 玉堂	秋山吟嘯図	佐川美術館	吉左衛門X 浦上玉堂 × 楽直入	2023年 9月30日(土) －2024年 1月28日(日)
浦上 玉堂	深山幽屋図	佐川美術館	吉左衛門X 浦上玉堂 × 楽直入	2023年 9月30日(土) －2024年 1月28日(日)
浦上 玉堂	雲山模糊図	佐川美術館	吉左衛門X 浦上玉堂 × 楽直入	2023年 9月30日(土) －2024年 1月28日(日)
小野 雲鵬	郭子儀図	倉敷市立美術館	新風礼賛—新収蔵作品を中心に	2024年 1月 5日(金)－ 3月10日(日)
小野 雲鵬	福寿草図	倉敷市立美術館	新風礼賛—新収蔵作品を中心に	2024年 1月 5日(金)－ 3月10日(日)
林 皓幹	垣間見	東京富士美術館	源氏物語 THE TALE OF GENJI —「源氏文化」の拡がり 絵画、工芸から現代アートまで—	2024年 2月24日(土)－ 3月24日(日)

(洋画)

作者名	作品名	貸出先	展覧会名	会期
吉田 苞	赤い支那傘	目黒区美術館 高梁市成羽美術館 新潟県立近代美術館	ベルギーと日本—光をえがき、命をかたどる	2023年 4月29日(土)－ 6月18日(日) 2023年 7月 8日(土)－ 8月27日(日) 2023年 9月16日(土)－11月12日(日)
吉田 苞	酒津の庭	目黒区美術館 高梁市成羽美術館 新潟県立近代美術館	ベルギーと日本—光をえがき、命をかたどる	2023年 4月29日(土)－ 6月18日(日) 2023年 7月 8日(土)－ 8月27日(日) 2023年 9月16日(土)－11月12日(日)
満谷 国四郎	木々の秋	兵庫県立美術館	ある画家の肖像 金山平三と同時代の画家たち	2023年 6月 3日(土)－ 7月23日(日)

満谷 国四郎	臨江甘露寺(鎮江)	兵庫県立美術館	ある画家の肖像 金山平三と同時代の画家たち	2023年 6月 3日(土) - 7月23日(日)
有元 利夫	会話	倉敷市立美術館	絵は奏で、物語る—はるかなる時空の旅人たち—	2023年10月 7日(土) - 12月17日(日)
斎藤 真一	赤い憂愁	倉敷市立美術館	絵は奏で、物語る—はるかなる時空の旅人たち—	2023年10月 7日(土) - 12月17日(日)
斎藤 真一	おいとの帰郷	倉敷市立美術館	絵は奏で、物語る—はるかなる時空の旅人たち—	2023年10月 7日(土) - 12月17日(日)
斎藤 真一	梅雨の頃(髪洗い)	倉敷市立美術館	絵は奏で、物語る—はるかなる時空の旅人たち—	2023年10月 7日(土) - 12月17日(日)
斎藤 真一	風の日	倉敷市立美術館	絵は奏で、物語る—はるかなる時空の旅人たち—	2023年10月 7日(土) - 12月17日(日)
斎藤 真一	さすらいの楽師	倉敷市立美術館	絵は奏で、物語る—はるかなる時空の旅人たち—	2023年10月 7日(土) - 12月17日(日)
斎藤 真一	瞽女旅姿	倉敷市立美術館	絵は奏で、物語る—はるかなる時空の旅人たち—	2023年10月 7日(土) - 12月17日(日)
満谷 国四郎	鏡を見る女	長崎県美術館	浪漫の光芒—永見徳太郎と長崎の近代	2023年10月14日(土) —2024年 1月 8日(月・祝)
国吉 康雄	ニューイングランド風景	茨城県近代美術館	国吉康雄展 ～安眠を妨げる夢～ 福武コレクション・岡山県立美術館の コレクションを中心に	2023年10月24日(火) - 12月24日(日)
国吉 康雄	風景(デッサン)	茨城県近代美術館	国吉康雄展 ～安眠を妨げる夢～ 福武コレクション・岡山県立美術館の コレクションを中心に	2023年10月24日(火) - 12月24日(日)
国吉 康雄	夜明けが来る	茨城県近代美術館	国吉康雄展 ～安眠を妨げる夢～ 福武コレクション・岡山県立美術館の コレクションを中心に	2023年10月24日(火) - 12月24日(日)
国吉 康雄	牛と少女	茨城県近代美術館	国吉康雄展 ～安眠を妨げる夢～ 福武コレクション・岡山県立美術館の コレクションを中心に	2023年10月24日(火) - 12月24日(日)
国吉 康雄	祭りは終わった	茨城県近代美術館	国吉康雄展 ～安眠を妨げる夢～ 福武コレクション・岡山県立美術館の コレクションを中心に	2023年10月24日(火) - 12月24日(日)
坂田 一男	キュビズム的人物像	茨城県近代美術館	国吉康雄展 ～安眠を妨げる夢～ 福武コレクション・岡山県立美術館の コレクションを中心に	2023年10月24日(火) - 12月24日(日)
松原 三五郎	桃	三重県立美術館	洋画の青春—明治期・三重の若き画家たち	2024年 1月27日(土) - 4月14日(日)
松原 三五郎	父の像	三重県立美術館	洋画の青春—明治期・三重の若き画家たち	2024年 1月27日(土) - 4月14日(日)
鹿子木 孟郎	裸婦習作(立像)	三重県立美術館	洋画の青春—明治期・三重の若き画家たち	2024年 1月27日(土) - 4月14日(日)
鹿子木 孟郎	男裸体習作(背面)	三重県立美術館	洋画の青春—明治期・三重の若き画家たち	2024年 1月27日(土) - 4月14日(日)
鹿子木 孟郎	男裸体習作(横向)	三重県立美術館	洋画の青春—明治期・三重の若き画家たち	2024年 1月27日(土) - 4月14日(日)
赤松 麟作	婦人像	三重県立美術館	洋画の青春—明治期・三重の若き画家たち	2024年 1月27日(土) - 4月14日(日)
赤松 麟作	裸婦	三重県立美術館	洋画の青春—明治期・三重の若き画家たち	2024年 1月27日(土) - 4月14日(日)
赤松 麟作	水鳥のいる風景	三重県立美術館	洋画の青春—明治期・三重の若き画家たち	2024年 1月27日(土) - 4月14日(日)
赤松 麟作	樹(早春)	三重県立美術館	洋画の青春—明治期・三重の若き画家たち	2024年 1月27日(土) - 4月14日(日)
赤堀 佐兵	らくだ	勝央美術文学館	赤堀佐兵と独立美術協会の画家たち	2024年 2月10日(土) - 3月10日(日)

## 5. 観覧者数一覧

### (1) 令和5年度月別観覧者数

令和6年3月31日現在

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
総日数		30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	29	31	366
岡山の美術展のみ		0	0	0	0	0	9	0	4	6	0	1	0	20
企画展		26	18	25	17	25	13	26	19	15	24	19	27	254
小計(A)		26	18	25	17	25	22	26	23	21	24	20	27	274
休館日数		4	13	5	14	6	8	5	7	10	7	9	4	92
岡山の美術展のみ	有料	286	147	0	136	407	479	284	725	674	463	424	506	4,531
	無料	186	35	0	149	262	213	86	322	341	181	207	239	2,221
	小計	472	182	0	285	669	692	370	1,047	1,015	644	631	745	6,752
特別展のみ	有料	9,211	4,971	1,011	2,767	6,134	3,643	7,620	5,935	5,537	8,506	9,142	1,048	65,525
	無料	3,079	1,935	1,297	1,302	2,904	2,289	2,664	2,646	1,252	2,293	2,974	1,079	25,714
	小計	12,290	6,906	2,308	4,069	9,038	5,932	10,284	8,581	6,789	10,799	12,116	2,127	91,239
(両方)	無料	(2,722)	(1,355)	(0)	(3,562)	(8,821)	(1,597)	(3,697)	(4,351)	(1,120)	(824)	(1,124)	(1,299)	(30,472)
総計	有料	9,497	5,118	1,011	2,903	6,541	4,122	7,904	6,660	6,211	8,969	9,566	1,554	70,056
	無料	(5,987) 3,265	(3,325) 1,970	(1,297) 1,297	(5,013) 1,451	(11,987) 3,166	(4,099) 2,502	(6,447) 2,750	(7,319) 2,968	(2,713) 1,593	(3,298) 2,474	(4,305) 3,181	(2,617) 1,318	(58,407) 27,935
	合計(B)	(15,484) 12,762	(8,443) 7,088	(2,308) 2,308	(7,916) 4,354	(18,528) 9,707	(8,221) 6,624	(14,351) 10,654	(13,979) 9,628	(8,924) 7,804	(12,267) 11,443	(13,871) 12,747	(4,171) 2,872	(128,463) 97,991
平均 (B/A)		(596) 491	(469) 394	(92) 92	(466) 256	(741) 388	(374) 301	(552) 410	(608) 419	(425) 372	(511) 477	(694) 637	(154) 106	(469) 358
累計		(15,484) 12,762	(23,927) 19,850	(26,235) 22,158	(34,151) 26,512	(52,679) 36,219	(60,900) 42,843	(75,251) 53,497	(89,230) 63,125	(98,154) 70,929	(110,421) 82,372	(124,292) 95,119	(128,463) 97,991	(128,463) 97,991

( ) は両方を含めた人数

## (2) 令和5年度特別展観覧者一覧表

展覧会の名称	会期 日数 (日)	開館 日数 (日)	休館 日数 (日)	有料 観覧者数 (人)	無料 観覧者数 (人)	合計 (人)	累計 (人)	1日平均 (人)
和田誠展 3月24日(金)－5月7日(日) ※令和5年度分のみ	37	33	4	13,720	4,466	18,186	18,186	551
開館35周年収蔵品展 CORRELATION－交流と継承 5月19日(金)－7月2日(日)	45	38	7	1,622	2,029	3,651	21,837	96
美をたどる 皇室と岡山 ～三の丸尚蔵館収蔵品より 7月15日(土)－8月27日(日)	44	40	4	8,752	4,022	12,774	34,611	319
第74回 岡山県美術展覧会 9月6日(水)－9月17日(日)	12	10	2	3,160	2,118	5,278	39,889	528
ウィリアム・モリス展 英国の風景とともにめぐる デザインの軌跡 9月29日(金)－11月5日(日)	38	33	5	10,839	4,068	14,907	54,796	452
第70回日本伝統工芸展岡山展 11月16日(木)－12月3日(日)	18	17	1	4,131	1,870	6,001	60,797	353
『鬼滅の刃』吾峠呼世晴原画展 12月15日(金)－2024年2月18日(日)	66	52	14	22,160	5,976	28,136	88,933	541
走泥社再考 前衛陶芸が生まれた時代 2月27日(火)－4月7日(日) ※令和5年度分のみ	34	30	4	1,141	1,165	2,306	91,239	77
合 計	294	253	41	65,525	25,714	91,239		

# 教育普及事業

## 目的

「博物館をあらゆる人に開放する最も有効な方法に関する勧告」（1960年ユネスコの勧告）に基づき、「一人ひとりが文化的で豊かであること」を目指して、社会や市民と美術館の接点を形成する活動を行う。

## 方法、具体的な取組

- 一人ひとりが自分自身の可能性を見出すことをサポートする。
- 社会教育施設・生涯学習施設として、誰もが安心して学び、楽しめる場づくりに努める。
- 関係機関との連携、利用者との対話・交流をとおして、美術館の新しい価値を生み出すことに挑戦する。
  - ・来館者を対象とした教育普及プログラムを実施する。
  - ・アウトリーチを実施する。
  - ・アクセシビリティの向上を図り、ユニバーサル・ミュージアムの推進に努める。
  - ・人材育成の一翼を担う。
  - ・調査・研究を継続的に行い、教育活動の充実を図るとともに、シンポジウムやフォーラムを開催する。

－2022年3月／岡山県立美術館 ミッションステイトメントより抜粋－

## 1. こんにちは美術館事業

「展示室へ誘い、作品や美術に対する理解を深める」「美術館の機能や役割に対する理解を促す」ことを目的として、「つくる（制作）」に関わる活動や「みる（鑑賞）」に関わる活動を中心に、美術や美術館に親しむことができる企画立案に努め実施した。

また、美術館という場に、心理的バリアーやボーダーを持ちやすい「子どもやそのファミリー、視覚障害者等」とともに、プレ・ミュージアム事業やユニバーサル・ミュージアム事業を実施した。

### 1-1 各種講座等

#### (1) 令和5年度 美術館講座

「週末はゆっくり美術館で過ごしたい」「美術に関する話を聞きたい」という方を対象として、当館学芸員が講師となり、美術や展覧会に関して一歩踏み込んだ講座を実施した。

日程	展覧会名	題目、テーマ等	講師	会場、定員等	参加人数
4月23日（日） 14:00－15:30	和田誠展	美術館講座 「和田誠と映画」	ゲスト／江見肇氏 (山陽新聞デジタル掲載 「映画漫談シネじいひとり旅」筆者) 聞き手／福富幸 (副管理者学芸課長事務取扱)	地下1階講義室 定員50人 (当日先着順) * 等観覧券（半券可）	38人
7月23日（日） 14:00－15:30	美をたどる皇室と岡山 －三の丸尚蔵館収蔵品より－	美術館講座 「名宝の軌跡／ 雲谷派の足跡」	森田詩織（学芸員）	地下1階講義室 定員50人 (当日先着順) * 聴講無料	27人
8月13日（日） 14:00－15:30	美をたどる皇室と岡山 －三の丸尚蔵館収蔵品より－	美術館講座 「皇室ゆかりの 近代日本画を見る」	橘凛（学芸員）	地下1階講義室 定員50人 (当日先着順) * 聴講無料	44人
9月16日（土） 14:00－15:30	岡山の美術展第5期	美術館講座 「来迎図入門－ 平安時代後期の 作品を中心に」	鈴木恒志（学芸員）	地下1階講義室 定員50人 (当日先着順) * 聴講無料	21人
10月21日（土）	ウィリアム・モリス 英国の風景とともにめぐる デザインの軌跡	美術館講座 「ウィリアム・モリスと 中世趣味」	橋村直樹（主任学芸員）	地下1階講義室 定員50人 (当日先着順) * 要観覧券（半券可）	54人
2024年 3月16日（土） 14:00－15:30	走泥社再考 前衛陶芸が生まれた時代	美術館講座 「前衛陶芸が生まれた時代 －陶芸といけばな－」	福富幸	地下1階講義室 定員50人 (当日先着順)	16人



「名宝の軌跡／雲谷派の足跡」



「ウィリアム・モリスと中世趣味」



「前衛美術が生まれた時代－陶芸といけばな－」

## (2) 令和5年度 美術の夕べ

展覧会会期中の毎月最終土曜日に実施している夜間開館の中で、学芸員によるフロアレクチャーや演奏者を招聘してミュージアム・コンサート等を実施した。

日程	題目、テーマ等	講師	会場	参加人数
4月29日(土) 18:00-18:40	美術の夕べ 「作品から画業をたどる－松岡壽から水野恭子まで」	廣瀬就久(主任学芸員)	2階展示室 * 要当日観覧券	4人
5月27日(土) 18:00-18:40	美術の夕べ 「開館35周年収蔵品展を見る－岡山総合文化センターから県立美術館へ」	洪性孝(学芸員)	2階展示室 * 要当日観覧券	3人
6月24日(土) 18:00-18:30	美術の夕べ 「I氏賞」受賞作家とコレクションの未来	古川文子(学芸員)	地下1階展示室 * 要当日観覧券	12人
7月29日(土) 17:30-19:30	美術の夕べ 美をたどる皇室と岡山－三の丸尚蔵館収蔵品より－ 「第I・II章を中心に」	森田詩織(学芸員)、橘凜(学芸員)	2階展示室&地下1階展示室 * 要当日観覧券	22人
8月26日(土) 17:30-18:30	美術の夕べ 美をたどる皇室と岡山－三の丸尚蔵館収蔵品より－ 「第III・IV章を中心に」	廣瀬就久、福富幸(副管理者学芸員課長事務取扱)	2階展示室&地下1階展示室 * 要当日観覧券	60人
9月30日(土) 18:00-19:00	美術の夕べ ウィリアム・モリス 英国の風景とともにめぐるデザインの軌跡 担当学芸員によるフロアレクチャー	橋村直樹(主任学芸員)	地下1階展示室 * 要当日観覧券	41人
10月28日(土) 18:00-19:00	美術の夕べ ウィリアム・モリス 英国の風景とともにめぐるデザインの軌跡 担当学芸員によるフロアレクチャー	橋村直樹	地下1階展示室 * 要当日観覧券	50人
11月25日(土) 17:30-18:00	美術の夕べ 生誕140年清水比庵展－日々を愛でる－ 担当学芸員によるフロアレクチャー	橘凜	2階展示室 * 要当日観覧券	7人
11月25日(土) 18:00-19:00	美術の夕べ 第70回日本伝統工芸展岡山展 列品解説(陶芸)	伊勢崎晃一郎氏(備前焼作家)	地下1階展示室 * 要当日観覧券	12人
12月23日(土) 18:00-18:30	美術の夕べ 岡山の美術 収蔵品特集 中山巍 担当学芸員によるフロアレクチャー	廣瀬就久	2階展示室 * 要当日観覧券	12人
2024年 1月27日(土) 18:00-18:30	美術の夕べ 「『鬼滅の刃』吾峠呼世晴原画展を見る」	洪性孝	地下1階展示室 * 要当日観覧券	37人
3月30日(土) 17:30-18:30	美術の夕べ 走泥社再考 前衛陶芸が生まれた時代 担当学芸員によるフロアレクチャー	福富幸	地下1階展示室 * 要当日観覧券	20人



「美をたどる皇室と岡山－三の丸尚蔵館収蔵品より－「第I・II章を中心に」」



「第70回日本伝統工芸展岡山展 列品解説(陶芸)」



「『鬼滅の刃』吾峠呼世晴原画展を見る」

## (3) 令和5年度 展覧会関連講座・講演会・フロアレクチャー等

岡山の美術展や特別展をより深く理解してもらうため、外部講師や当館学芸員による講演会やフロアレクチャー等を実施した。

日程	展覧会名	題目、テーマ等	講師	会場、定員等	参加人数
4月1日(土) 10:00- 14:00- 4月2日(日) 10:00- 14:00- 4月22日(土) 10:00- 14:00- 4月23日(日) 10:00- 14:00- 4月28日(金) 10:00- 14:00- 4月29日(土) 10:00- 14:00- 4月30日(日) 10:00- 14:00-	和田誠展	絵本の読み聞かせ	当館ボランティアスタッフ	地下1階展示室 * 要当日観覧券	4/1 10-:4人 14-:6人 4/2 10-:8人 14-:7人 4/22 10-:18人 14-:13人 4/23 10-:8人 14-:6人 4/28 10-:0人 14-:3人 4/29 10-:0人 14-:7人 4/30 10-:11人 14-:20人
5月21日(日) 14:00-14:30	開館35周年収蔵品展 「CORRELATION -交流と継承」	展覧会解説 「雪舟様式の伝播」	森田詩織(学芸員)	地下1階展示室 * 要当日観覧券	25人
5月27日(土) 14:00-14:30	開館35周年収蔵品展 「CORRELATION -交流と継承」	展覧会解説 「平櫛田中とその周辺」	鈴木恒志(学芸員)	2階展示室 * 要当日観覧券	18人
6月3日(土) 14:00-14:30	開館35周年収蔵品展 「CORRELATION -交流と継承」	展覧会解説 「海外で学び、描いた岡山の洋画家たち」	橋村直樹(主任学芸員)	地下1階展示室 * 要当日観覧券	18人
6月10日(土) 14:00-15:30	開館35周年収蔵品展 「CORRELATION -交流と継承」	展覧会解説 「岡山の工芸-交流と継承」	福富幸(福管理者事務取扱学芸課長)	2階展示室 * 要当日観覧券	10人
6月11日(日) 14:00-15:30	開館35周年収蔵品展 「CORRELATION -交流と継承」	記念講演会 「岡山県立美術館35年の歩み」	守安収(館長)	2階ホール 定員:210人 (当日先着順) * 聴講無慮	65人
6月17日(土) 14:00-14:30	開館35周年収蔵品展 「CORRELATION -交流と継承」	展覧会解説 「文人の交遊-浦上玉堂と春琴・秋琴から」	森田詩織	地下1階展示室 * 要当日観覧券	30人
6月24日(土) 14:00-14:30	開館35周年収蔵品展 「CORRELATION -交流と継承」	展覧会解説 「京都日本画の系譜と岡山」	橘凜(学芸員)	2階展示室 * 要当日観覧券	25人
7月1日(土) 14:00-14:30	開館35周年収蔵品展 「CORRELATION -交流と継承」	展覧会解説 「松原三五郎と満谷国四郎から画家たちをたどる」	廣瀬就久(主任学芸員)	地下1階展示室 * 要当日観覧券	20人
7月15日(土) 14:00-15:30	美をたどる皇室と岡山 -三の丸尚蔵館収蔵品より-	記念講演会 「三の丸尚蔵館-開館30年の歩み」	小林彩子氏 (宮内庁三の丸尚蔵館主任学芸員)	能楽堂ホール tenjin9 (RSKイノベーションメディアセンター内) 定員:200人 (当日先着順) * 要観覧券(半券可)	81人
8月6日(日) 14:00-14:45	美をたどる皇室と岡山 -三の丸尚蔵館収蔵品より-	フロアレクチャー 「油彩画の始まりをさぐる」	廣瀬就久	2階展示室・ 地下1階展示室 * 要当日観覧券	30人
9月6日(水) 11:00-11:45	第74回岡山県美術展覧会	「彫刻の見方」	上田久利氏 (彫刻家・岡山大学名誉教授)	地下1階屋内広場 * 要当日観覧券	30人
10月1日(日) 14:00-15:30	ウィリアム・モリス 英国の風景とともにめぐる デザインの軌跡	記念講演会 「ウィリアム・モリスの歴史と現在」	藤田治彦氏(大阪大学名誉教授)	2階ホール 定員:220人 (当日先着順) * 要観覧券 (半券可)	141人

日程	展覧会名	題目、テーマ等	講師	会場、定員等	参加人数
10月7日(土) 15:30-16:30	ウィリアム・モリス 英国の風景とともにめぐる デザインの軌跡	Drawing Melodies2023 SAX 演奏&花パフォーマンス Thousand Blended Notes 自然の奏でる音	出演：加藤雄一郎氏(サクソ) 生け花パフォーマンス：学校法人就 実学園就実高等学校・中学校生徒部	中庭 *要当日観覧券	76人
10月14日(土) 15:30-16:30	ウィリアム・モリス 英国の風景とともにめぐる デザインの軌跡	Drawing Melodies2023 ピアノリサイタル&ウィリアム・ モリスに関する詩の朗読 Small Voices 耳をすまして	出演：当真伊都子氏(ピアノ) 朗読：梅ちゃんと素敵な仲間たち岡 山県立岡山操山高等学校2年生有志	中庭 *要当日観覧券	61人
10月28日(土) 15:30-16:30	ウィリアム・モリス 英国の風景とともにめぐる デザインの軌跡	Drawing Melodies2023 イギリス人作曲家の楽曲や、 イギリスのROCKバンドの 楽曲をアレンジして演奏 Whichever Way the Wind is Blowing 風の吹くままに	出演：岡山県立岡山城東高等学校管 弦楽部	2階ホール 定員： 220人 *要当日観覧券	138人
11月11日(土) 14:00-15:00	第十三回 I氏賞受賞作家展 内なる日常 -feel the pulse1	アーティストトーク	工藤あゆみ氏(出品作家)、 平子雄一氏(同)	2階展示室 *要当日観覧券	78人
11月12日(日) 14:00-14:30	生誕140年清水比庵 -日々を愛でる-	開催記念ギャラリートーク	ワーデン充子氏(清水比庵孫)	2階展示室 *要当日観覧券	35人
11月16日(木) 11:00-11:40	第70回 日本伝統工芸展岡山展	列品解説(金工)	佐故龍平氏(金工作家)	地下1階展示室 *要当日観覧券	20人
11月18日(土) 13:30-14:10	第70回 日本伝統工芸展岡山展	列品解説(漆芸)	大谷早人氏 (漆芸作家/重要無形文化財保持者)	地下1階展示室 *要当日観覧券	40人
11月19日(日) 13:30-14:10	第70回 日本伝統工芸展岡山展	列品解説 (陶芸・施釉陶/九谷焼)	米田和氏(九谷焼作家)	両展示室 *要当日観覧券	50人
11月23日(木) 13:30-14:10	第70回 日本伝統工芸展岡山展	列品解説(染織)	村上良子氏(染織作家/重要無形文 化財保持者・審査委員)	地下1階展示室 *要当日観覧券	80人
11月25日(土) 11:00-11:40 13:30-14:10	第70回 日本伝統工芸展岡山展	11:00- デビュートーク (木工) 13:30- 列品解説(木竹工)	小林篤史氏(木工作家) 須田賢司氏(木竹工作家/重要無形 文化財保持者・審査委員)	地下1階展示室 *要当日観覧券	11:00-: 50人 13:30-: 60人
11月26日(日) 11:00-11:40 13:30-14:10	第70回 日本伝統工芸展岡山展	11:00- デビュートーク (備前焼) 13:30- 列品解説(七宝)	島村光氏(備前焼作家) 岩本文子氏(七宝作家)	地下1階展示室 *要当日観覧券	11:00-: 69人 13:30-: 45人
12月2日(土) 13:30-14:10	第70回 日本伝統工芸展岡山展	列品解説(人形)	部谷きよみ氏(人形作家)	地下1階展示室 *要当日観覧券	30人
12月3日(日) 13:30-15:00	第70回 日本伝統工芸展岡山展	第70回記念講演会	今泉今右衛門氏(有田焼作家/重要 無形文化財保持者・審査委員・鑑査 委員)	講義室 定員：50人 (当日先着順) *要当日観覧券	65人
12月10日(日)	生誕140年清水比庵展 -日々を愛でる-	担当学芸員による フロアレクチャー	橘凜	2階展示室 *要当日観覧券	18人
2024年 1月13日(土) 14:00-15:30	『鬼滅の刃』 吾峠呼世晴原画展	記念講演会 「マンガをいかに展示する か？」	成相肇氏 (東京国立近代美術館主任研究員)	2階ホール 定員： 220人 *要当日観覧券	60人
2月12日(月・振休) 14:00-14:30	岡山の美術 収蔵品特集 中山巍	担当学芸員による フロアレクチャー	廣瀬就久	2階展示室 *要当日観覧券	22人
3月2日(土) 3月3日(日) 各日 14:00-15:30		学芸員ラップバトルトーナ メント「推し合い再び開幕」	MC：Weapon the Rhyme, BISCO 挑戦者：岡山県立美術館S氏、倉敷 市立美術館S氏、総社吉備路文化館 T氏、岡山市立オリエント美術館I 氏、笠岡市立竹喬美術館K氏、総社 市まちかど郷土館A氏 前回チャンピオン：林原美術館H氏	2階ホール 定員 200人(各日) *要観覧券	3/2: 160人 3/3: 200人
3月20日(水・祝) 14:00-15:30	走泥社再考 前衛陶芸が生まれた時代	記念講演会 「今、なぜ走泥社なのか」	大長智広氏 (京都国立近代美術館主任研究員)	2階ホール 定員 200人 *等観覧券	40人



展示解説「平櫛田中とその周辺」



記念講演会「三の丸尚蔵館－開館30年の歩み」



記念講演会「ウィリアム・モリスの歴史と現在」



「第十三回氏賞作家展」アーティストトーク



「生誕140年清水比庵」開催記念ギャラリートーク



記念講演会「マンガをいかに展示するか？」

## 1-2 ワークショップ等

### (1) 令和5年度 ワークショップ

美術館に親しみ、作品や美術に対する理解を深めることができるよう、制作に関わる活動や体験的に作品を鑑賞する企画などを中心にプログラムを実施した。

- \* 美術館という場に、心理的バリアーやボーダーを持ちやすい「子どもやそのファミリー、視覚障害者等」とともに行う「プレ・ミュージアム事業」や「ユニバーサル・ミュージアム事業」に重点を置いて実施した。
- \* 地域や社会に生きづらさを抱えている人々など多様な背景を持っている人々に美術館利用を促すプログラムを、関係諸機関と共働して試験的に実施した。

日程	会場	プログラム名	講師、担当者等	対象(めやす)、定員	参加費、持参物等	参加人数	備考
4月8日(土) 10:00-12:00 14:00-16:00 4月9日(日) 10:00-12:00	地下1階 研修室	じゅにあ・ミュージアム・Lab (4月) 「つながる形－線でできる形」	岡本裕子 (主任学芸員) 中西ひかる (魅力発信スタッフ)	小学校中学年から中学生 & 保護者 (小学生は保護者同伴) 各回5-6組: 1組2人まで (事前申込先着順)	参加費: 500円 (材料代) 持参物: 油性マジック (黒) 1本	4/8 10:00-:12人 14:00-:6人 4/9 10:00-:11人	プレ・ミュージアム事業
4月15日(土) 10:30-12:00 14:00-15:30 4月16日(日) 10:30-12:00	地下1階 研修室	きっず・ミュージアム・Lab (4月) 「県美こいのぼり・Myこいのぼり」	岡本裕子 中西ひかる	年中から小学校中学年 & 保護者 (保護者同伴) 各回5-6組: 1組2人まで (事前申込先着順)	参加費: 400円 (材料代) 持参物: 「Myこいのぼり」を描いてくる (A4サイズにおさまる程度の大きさ)	4/15 10:30-:11人 14:00-:8人 4/16 10:30-:8人	プレ・ミュージアム事業
5月6日(土) 10:00-12:00 14:00-16:00 5月7日(日) 10:00-12:00	地下1階 研修室	じゅにあ・ミュージアム・Lab (5月) 「表装－掛軸風に仕立ててみよう」	岡本裕子 中西ひかる	小学校中学年から中学生 & 保護者 (小学生は保護者同伴) 各回5-6組: 1組2人まで (事前申込先着順)	参加費: 500円 (材料代) 持参物: お気に入りの絵ハガキを1枚以上、表装に使うことができそうな紙や布、マスキングテープなど	5/6 10:00-:6人 14:00-:2人 5/7 10:00-:10人	プレ・ミュージアム事業
5月20日(土) 10:30-12:00 14:00-15:30 5月21日(日) 10:30-12:00	地下1階 研修室	きっず・ミュージアム・Lab (5月) 「つながる、つながる、どこまでも～!!」	岡本裕子 中西ひかる	年中から小学校中学年 (保護者同伴) 各回8人程度 (事前申込先着順)	参加費: 無料 持参物: 新聞紙1日分	5/20 10:00-:10人 14:00-:8人 5/21 0-:9人	プレ・ミュージアム事業
6月10日(土) 10:00-12:00 14:00-16:00 6月11日(日) 10:00-12:00	地下1階 研修室 & 両展示室	じゅにあ・ミュージアム・Lab (6月) 「クニちゃん探偵団－2023_Part1」	岡本裕子 中西ひかる	小学校中学年から中学生 & 保護者 (小学生は保護者同伴) 各回5-6組: 1組2人まで (事前申込先着順)	参加費: 無料 持参物: 観覧券(特別展)と時計	6/10 10:00-:14人 14:00-:7人 6/11 10:00-:8人	プレ・ミュージアム事業

日程	会場	プログラム名	講師、担当者等	対象(めやす)、定員	参加費、持参物等	参加人数	備考
6月17日(土) 10:30-12:00 14:00-16:00 6月18日(日) 10:30-12:00	地下1階 研修室 & 中庭	きつず・ミュージアム・Lab (6月) 「海はひろいな～、おおきいな～ ♪/ぬって、めくる!」	岡本裕子 中西ひかる	年中から小学校中学 年(保護者同伴) 各回10人程度 (事前申込先着順)	参加費：無料 持参物：「夏の海」 からイメージするも のや色のもの(紙 に絵を描いてきて もOK)	6/17 10:30-:11人 14:00-:10人 6/18 10:30-:9人	プレ・ミュー ジウム事業
7月1日(土) 10:00-12:00 14:00-16:00 7月2日(日) 10:00-12:00	地下1階 研修室 & 屋内広場	じゅにあ・ミュージアム・Lab (7月) 「触ってみて、つくる-手触りのよ り栗」	岡本裕子 中西ひかる	小学校中学年から中 学生 & 保護者(小 学生は保護者同伴) 各回4組: 1組2人まで (事前申込先着順)	参加費: 200円(材料代) 持参物:手触りが よいと感じる紙(1 ～2種類)	7/1 10:00-:8人 14:00-:2人 7/2 10:00-:7人	プレ・ミュー ジウム事業
7月15日(土) 10:30-12:00 14:00-16:00 7月16日(日) 10:30-12:00	地下1階 研修室	きつず・ミュージアム・Lab (7月) 「お星さま、キラキラ♪」	岡本裕子 中西ひかる	年中から小学校中学 年(保護者同伴) 各回6人程度 (事前申込先着順)	参加費: 500円(材料代) 持参物:お星さま につかってみたく い紙(2種類以上/ A4サイズ程度の 大きさ)	7/15 10:30-:6人 14:00-:6人 7/16 10:30-:6人	プレ・ミュー ジウム事業
8月5日(土) 14:00-16:00 8月6日(日) 10:00-12:00 14:00-16:00	地下1階 研修室 & 地下1階展 示室	じゅにあ・ミュージアム・Lab (8月) 「カゼイン絵の具って何?」	スペシャルゲスト: 小川美菜子氏 (株式会社クサカバ 技術開発部部长)	小学校中学年から中 学生 & 保護者(小 学生は保護者同伴) 各回4組: 1組2人まで (事前申込先着順)	参加費: 500円(材料代) 持参物:観覧券(岡 山の美術展)	8/5 14:00-:6人 8/6 10:00-:8人 14:00-:6人	プレ・ミュー ジウム事業
8月12日(土) 10:30-12:00 14:00-15:30 8月13日(日) 10:30-12:00	地下1階 研修室	きつず・ミュージアム・Lab (8月) 「しゅわしゅわ～♪じゅわじゅわ～ ♪/グラデーションであそぼう! グラデーションをたのしもう!」	岡本裕子 中西ひかる	年中から小学校中学 年(保護者同伴) 各回8人程度(事前 申込先着順)	参加費: 500円(材料代) 持参物:砂糖(白)、 塩(白)、片栗粉、 小麦粉/各1カップ 程度	8/12 10:30-:8人 14:00-:7人 8/13 10:30-:7人	プレ・ミュー ジウム事業
9月9日(土) 10:00-12:00 14:00-16:00 9月10日(日) 10:00-12:00	地下1階 講義室	じゅにあ・ミュージアム・Lab (9月) 「手ぬぐいを使う」	岡本裕子 中西ひかる	小学校中学年から中 学生 & 保護者(小 学生は保護者同伴) 各回3組: 1組2人まで (事前申込先着順)	参加費: 500円(材料代) 持参物:タオル & 手ぬぐい(各1枚)	9/9 10:00-:6人 14:00-:6人 9/10 10:00-:4人	プレ・ミュー ジウム事業
9月23日(土) 10:30-12:00 14:00-15:30	地下1階 講義室	きつず・ミュージアム・Lab (9月) 「きらきら～ゆらゆら～色水にチャ レンジ!!」	岡本裕子 中西ひかる	スポイトが使える幼児 から小学校中学年 (保護者同伴) 各回12人 (事前申込先着順)	参加費: 500円(材料代) 持参物:500ml前 後の大きさのペット ボトル2本、ペット ボトルの中に入れ ることができそうな もの(3～5種類)	9/23 10:30-:12人 14:00-:9人	プレ・ミュー ジウム事業
10月7日(土) 10:00-12:00 14:00-16:00 10月8日(日) 10:00-12:00	地下1階 研修室	じゅにあ・ミュージアム・Lab (10月) 「綴じる」	岡本裕子	小学校中学年から中 学生 & 保護者(小 学生は保護者同伴) 各回3組: 1組2人まで (事前申込先着順)	参加費: 500円(材料代) 持参物:本やノート など綴じてあるもの (2～3種類)	10/7 10:00-:5人 14:00-:6人 10/8 10:00-:6人	プレ・ミュー ジウム事業
10月7日(土) 10:30-12:00 14:00-15:30	地下1階 屋内広場	ウィリアム・モリス展コラボ事業 「レースの飾り額をつくろう」	さえらスタッフ	どなたでも (小学生低学年以下 は保護者同伴) 各回10人 (事前申込先着順)	参加費:5,000円	10:30-:9人 14:00-:11人	ウィリアム・モ リス 英国の 風景とともに めぐるデザイ ンの軌跡
10月14日(土) 10:00-12:00 14:00-16:00 10月15日(日) 10:00-12:00	地下1階 研修室	きつず・ミュージアム・Lab (10月) 「からだ全体をつかって、色をつ くろう!」	岡本裕子 中西ひかる	年少から小学校中学 年(保護者同伴) 各回8人程度 (事前申込先着順)	参加費: 500円(材料代) ドレスコード:自分 の好きな色のもの を何か一つ身につ けてくる	10/14 10:00-:8人 14:00-:8人 10/15 10:00-:8人	プレ・ミュー ジウム事業
10月29日(日) 13:30-17:00	岡山県立 大学	伝工WS@県大 ミニ登り窯でつくるやきもの体験	岡山県立大学工芸 工業デザイン学科 3年生	9組 (1組2名まで)	材料費:500円	12人	第70回 日本伝統工 芸展岡山展
11月11日(土) 10:00-12:00 14:00-16:00 11月12日(日) 10:00-12:00	地下1階 研修室	じゅにあ・ミュージアム・Lab (11月) 「織る-大きい機・小さい機」	岡本裕子 中西ひかる	小学校中学年から中 学生 & 保護者(小 学生は保護者同伴) 各回3組: 1組2人まで (事前申込先着順)	参加費: 300円(材料代) 持参物:布切れや 紐、織ることができ そうなもの(3～5 種類)	11/11 10:00-:6人 14:00-:5人 11/12 10:00-:6人	プレ・ミュー ジウム事業

日程	会場	プログラム名	講師、担当者等	対象(めやす)、定員	参加費、持参物等	参加人数	備考
11月18日(土) 10:30-12:00、 14:00-15:30 11月19日(日) 10:30-12:00	地下1階 研修室	きっず・ミュージアム・Lab (11月) 「ばしゃばしゃ、ばたばたー大きな機織りに挑戦しよう!!」	岡本裕子 中西ひかる	年少から小学校中学年(保護者同伴) 各回8人程度 (事前申込先着順)	参加費: 100円(材料代) 持参物:卵が入っていたケース	11/18 10:30-:8人 14:00-:7人 11/19 10:30-:8人	プレ・ミュージアム事業
11月19日(日) 10:00-16:00	地下1階 屋内広場	第70回日本伝統工芸展岡山展 関連事業 さいはっけん やきもの糸でつくる編かご作り体験	企画協力:岡山県立大学デザイン学部工芸工業デザイン学科	どなたでも 40人 (当日先着順)	参加費: 500円(材料代)	26人	第70回 日本伝統工芸展岡山展
11月23日(木・祝) 10:00-12:00 13:30-15:30	地下1階 研修室	第70回日本伝統工芸展岡山展 関連事業 さいはっけん 団子で描くオリジナル巾着	企画協力:岡山県立大学デザイン学部工芸工業デザイン学科	どなたでも 各回10人 (事前申込先着順)	参加費: 500円(材料代)	AM.:10人 PM:9人	第70回 日本伝統工芸展岡山展
11月25日(土) 13:00-14:30	地下1階 研修室 地下1階 展示室	やさ日×ミュージアム *第21回岡山県民文化祭 これがOKAYAMA!プログラム やさしい日本語でアートを楽しむワークショップ「伝統工芸でつながる あなたと私の部屋」	高尾戸美氏 (合同会社マープルワークショップ代表)	留学生・外国にルーツを持つ18歳以上の 人 プログラムに興味のある18歳以上の誰でも12人	観覧券(第70回日本伝統工芸展岡山展)	10人	やさしい日本語×ミュージアム事業
11月26日(日) 10:00-12:00 13:30-15:30	地下1階 屋内広場	備前焼 電動ロクロ体験	協力:日本工芸会中国支部陶芸部会	どなたでも 各回20人 (当日先着順)	参加費:1000円	10:00-:16人 13:30-:16人	第70回 日本伝統工芸展岡山展
12月9日(土) 10:00-12:00 14:00-16:00 12月10日(日) 10:00-12:00	地下1階 研修室	じゅにあ・ミュージアム・Lab (12月) 「トリミングで再利用?!」	岡本裕子 中西ひかる	小学校中学年から中学生 & 保護者(小学生は保護者同伴) 各回4組: 1組2人まで (事前申込先着順)	参加費: 100円(材料代) 持参物:家にある紙袋(形の異なるもの2~3種類)	12/9 10:00-:7人 14:00-:0人 12/10 10:00-:7人	プレ・ミュージアム事業
12月16日(土) 10:30-12:00 14:00-15:30 12月17日(日) 10:30-12:00	地下1階 研修室	きっず・ミュージアム・Lab (12月) 「ぺたぺた ぼんぼん 一形であそぶ」	岡本裕子 中西ひかる	幼児から小学校中学年(保護者同伴) 各回12人程度 (事前申込先着順)	参加費: 500円(材料代) 持参物:押してみたい野菜や果物を一つ以上、果物ナイフ	12/16 10:30-:8人 14:00-:6人 12/17 10:30-:2人	プレ・ミュージアム事業
2024年 1月7日(日) 14:00-16:00 1月8日(月・祝) 9:30-11:30	地下1階 研修室 地下1階 講義室	じゅにあ・ミュージアム・Lab (1月) 「暗闇WS_彫刻をさわって、はなして、みる!」	スペシャルゲスト: 広瀬浩二郎氏(国立民族学博物館教授)、鈴木鈴子氏(岡山県盲導犬友の会会長)、北川太郎氏(彫刻家)、江村忠彦氏(彫刻家)	小学校中学年から中学生 & 保護者(小学生は保護者同伴) 各回6人 (事前申込先着順)	参加費:無料	1/7 14:00-:6人 1/8 9:30-:6人	プレ・ミュージアム事業 ユニバーサル・ミュージアム事業
1月8日(日) 13:30-15:30	地下1階 研修室 地下1階 講義室	「暗闇WS_彫刻をさわって、はなして、みる!」	スペシャルゲスト: 広瀬浩二郎氏、鈴木鈴子氏、北川太郎氏、江村忠彦氏	高校生以上、 広く一般 *視覚障害の有無に関わらずどなたでも6人 (事前申込先着順)	参加費:無料	1人	ユニバーサル・ミュージアム事業
1月20日(土) 10:30-12:00 14:00-15:30 1月21日(日) 10:30-12:00	地下1階 研修室	きっず・ミュージアム・Lab (1月) 「〇〇に、へ〜んしん!!」	岡本裕子 中西ひかる	幼児から小学校中学年(保護者同伴) 各回10人程度 (事前申込先着順)	参加費: 300円(材料代) 持参物:テープや毛糸などのひも状のもの、やわらかい紙やかたい紙、新聞紙や包装紙、アルミフویلやクッキングシートなどの身のまわりにあるもの	1/20 10:30-:10人 14:00-:10人 1/21 10:30-:6人	プレ・ミュージアム事業
2月10日(土) 10:00-12:00 14:00-16:00 2月11日(日) 10:00-12:00	地下1階 研修室	じゅにあ・ミュージアム・Lab (2月) 「再利用で、光を味わう?!」	岡本裕子 中西ひかる	小学校中学年から中学生 & 保護者(小学生は保護者同伴) 各回4組: 1組2人まで (事前申込先着順)	参加費: 500円(材料代) 持参物:卵ケース2~64ケース、ペットボトル2~3本(500ml~2lサイズ)	2/10 10:00-:3人 14:00-:6人 2/11 10:00-:6人	プレ・ミュージアム事業
2月17日(土) 10:30-12:00 14:00-15:30 2月18日(日) 10:30-12:00	地下1階 研修室	きっず・ミュージアム・Lab (2月) 「はって、ぬって、はがす!!」	岡本裕子 中西ひかる	幼児から小学校中学年(保護者同伴) 各回10人程度(事前申込先着順)	参加費: 500円(材料代) 持参物:光があたるときらきらするもの(光るもの)を2~3つ	2/17 10:30-:9人 14:00-:10人 2/18 10:30-:10人	プレ・ミュージアム事業

日程	会場	プログラム名	講師、担当者等	対象(めやす)、定員	参加費、持参物等	参加人数	備考
3月3日(日) 10:00-12:00 13:30-15:30	地下1階 研修室	じゅにあ・ミュージアム・Lab (3月) ×みんなの参観日_その1 「図工の時間にチャレンジ固めた形から」	高橋英理子氏 (岡山市立大野小学校指導教諭)	小学校中学年から中学生 & 保護者 (小学生は保護者同伴) 各回5組: 1組2人まで (事前申込先着順)	参加費: 無料 持参物: 一般的なサイズのタオル (30×80cm程度) 1枚	10:00-10人 13:30-10人	教育普及展第5回みんなの参観日「図工の時間・美術の時間-子どもの学び-」
3月9日(土) 10:00-12:00 14:00-16:00 11:00-11:40 15:00-15:40	地下1階 屋内広場	きつず・ミュージアム・Lab (3月) ×みんなの参観日+懇談会 「図工の時間にチャレンジ-ねこの🐾-」	木村美佳氏 (岡山県立東備支援学校講師) 懇談会ファシリテーター: 杉本正章 (瀬戸内市立邑久中学校教諭)	幼児から小学校中学年 (保護者同伴) 各回10人程度 (事前申込先着順)	参加費: 無料 持参物: ねこの名前を考えてくる	きつず・Lab×みんなの参観日 10:00-10人 14:00-9人 懇談会 11:00-8人 15:00-10人	教育普及展第5回みんなの参観日「図工の時間・美術の時間-子どもの学び-」
3月10日(日) 10:00-12:00 13:30-16:00 11:00-11:40 14:30-15:10	地下1階 研修室 地下1階 屋内広場 中庭	じゅにあ・ミュージアム・Lab (3月) ×みんなの参観日_その2 +懇談会「図工の時間にチャレンジ-固めた形から」	高橋英理子氏 (岡山市立大野小学校指導教諭) 懇談会ファシリテーター: 長崎陽日氏 (岡山市立東山中学校教諭)	小学校中学年から中学生 & 保護者 (小学生は保護者同伴) 各回5組: 1組2人まで (事前申込先着順) みんなの参観日に興味をお持ちの方どなたでも! 各回20人程度 (当日受付)	参加費: 無料	じゅにあ・Lab×みんなの参観日 10:00-10人 13:30-10人 懇談会 11:00-23人 14:30-20人	教育普及展第5回みんなの参観日「図工の時間・美術の時間-子どもの学び-」



きつず・ミュージアム・Lab<5月>  
「つながる、つながる、どこまでも~!!」



じゅにあ・ミュージアム・Lab<8月>  
「カゼイン絵の具って何?」



ウィリアム・モリス展関連事業  
「レースの飾り額をつくろう」



やさ日×ミュージアム  
「伝統工芸で つながる あなたと 私の 部屋」



第70回日本伝統工芸展岡山展関連事業  
「備前焼 電動ロクロ体験」



UM事業  
「暗闇WS-彫刻をさわって、はなして、みる!」

## (2) 令和5年度 対話型鑑賞体験ツアー (毎月第3日曜日14:00-)

参加者が美術に対する理解を深め、作品とふれあってもらうことを目的に、「対話を用いた鑑賞」を実施した。「対話を用いた鑑賞」とは、ナビゲーターと呼ばれるスタッフ(当館ボランティア専門班のうちVTスタッフ)が参加者に寄り添い、対話とともに「みる・考える」を繰り返すことで、参加者の主体的な鑑賞を促す方法である。

## (3) 令和5年度 「岡山の美術」 観察日記

参加者と学芸員との交換日記形式の1年間継続プログラムである。まず、当館から本事業参加者に対し、各期の「岡山の美術」展にあわせて案内ハガキ「KanKan通信」を郵送する。ハガキを受け取った参加者は作品を鑑賞し、その感想や質問を「観察日記」に記入して、学芸員がそれに答える。

日程および回数	参加（登録）人数
2023年3-4月、5-6月、6-7月、7-8月、9-11月、11-12月、12-2024年1月、1-2月、2-4月／9回	25人

## 2. 博学・博博・博社連携事業

### 2-1 美術館学習・研修等での活用

学校授業（図画工作・美術・総合的な学習の時間・校外学習等）や教職員研修の場として、美術館を多くの団体に提供している。

団体対応プログラムには以下一覧表A-Dの4種があり、学校等教育機関と授業・研修の目的を話し合い、プログラムを随時検討しながら対応を行っている。対応ボランティアスタッフの不足によりABは休止。Cコースは、10月からボランティアによる対応も可能な範囲で再開した。

#### (1) 団体対応プログラムと令和5年度の実施状況

コース名	令和5年度の実施状況
A：自由見学コース ボランティアによるマナーガイダンス・美術館の概要説明(15分程度)のあと、自由に鑑賞を行う。	実施せず
B：グループ案内コース 団体をグループに分け、グループごとにボランティアが解説を交えながら岡山の美術展を案内する(40分程度)。	実施せず
C：対話を用いた鑑賞(ヴィジュアル・シンキング=VT)コース 学芸員及びボランティアが、対話を用いた鑑賞(ヴィジュアル・シンキング=VT)で岡山の美術展を案内する(60-120分程度)。時間に余裕がある場合は、ゲームをとおして鑑賞を深める「アートゲーム」等を組み合わせる。	25団体562人 ※VTをベースにした変則的プログラムも含めて実施。
D：特別展解説コース 特別展担当学芸員が簡単な解説(15分程度)を行ったあと、自由に鑑賞する。	13団体354人
A-D以外の活用等 未就学児団体のグループ案内、触察プログラム、各種インタビュー、職場体験学習、博物館実習、各種教育機関等との共働授業等を行う。	22団体330人
対応なし(フリー)	94団体1,355人

#### (2) 令和5年度 美術館学習・研修等活用実績

\* 学校団体観覧連絡票等の提出をもとに作成

\* 放課後等デイサービスの活用も含む

日程	団体名等	参加人数(引率者)	コース
4月6日(木)	岡山大学医学部医学科 5年生	5人	ビジュアルアート教育プログラム「岡大(医)×県美」
4月20日(木)	岡山大学医学部医学科 5年生	5人	ビジュアルアート教育プログラム「岡大(医)×県美」
4月27日(木)	内山下幼稚園 年長 その1	35人(6人)	先生と一緒に作品をみてみよう/3グループ
4月27日(木)	内山下幼稚園 年長 その2	35人(6人)	先生と一緒に作品をみてみよう/3グループ
5月7日(日)	岡山県立岡山芳泉高等学校 美術部	14人(1人)	原田直次郎プロジェクト
5月25日(木)	岡山大学医学部医学科 5、6年生	6人	ビジュアルアート教育プログラム「岡大(医)×県美」
6月8日(木)	岡山大学医学部医学科 5年生	4人(1人)	ビジュアルアート教育プログラム「岡大(医)×県美」
6月21日(水) -23日(金)	岡山市立上南中学校 2年生「職場体験学習」	1人	職場体験学習 ミニ学芸員実習、清掃・監視・総合受付業務体験
6月22日(木)	岡山大学医学部医学科 5年生	4人(1人)	ビジュアルアート教育プログラム「岡大(医)×県美」
7月9日(日)	鳥取大学地域学部地域学科地域創造コース 4年生	1人	リサーチ「岡山カルチャーゾーン三十六景等の取組/芳泉高校×県美」
7月18日(火)	岡山市立岡山中央中学校 1年生3班	20人(1人)	岡山の美術展&総合的な学習の時間インタビュー 「岡山の魅力/岡山カルチャーゾーンの魅力発信」
7月19日(水)	岡山大学教育学部附属中学校 3年生	1人	総合的な学習の時間インタビュー 「美術や美術教育の必要性」
7月20日(木)	岡山大学医学部医学科 5年生	4人	ビジュアルアート教育プログラム「岡大(医)×県美」
7月23日(日)	総社市立総社中学校 部活動	13人(5人)	Dコース
7月25日(火)	岡山県立岡山芳泉高等学校 1-3年生(希望者) カルチュラル・ラーニング県美編	8人(1人)	カルチュラル・ラーニング県美編 バックヤードツアー、対話を用いた鑑賞等
7月26日(水)	岡山市立藤田中学校 美術部1-3年生	21人(2人)	フリー

日程	団体名等	参加人数(引率者)	コース
7月26日(水)	津山市立中道中学校 アート&クラフト部	18人(2人)	Dコース
7月28日(金)	小教研岡山支会図画工作部会/ 小学生鑑賞教室事前教員研修	31人	アートゲーム・対話を用いた鑑賞・ワークシート等を活用した鑑賞教室プログラム研修会
8月1日(火)	岡山大学医学部医学科 5年生&留学生 (@ハンガリー)	5人+1人	ビジュアルアート教育プログラム「岡大(医)×県美」
8月3日(木)	倉敷市立福田南中学校 美術部1-3年生	12人(2人)	フリー
8月3日(木)	真庭市立北房中学校	6人(1人)	フリー
8月8日(火)	小教研岡山支会図画工作部会/小学生鑑賞教室5年生の部	59人(29人)	鑑賞教室プログラム アートゲーム・対話を用いた鑑賞 & VTワークシート・自由鑑賞
8月8日(火)	小教研岡山支会図画工作部会/小学生鑑賞教室6年生の部	61人(29人)	鑑賞教室プログラム アートゲーム・対話を用いた鑑賞 & VTワークシート・自由鑑賞
9月7日(木)	岡山大学医学部医学科 5年生	5人	ビジュアルアート教育プログラム「岡大(医)×県美」
9月8日(金)	倉敷市立東陽中学校 1年生/班別自主活動 (5-6人×10班)	60人	フリー
9月8日(金)	ノートルダム清心女子大学/博物館展示論	16人(1人)	フリー
9月21日(木)	岡山大学医学部医学科 5年生	5人	ビジュアルアート教育プログラム「岡大(医)×県美」
9月23日(土)	一般社団法人岡山に夜間中学校をつくる会	33人(11人)	フリー
10月1日(日)	岡山大学/教養教育科目 「地域社会とミュージアム」34	4人(2人)	ユニバーサル・ミュージアム 「ミュージアムの常識って本当?!」
10月5日(木)	岡山大学医学部医学科 5年生	5人	ビジュアルアート教育プログラム「岡大(医)×県美」
10月19日(木)	岡山大学医学部医学科 5年生	5人	ビジュアルアート教育プログラム「岡大(医)×県美」
10月19日(木)	玉野市立荘内中学校 1年生 4グループ/班別自主学習	22人(2人)	フリー
10月20日(金)	中国デザイン専門学校/デザイン高等課程 1-3年生3クラス	29人(1人)	フリー
10月25日(水) -27日(金)	岡山市立京山中学校 2年生「職場体験学習」	3人	職場体験学習 ミニ学芸員実習、清掃・監視・総合受付業務体験
10月27日(金)	岡山県立岡山南高等学校 服飾デザイン科1年生	39人(2人)	Dコース
10月31日(火)	岡山市立大野小学校 3年生2クラス	69人(4人)	アートゲーム・対話を用いた鑑賞をベースにしたワークシート
11月1日(水)	倉敷市立茶屋町小学校 5年生6クラス 班別自主活動	187人(9人)	フリー
11月1日(水)	岡山大学医学部医学科 5年生	5人	ビジュアルアート教育プログラム「岡大(医)×県美」
11月1日(水)	岡山県立岡山南高等学校 服飾デザイン科2年生	37人(2人)	Dコース
11月5日(日)	岡山大学 教養科目「ユニバーサルデザイン」 学外授業	20人(2人)	「ユニバーサル・ミュージアム」「ダイバーシティとひとづくり・まちづくりー車いすから見つめる」「フィールドワーク&振り返り」
11月11日(土)	岡山市立吉備中学校/美術部1-2年生「鑑賞研修」	20人(2人)	フリー
11月11日(土)	岡山大学 人文系博物館実習 (文学部3・4年生、大学院生)	23人(2人)	人文系博物館実習
11月15日(水)	岡山市立御休小学校5年生	18人(2人)	Cコース アートゲーム&対話を用いた鑑賞
11月16日(木)	岡山大学医学部医学科 5年生	5人	ビジュアルアート教育プログラム「岡大(医)×県美」
11月17日(金)	高梁市立有漢小学校 4年生1クラス	15人(3人)	Dコース
11月20日(月)	岡山県立岡山南高等学校/家庭科「服飾文化」	17人(1人)	Dコース
11月22日(水)	岡山市立福浜中学校 1年生「UDの学習」 班別自主学習/グループ×6人	6人(1人)	UDの取組を探る総合的な学習(福祉学習)
11月22日(水)	美作市立美作第一小学校 6年生1クラス33人	33人(3人)	Dコース
11月22日(水)	岡山市立香和中学校 1年生「福祉学習_バリアフリー」班別自主学習/ 13グループ×5・6人	78人	福祉学習_バリアフリー
11月24日(金)	久米南町立弓削小学校5・6年生	14人(3人)	Dコース
11月24日(金)	学校法人旭学園朝日塾小学校4年生3クラス	87人(5人)	Dコース
11月25日(土)	倉敷芸術科学大学2年生1クラス	20人(1人)	フリー

日程	団体名等	参加人数(引率者)	コース
11月28日(火)	吉備高原学園高等学校 2・3年生クラフトデザインコース	17人(3人)	Dコース
11月29日(水)	就実大学 3年生/アドバンストゼミナールⅡ (鑑賞教育)	11人(1人)	Cコース
11月30日(木)	岡山大学医学部医学科 5年生	5人	ビジュアルアート教育プログラム「岡大(医)×県美」
12月7日(木)	岡山市立後楽館中学校1年生(班別自主活動)	7人	フリー
12月19日(火)	岡山理科大学附属高校3年生	25人(1人)	フリー
12月19日(火)	岡山理科大学附属高校1・2年生	64人(2人)	フリー
12月20日(水)	朝日塾中等教育学校 中学1-3年生 5クラス	82人(8人)	フリー
12月25日(月)	放課後等デイサービス おひさま高島事業所	14人(7人)	フリー
12月26日(火)	岡山市立中山中学校 美術部1-3年生	9人(3人)	Dコース
12月26日(火)	倉敷市立味野中学校 美術部1・2年生	15人(1人)	Dコース
12月26日(火)	岡山大学医学部医学科 5年生	5人	ビジュアルアート教育プログラム「岡大(医)×県美」
2024年 1月10日(水)	専門学校岡山ビジネスカレッジ(日本語学科) その1	35人(2人)	フリー
1月10日(水)	専門学校岡山ビジネスカレッジ(日本語学科) その2	20人(2人)	フリー
1月10日(水)	専門学校岡山ビジネスカレッジ(日本語学科) その2	41人(2人)	フリー
1月18日(木)	岡山県立高梁城南高等学校 デザイン科1年生	30人(1人)	フリー
1月20日(土)	新見市立新見第一中学校 美術部	19人(2人)	フリー
1月25日(木)	岡山大学医学部医学科 5年生	5人	ビジュアルアート教育
1月25日(木)	岡山大学医学部医学科 5年生	5人	ビジュアルアート教育
2月1日(木)	岡山市立浦安小学校 6年生3クラス	92人(5人)	Cコース(VTワークシートと抱き合わせ)&特別展フリー鑑賞
2月1日(木)	岡山市立浮田小学校 6年生	30人(2人)	フリー
2月1日(木)	岡山市立岡山後楽館中学校 部活動	15人(2人)	フリー
2月4日(日)	岡山大学「地域社会とミュージアム」/ プレゼンテーション	14人	地域社会とミュージアム⑮⑯
2月6日(火)	岡山県総合教育センター 教育支援室	4人(3人)	Dコース
2月7日(水)	岡山大学教育学部附属小学校 6年生は組	33人(2人)	鬼滅展&ミュージアムショップ
2月7日(水)	岡山大学教育学部附属小学校 6年生い組	32人(2人)	鬼滅展&ミュージアムショップ
2月7日(水)	岡山大学教育学部附属小学校 6年生ろ組	33人(3人)	鬼滅展&ミュージアムショップ
2月8日(木)	岡山大学医学部医学科 5年生	5人(1人)	ビジュアルアート教育
2月9日(金)	倉敷市立連島南中学校 2年生4クラス_班別自主活動(5人×15班)	75人(2人)	フリー
2月16日(金)	倉敷市立福田中学校 2年生6クラス 班別自主活動	154人(12人)	フリー
2月16日(金)	岡山市立伊島小学校 津島児童学院内 派遣学級	5人(5人)	フリー
2月27日(火)	岡山県立東尾支援学校 小学部6年生	9人(4人)	みんなの参観日&昼食
3月7日(木)	岡山大学医学部医学科 5年生	5人(1人)	ビジュアルアート教育
3月8日(金)	岡山市立大野小学校 5年生 2クラス	75人(3人)	みんなの参観日&走泥社
3月15日(金)	倉敷市立北中学校 1年生 班別自主活動 6人×16班程度	96人(12人)	フリー
3月19日(火)	学校法人 就実学園 就実小学校 1年生 B組	30人(2人)	Cコース&美術館探検コース
3月19日(火)	学校法人 就実学園 就実小学校 1年生 A組	31人(2人)	Cコース&美術館探検コース
3月28日(木)	放課後等デイサービス アトリエ ぬかごっこ	13人(7人)	学芸員によるWelcome

## (3) 職場体験学習

## 令和5年度 職場体験学習 受入実績

学校	学年	参加人数	プログラム	日程
岡山市立上南中学校	2年生	1人	①監視員、総合受付、清掃体験 ②ミニ学芸員実習（美術館の役割について講義、バックヤードツアー、美術館教育プログラム成果物の展示、等）	6月21日(水)～23日(金)
岡山市立京山中学校	2年生	3人	①監視員、清掃、総合受付業務体験 ②ミニ学芸員実習（美術館の役割について講義、バックヤードツアー、文化財の保存と公開、書画の取扱い、美術館教育プログラムの準備、等）	10月25日(水)～27日(金)

## 2-2 学校出前講座

## (1) 令和5年度 日本伝統工芸展関連事業 実施実績

内容	講師	日程	学校	学年	参加人数	備考
陶芸 (備前焼)	日本工芸会中国支部 陶芸部会会員	9月22日(金)	朝日塾小学校	4年生3クラス	78人	協力：日本工芸会中国支部陶芸部会
	日本工芸会中国支部 陶芸部会会員	10月4日(水)	岡山市立芳田小学校	4年生2クラス	67人	協力：日本工芸会中国支部陶芸部会
	日本工芸会中国支部 陶芸部会会員	10月19日(木)	久米南町立弓削小学校	5・6年生 1クラス	13人	協力：日本工芸会中国支部陶芸部会
	日本工芸会中国支部 陶芸部会会員	11月22日(水)	美作市立美作第一小学校	6年生1クラス	32人	協力：日本工芸会中国支部陶芸部会
七宝	岩本文子氏 (日本工芸会正会員)	10月25日(水)	笠岡市立大井小学校	6年生1クラス	21人	協力：日本工芸会中国支部陶芸部会
人形	奥富久枝氏 小西朋子氏 (日本工芸会正会員)	10月23日(月)	瀬戸内市立国府小学校	6年生2クラス	46人	
漆芸	塩津容子氏 (日本工芸会正会員)	10月17日(火)	吉備高原高校	3年生	10人	
木工	濱田幸介氏 (日本工芸会正会員)	10月26日(木)	吉備高原高校	2年生	8人	

## (2) 令和5年度 岡山の美術／UD出前授業 実施実績

学校	学年／クラス等	参加人数	日程	内容	講師
岡山大学医学部 医学科	5年生	5人	5月11日(木) 13:30-15:30	岡大(医)×県美プログラム 「ビジュアルアート教育プログラム」	岡本裕子
岡山県立 岡山芳泉高等学校	美術部	10人	8月22日(火) 15:00-16:30	原田直次郎プロジェクトに向けて	岡本裕子
岡山大学	地域社会と ミュージアム		9月27日(水) 14:00-16:10	オリエンテーション (美術館の現状と課題)	岡本裕子
岡山理科大学 附属高等学校	インターバカロレア コース 1年生	9人	10月4日(水) 15:00-15:45	ミュージアム／美術館とは	岡本裕子
岡山県立 岡山操山高等学校	1年生 土曜活用講座	40人	11月18日(土) 10:30-12:00	美術から考える歴史	橋凜
	2年生 土曜活用講座	20人	2024年 2月10日(土) 10:30-12:00	日本美術史講座	橋凜

## 2-3 教員研修(出前講座含む)

## 令和5年度 実績

種別	題目	講師	日程	会場	参加人数
岡山県小学校教育研究会岡山 支会 第1指導局(鑑賞教室)夏季研 修会	2023年度 夏休み小学生鑑 賞教室に向けて「児童と一 緒に作品を楽しむ」	岡本裕子	7月28日(金) 9:30-16:00	岡山県立美術館 講義室&2階展示室	31人
津山市学校教育センター図画 工作部会夏季研修会 ／出張講座	実技研修 WS「カメレオンに挑戦!!」	岡本裕子	8月17日(木) 13:30-16:00	津山市立中正小学校 体育館	30人

2-4 令和5年度 第5回 みんなの参観日「図工の時間・美術の時間—子どもの学び—」事業

\*公益財団法人エネルギー文化・スポーツ財団 2023年度後期助成活動事業

(1) 令和5年度 ワーキンググループ・メンバー

氏名	所属	職名	備考
上岡 弘明	くらしき作陽大学	非常勤講師	アドバイザー *元岡山県小学校教育研究会図画工作部会部会長
川西 隆	倉敷教育センター	教育指導員	アドバイザー *元岡山県中学校教育研究会美術部会部会長
吉田 典子	備前市立西鶴山小学校	校長	岡山県小学校教育研究会図画工作部会会長
梶田 敏彦	岡山市立平福小学校	教諭	
高橋 和亮	倉敷市立庄小学校	教諭	
平井 健仁	備前市立伊部小学校	教諭	
上田 良子	新見市立本郷小学校	教諭	
渡邊 昌子	倉敷市立玉島東中学校	校長	岡山県中学校教育研究会美術部会部会長
長崎 陽日	岡山市立東山中学校	教諭	
杉本 泰輝	倉敷市立味野中学校	教諭	
杉本 正章	瀬戸内市立邑久中学校	教諭(再)	
田井 良和	岡山県総合教育センター	指導主事	
守安 収	岡山県立美術館	館長	
平井 哲哉	岡山県立美術館	管理者	
福富 幸	岡山県立美術館	副管理者学芸課長事務取扱	
岡本 裕子	岡山県立美術館	主任学芸員	
中西 ひかる	岡山県立美術館	魅力発信スタッフ	

(2) 令和5年度 ワーキンググループによる準備・検討会

回次	日程	会場	議題
第1回	7月10日(月) 14:30-16:30	岡山県立美術館研修室	開催に向けて(昨年度実施の課題と成果をふまえて)次年度開催会期について
第2回	8月9日(水) 13:30-16:45	岡山県立美術館研修室	開催に向けて(参加校打合せ会に向けて)次年度開催会期について
第3回	11月28日(火) 14:00-16:30	岡山県立美術館講義室	開催に向けて(授業見学、前期・後期展示準備、アクティビティ、広報等)次年度開催に向けて(会期・予算措置・拡大授業見学等)
第4回	2024年 2月28日(水) 14:00-16:30	岡山県立美術館研修室	展示報告、アクティビティの実施・計画の進捗状況報告等)次年度開催に向けて(事業計画・予算措置等)

(3) 令和5年度 相談会

回次	日程	会場	出席者
第1回	6月23日(金) 13:30-15:30	岡山県立岡山大安寺 中等教育学校美術室	惣中、岡本(裕)
第2回	6月27日(火) 13:35-14:35	倉敷市立大高小学校 図画工作室	岡根、岡本(裕)
第3回	7月25日(火) 9:30-11:30	岡山県立東備支援学校会議室	岡本(尚)、酒井、木村、岡本(裕)

## (4) 令和5年度 参加校打合せ会

日程	会場	出席者	参加人数
8月18日(金) 14:00-16:15	岡山県立美術館講義室	上岡、川西、吉田、平井(健)、渡邊、長崎、杉本(正)、 田井、守安、平井(哲)、岡本(裕)、中西	6人(岡山県内小学校・中等教育学校・支援学校教員)

## (5) 令和5年度 ワーキンググループ・メンバーおよび参加校教員による参加校授業見学

学校	日程	見学者
岡山県立東備支援学校(小学部)	9月7日(木)、14日(木)	上岡、渡邊、梶田、平井(健)、守安、岡本(裕)
岡山県立東備支援学校(中学部)	10月31日(火)	吉田、杉本(正)、岡本(裕)
岡山市立大野小学校	11月16日(木)、22日(水)	上岡
倉敷市立大高小学校	12月13日(水)	渡邊、田井、岡本(裕)

## (6) 令和5年度 展示事業 (1期開催のみ)

日程	準備日程	撤収日程	参観者数
2024年2月25日(日)-3月10日(日)	2月24日(土) 8:30-	3月11日(月) 8:30-	1,098人

## (7) 令和5年度 参加校

学校名	代表者名	授業者名	学年	題材名
岡山市立大野小学校	山田 素道	高橋 英理子	5年生	固めた形から
倉敷市立大高小学校	神原 尚洋	岡根 誠	4年生	県美をヒンメリで美しくかざろう!
岡山県立東備支援学校(小学部)	清水 珠希	木村 美佳	6年生	ねこの教室~ Ten cats ten colors ~
岡山県立東備支援学校(中学部)	清水 珠希	酒井 郁実	1-3年生	東備の幻想庭園「ランプシェード」 ~その子なりの表現を追求して~
岡山県立 岡山大安寺中等教育学校	竹内 成長	惣中 彩	3年生	イメージの力で伝える~その一枚が心を動かす~



展示会場と参観者 1



展示会場と参観者 2



展示会場と参観者 3

(8) 令和5年度 アクティビティ

回次/内容	テーマ	講師および登壇者等	日程	会場
第1弾 ワークショップ/ みんなの参観日-図工の時間に チャレンジ×きつず・ミュージアム・Lab	ねこの🐾	木村美佳	3月9日(土) 10:00-12:00 14:00-16:00	岡山県立美術館屋内広場 (みんなの参観日展示会場)
第2弾 みんなの懇談会/ Part1	ワークショップについて -子どもの成長を感じるとき	杉本正章	3月9日(土) 11:00- 15:00- (各回40分程度)	岡山県立美術館屋内広場 (みんなの参観日展示会場)
第3弾(前期) ワークショップ/ みんなの参観日-図工の時間に チャレンジ×じゅにあ・ミュージアム・Lab	固めた形から	高橋英理子	3月3日(日) 10:00-12:00 13:30-15:30 3月10日(日) 10:00-12:00 13:30-15:30	岡山県立美術館屋内広場 (みんなの参観日展示会場) & 研修室&中庭等
第4弾 みんなの懇談会/ Part2	わたしの想いをお話する、 -子どもの成長を感じるとき	長崎陽日 高橋英理子	3月10日(日) 11:00- 14:30- (各回40分程度)	岡山県立美術館屋内広場 (みんなの参観日展示会場)
第5弾 参加校団体観覧/ Part1	みんなの参観日を参観する	岡山県立東備支援学校 (小学部) 6年生2クラス10人、 引率教員4人 対応:岡本裕子	2月27日(火) 11:00-13:00 *昼食含む	岡山県立美術館屋内広場 (みんなの参観日展示会場) & 研修室
第6弾 参加校団体観覧/ Part2	みんなの参観日を参観する & 特別展「走泥社再考」を 観覧する	岡山市立大野小学校 5年生2クラス75人、 引率教員3人 対応:上岡弘明	3月8日(金) 10:00-11:30	岡山県立美術館屋内広場 (みんなの参観日展示会場) & 地下1回展示室等



図工の時間にチャレンジ「ねこの🐾」



みんなの懇談会Part1



図工の時間にチャレンジ「固めた形から」



みんなの懇談会Part2



団体観覧 Part1



団体観覧 Part2

(9) 令和5年度 広報物

みんなの参観日／展覧会

ポスター：B3

フライヤー：100×148mm（表／裏）



ポスター (B3)



フライヤー (100×148mm表)



フライヤー (100×148mm裏)

(10) 令和5年度 刊行物  
記録集

A4変形 (69ページ)

2024年3月29日発行



記録集／みんなの参観日

2-5 高等学校との連携事業－連携プロジェクト

(1) 令和5年度 岡山県立岡山芳泉高等学校美術部／「原田直次郎動画制作プロジェクト」実施実績

\*本プロジェクトは、2022年度－2024年度までの3年計画で実施する。

回次	日程	会場	参加人数	内容	担当
第1回	5月7日(日) 15:30-17:00	岡山県立美術館 講義室	15人	絵コンテについての意見交換会	【学校】 平尾教人 【美術館】 岡本裕子
第2回	8月22日(火) 15:00-16:30	岡山県立 岡山芳泉高等学校 美術室	10人	コンセプト、使用希望画像についての 意見交換会	【学校】 平尾教人 【美術館】 岡本裕子
第3回	2024年 3月23日(土) 9:30-11:00	岡山県立美術館 講義室	16人	中間報告会(参加者との意見交換会)	【学校】 平尾教人 【美術館】 岡本裕子・橋村直樹

(2) 令和5年度 岡山理科大学附属高等学校インターバカロレアコース/「アートを考える」&「全国植樹祭関連事業ワークショップ\_スギとヒノキとわたしたちの木」プロジェクト実施実績

\*本プロジェクトは、2023年度～2024年度までの2年計画で実施する。

①「アートを考える」

回次	日程	会場	参加人数	内容	担当
第1回	5月27日(土) 11:00-12:30	岡山県立美術館 会議室	1人	顔合わせ(1)	岡本裕子
第2回	6月11日(日) 15:30-16:30	岡山県立美術館 会議室	6人	顔合わせ(2)	
第3回	7月30日(日) 14:00-15:30	岡山県立美術館 講義室	4人	美術館_プレゼン 美術館の役割・機能・存在意義について (国内・国際的な動向と自館の取り組み紹介)	
第4回	9月30日(土) 10:00-11:30	岡山県立美術館 会議室	3人	プロジェクト内容についての検討(1) 「IB×ミュージアム」としてどんなことが可能か?	
第5回	10月28日(土) 10:00-11:30	岡山県立美術館 会議室	5人	プロジェクト内容についての検討会(2) 「グローバル」「ローカル」「現代美術」についての ディスカッション	
第6回	11月26日(日) 10:00-12:00	岡山県立美術館 会議室	5人	プロジェクト内容についての検討会(3) ・作品をみる_VTS(平子雄一作品) ・学校の学びを活かしたプログラムの検討	
第7回	12月28日(木) 10:00-12:00	岡山県立美術館 会議室	5人	プロジェクト内容についての検討会(4) ・実施内容決定「アートを考える」	
第8回	2024年 1月13日(土) 10:00-12:00	岡山県立美術館 会議室	5人	プログラム&広報物の検討1	
第9回	2月25日(日) 13:00-17:00	岡山県立美術館 屋内広場	5人	プログラム&広報物の検討2	
第10回	3月17日(日) 10:00-12:00	岡山県立美術館 会議室	4人	プログラム&広報物の検討3	

②「全国植樹祭関連事業ワークショップ\_スギとヒノキとわたしたちの木」

回次	日程	会場	参加人数	内容	担当
第1回	12月28日(木) 12:00-13:00	岡山県立美術館 会議室	2人	相談会	岡本裕子
第2回	2024年 3月24日(日) 10:00-12:00	岡山県立美術館 会議室	7人	プログラムについての検討会(1) 趣旨、方法、タイムスケジュール、参加 対象者、参加者数、準備物、広報等	藤田拓矢氏 (岡山県自然保護センター主任) 岡本裕子

2-6 大学との連携事業—博物館実習

(1) 令和5年度 博物館実習

日程	参加人数	参加大学(人数内訳)
8月15日(火)～8月19日(土)	3人	岡山大学(1人)、就実大学(1人)、山口大学(1人)

## (2) 令和5年度 実習日程およびプログラム

スケジュール	8月15日(火)				8月16日(水)			
	AM 9:30-10:30	AM 10:40-12:00	PM 13:00-14:25	PM 14:35-16:00	AM 9:00-10:25	AM 10:35-12:00	PM 13:00-14:25	PM 14:35-16:00
場所						3階収蔵庫	3階収蔵庫	
内容 & 担当者	オリエン テーション 森田	バックヤード・ ツアー 森田	ユニバーサル・ミュージアム ①② 岡本		展示空間に ついて考える 橋村	洋画の取り扱い と調書作成 橋村	油彩画・彫刻・現代美術 について 廣瀬	
スケジュール	8月17日(木)							
	AM 9:00-10:25		AM 10:35-12:00		PM 13:00-14:25		PM 14:35-16:00	
場所					3階収蔵庫			
内容 & 担当者	文化財と防災、 博物館協議会など 森田		広報と印刷物について 中西・森田		掛軸等の取り扱い 橋・森田・鈴木			
スケジュール	8月18日(金)				8月19日(土)			
	AM 9:00-10:25	AM 10:35-12:00	PM 13:00-14:25	PM 14:35-16:00	AM 9:00-10:25	AM 10:35-12:00	PM 13:00-14:25	PM 14:35-16:00
場所	会議室	会議室	3階収蔵庫	会議室	会議室	会議室	展示室、会議室	会議室
内容 & 担当者	ユニバーサル・ ミュージアム③ 岡本	文化財の 保存と公開 鈴木	工芸作品の 取り扱い 福富	岡山県立大学 ワークショップ プレゼン審査会 福富	展覧会と デザイン 洪	新進美術家 育成事業に ついて 古川	県美の ボランティア 活動について 橋	総括 森田

## 2-7 大学との連携事業一協働授業・連携プログラム

## (1) 令和5年度 岡山大学連携授業

科目	講師	題目及び内容	日程	会場	参加人数	備考
教養科目 「ユニバーサル・ デザイン」 学外授業	清田哲男氏(岡山大学教授)、徳田恭子氏(NPO法人まちづくり推進機構理事)岡本裕子	①バリアフリーを超えるユニバーサル・ミュージアムを目指して(岡本) ②ダイバーシティと人づくり・まちづくり 車いすから見つめる(徳田) ③社会の中に見つけるやさしさ(清田) ④まちのなかのやさしさ発見(グループワーク・調査)	11月5日(日) 13:00-17:00	岡山県立美術館研修室、館内、館外	20人	担当教員:清田哲男氏

地域社会とミュージアム	教員：赤木里香子氏(同学教授)、桑原敏典氏(同学教授)、大橋功氏(同学非常勤講師・和歌山信愛大学教育学部教授) ミュージアム：内池秀樹氏(岡山県立博物館)、四角隆二氏(岡山市立オリエント美術館副主査)、橋本龍氏(林原美術館)、小嶋ひろみ氏(夢二郷土美術館)、岡本裕子	①各ミュージアム施設の現状と課題 ②各ミュージアム施設でのワークショップ ③提案に向けて ④提案プレゼンテーション	9月27日(水)－2024年2月4日(日) *第1回－16回	①岡山県立美術館講義室 ②各ミュージアム ③大学等 ④岡山県立美術館講義室	13人	大学と岡山カルチャーゾーン内ミュージアム(岡山県立博物館、岡山市立オリエント美術館、林原美術館、夢二郷土美術館、岡山県立美術館)の共働授業
医学部医学科生に対する「ビジュアルアート教育」プロジェクト	美術館：岡本裕子	①ブラインド・トークー聴くワークショップー ②対話を用いた鑑賞 ③振り返り(共有の時間)	4月－12月(各月原則2回実施、各回13:30－15:30)	岡山県立美術館講義室&展示室 ※県美プログラム実施日が展示替え等で休館の場合は、岡山大学(医局)にて実施。	医学部医学科5年生各回5－6人	担当教員等：木股敬裕氏(岡山大学大学院医歯薬学総合研究科形成再建外科分野教授)、小比賀美香子氏(同研究科総合内科学分野講師)、大塚益美氏(株式会社大塚デザイン会長)

## 2-8 博博連携事業－カルチャーゾーン・ミュージアムラーニング・プロジェクト

岡山カルチャーゾーン内の5つのミュージアムで、ミュージアムラーニングを軸とした共同事業プロジェクトを行った。

初年度は、だれもが安心して岡山カルチャーゾーンミュージアムを楽しむためのガイド「岡山カルチャーゾーンミュージアムの使い方\_あいうえお」を作成した。

\* R5年度Innovate MUSEUM事業

### (1) 令和5年度 プロジェクト・メンバー

氏名	所属	職名	備考
大野 繁	医療法人大野はぐみクリニック	理事長・医学博士	アドバイザー
赤木 里香子	岡山大学学術研究院教育学域	教授	アドバイザー
高尾 戸美	合同会社マーブルワークショップ	代表	アドバイザー
木下 浩	岡山県立博物館	学芸員(主任)	
岡本 裕子	岡山県立美術館	主任学芸員	
川阪 理智	岡山市立オリエント美術館	副主査	
橋本 龍	林原美術館	主任学芸員	
平松 里美	夢二郷土美術館	学芸員(主任)	

### (2) 令和5年度 準備・検討会

回次	日程	会場	議題
第1回	4月20日(木) 9:45－11:45	岡山県立美術館 会議室	2023年度 顔合わせ やさしい日本語研修(講師：高尾戸美) 今年度の方針の検討
第2回	6月14日(水) 14:00－16:00	岡山県立美術館 会議室	R5年度Innovate MUSEUM事業の審査結果の報告 ソーシャル・ストーリーの制作に向けて(1) ⇒国立アトリサーチセンター作成のソーシャル・ストーリーを基に意見交換
第3回	7月22日(土) 9:30－12:00	岡山県立美術館 会議室	国立アトリサーチセンターの視察報告 ソーシャル・ストーリーの制作に向けて(2) ⇒各館のアイデア出し(共通事項・各館独自事項)
第4回	10月19日(木) 9:30－12:00	岡山県立美術館 研修室	ソーシャル・ストーリーの制作に向けて(3) ⇒各館ソーシャル・ストーリー(案1)をもとに、共通事項・各館同時事項の整理

第5回	10月29日(日) 9:30-12:00	岡山県立美術館 研修室	ソーシャル・ストーリーの制作に向けて(4) ⇒各館ソーシャル・ストーリー(案2)をもとに、5館の全体構成等検討 ⇒医療従事者に意見を求めるためのたたき台の作成
第6回	11月15日(水) 18:30-20:30	大野はぐみクリニック	ソーシャル・ストーリーの制作に向けて(5) ⇒大野繁氏と意見交換
第7回	12月3日(日) 13:30-15:30	岡山県立美術館 研修室	ソーシャル・ストーリーの制作に向けて(6) ⇒大野氏の意見を踏まえて、再検討 ⇒全体構成の組替え、名称の再検討、撮影スケジュール&制作スケジュール調整
第8回	12月21日(木) 9:30-12:00	岡山県立美術館 研修室	ソーシャル・ストーリーの制作に向けて(7) ⇒体裁と使用方法、広報チラシの作成、配布先等の検討 ⇒ミュージアムのあいうえお(構成変更)〈案〉の最終確認&やさしい日本語的文言の検討
撮影	2024年1月	各館	アクセス、ミュージアムの使い方等の撮影
第9回	3月12日(火) 15:00-17:00	岡山県立美術館 会議室	第10回会合に向けて
第10回	3月15日(金) 10:00-12:00	岡山県立美術館 会議室	今年度の活動の振り返りと次年度活動予定の検討 ⇒動画編の作成に向けて

(3) 令和5年度 制作物

① 岡山県立美術館の「あいうえお」

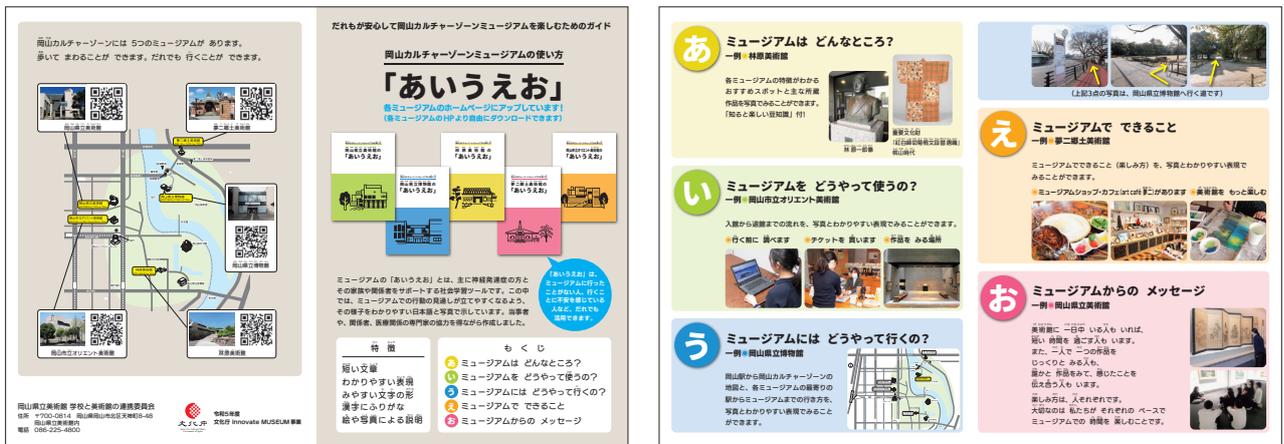
岡山県立美術館HPにてアップ

<https://okayama-kenbi.info/topi-aiueo/>

② 岡山カルチャーゾーンミュージアム使い方「あいうえお」(ダイジェスト版)

A3二つ折り

2024年2月末発行



ダイジェスト版

2-9 博社連携事業-ひきこもり支援プログラム

岡山県ひきこもり地域センターと共同で、ひきこもり支援プログラムを行った。

\* R5年度Innovate MUSEUM事業

(1) 令和5年度 ひきこもり支援プログラム・メンバー

氏名	所属	職名	備考
端山 聡子	東京国立近代美術館	主任研究員/教育普及室長	アドバイザー
岩本 真実	智ノる場合同会社	代表社員	アドバイザー
三熊 あき子	メンタルセンター岡山 岡山県精神保健福祉センター 岡山県ひきこもり地域支援センター	主幹	

葉山 朝子	メンタルセンター岡山 岡山県精神保健福祉センター 岡山県ひきこもり地域支援センター	臨床心理士・公認心理師	
阿賀 敬士	メンタルセンター岡山 岡山県精神保健福祉センター 岡山県ひきこもり地域支援センター	臨床心理士・公認心理師	
大野 鶴代	メンタルセンター岡山 岡山県精神保健福祉センター 岡山県ひきこもり地域支援センター	主任（保健師）	
松久 拓未	備北保健所新美支所	ひきこもりサポーター	
宮原 明子	瀬戸内市社旗福祉協議会 ひきこもりサポートセンターひなた	精神保健福祉士	
岡本 裕子	岡山県立美術館	主任学芸員	

## (2) 令和5年度 準備・検討会

回次	日程	会場	議題
第1回	4月12日(水) 13:30-15:30	岡山県立美術館 会議室	2023年度 顔合わせ ひきこもり支援×ミュージアム_プログラムの検討(1) ⇒ひきこもり支援センターの要望「大人の職場体験」 ⇒美術館からの提案「アート体験」
第2回	8月9日(水)10:00-12:00	ひきこもり支援センター	ひきこもり支援×ミュージアム_プログラムの検討(2) ⇒「大人の職場体験」を終えて(振り返り) ⇒「アート体験」の目的と内容、留意事項の検討
第3回	9月13日(水)10:30-12:00	岡山県立美術館 会議室	ひきこもり支援×ミュージアム_プログラムの検討(3) ⇒「アート体験」のプログラムのアイディアだし&プログラム〈案〉の検討
第4回	10月18日(水)10:00-12:00	岡山県立美術館 研修室	ひきこもり支援×ミュージアム_プログラムの検討(4) ⇒「アート体験」のプログラム〈案〉の推敲 *アドバイザーと意見交換
第5回	2024年 2月1日(木)15:30-16:30	岡山県立美術館 研修室	ひきこもり支援×ミュージアム_プログラムの検討(5) ⇒「アート体験」を終えて(振り返り) ⇒次年度に向けて

## (3) 令和5年度 ひきこもり支援プログラム 実施実績

回次/内容	テーマ	講師	日程	会場
第1回 大人の職場体験	職場体験会in岡山県立美術館	岡本裕子	6月7日(水) 13:30-15:30	岡山県立美術館 研修室
第2回 アート体験	アート体験in岡山県立美術館 「色は無限大∞/わたしのすき をみつける」	岡本裕子	2024年 2月1日(木) 13:30-15:30	岡山県立美術館 研修室&2階展示室



事前検討会



アート体験  
「色は無限大∞/わたしのすき  
をみつける」



事後検討会

### 3. 交流事業

研究成果や事業報告など、他の博物館施設や地域等と交流事業を行っている。

#### 3-1 令和5年度 交流事業

題目	日程	講師	主催	会場等
令和5年度社会教育主事講習 「社会教育経営論 (社会教育施設の経営戦略：博物館)」	7月31日(月) 16:30-18:00	岡本裕子 (主任学芸員)	岡山大学社会教育 主事講習運営委員会	on-line/Zoomによる 同時双方向講義
「夏の美術教室2023」企画ワークショップ 「からだ全体をつかって、色をつくろう！」	8月20日(日) 午前の部：10:00-12:00 午後の部：14:00-16:00	岡本裕子	宇部市文化振興課	ときわ湖水ホール アートギャラリー
博物館教育論 「岡山県立美術館の教育普及活動の事例について」	10月24日(火)・30日(月) 各日13:00-公開	岡本裕子	國學院大學	Zoomによる 録画配信
「移送の庭先」関連事業 トークショー 鷺見友佑×伊澤文彦	2024年2月12日(月・休) 18:30-20:30	伊澤文彦 (学芸員)	Fab Café Tokyo/ 鷺見友佑	Fab Café Tokyo
令和5年度エドゥケーター研修会 多様な子どもたちへのはたらきかけ ソーシャルインクルージョンとミュージアム #3 事例紹介「岡山カルチャーゾーンミュージアム によるソーシャルストーリーづくり」	3月2日(土) 13:00-17:00	岡本裕子	日本ミュージアム・ マネジメント学会	板橋区立郷土資料館

## 4. ボランティア活動

地域に親しまれる開かれた美術館を目指し、来館者と美術館の橋渡しをするとともに、美術館活動の円滑な運営を目的として、開館以来ボランティア制度を導入している。

昨年度に続き、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、例年の事業を実施しない場合が多かった。以下には本年度実施内容を記載する。

### 4-1 登録者数

100人（2024年3月末時点）

### 4-2 活動内容

#### (1) 令和5年度 各班の活動内容

班名	内容	日程・担当	
当番班	来館者に対する館内施設の案内・誘導、美術館の概要や展示品の解説、新聞の切り抜き等の活動をする。 臨時作業および自主活動としては、展覧会等のポスター・チラシ発送作業、出張授業のサポートをおこなった。	毎週火-日 16の当番班(各曜日および土日の午前・午後、隔週)の担当者	
館事務補助	学芸課の事務補助を中心として、チラシ等の整理、ポスター掲示等の諸作業、新聞切り抜き記事や図書資料情報のPC入力作業等の活動をおこなった。	毎週火-日 曜日毎の担当者	
専門班	図書整理班	館の購入本や他館からの寄贈本・ビデオ等の登録をし、さらに登録済みや閲覧済みの図書を書庫に収納した。	月2回程度
	資料整理班	当番班が切り抜いた新聞記事を整理・分類し、スクラップブックに貼付し保管した。	月1回程度
	VT班	毎月第3日曜日の「対話型鑑賞体験ツアー」を実施。 10月から団体対応(Cコース)を再開。	毎月第3日曜日 団体対応は随時

#### (2) 令和5年度 研修等

研修名	内容	日程・回数
新人研修	第37期新人ボランティアを対象とした、美術館ボランティアにとって必要なことを考え、理解してもらうための事前研修。	2024年1月14日(日)、20日(土)、28日(日)、2月18日(日)、3月3日(日)、10日(日)の計6回

#### (3) 令和5年度 ボランティア代表者会議、総会、懇親会

会名	内容	対象	日程・回数
ボランティア代表者会議	当月の活動内容を確認、先月の反省などを話し合った。	各当番班、専門班からの代表者各1名(計約20名)	毎月中旬
ボランティア総会	本年度の報告や議題をまとめ、館員とボランティアとの意見交換をおこなった。また、館員から次年度の事業説明をおこなった。	全ボランティアおよび当館学芸課、総務課	2024年 3月10日(日)

## 5. ホールイベント実施状況

月	日	曜日	催物	演題〔演目〕	講師・出演者	主催者
4月	15日	土	コンサート	柿内美緒オカリーナリサイタル2023		(株)スタジオフィアート
4月	16日	日	コンサート	ピアノリサイタル		
4月	23日	日	コンサート	発表会		山陽こだま楽器
4月	26日	水	その他	第16回岡山県「内田百閒文学賞」表彰式及び座談会		岡山県文化振興課・岡山県郷土文化財団
4月	29日	土	コンサート	ジュピーの会ピアノ発表会	会員	ジュピーの会
4月	30日	日	コンサート	ピアノ発表会		
5月	14日	日	その他	フラダンス		
5月	21日	日	コンサート	ピアノ発表会		
6月	8日	木	講演会	岡山県博物館協議会総会記念講演会		岡山県立美術館
6月	11日	日	講演会	記念講演会「岡山県立美術館35年の歩み」		岡山県立美術館
6月	24日	土	コンサート	ゼフィール合奏団第57回定期演奏会準備・リハ		ゼフィール合奏団
6月	25日	日	コンサート	ゼフィール合奏団第57回定期演奏会		ゼフィール合奏団
7月	1日	土	その他	大地からの便り2023－県内の発掘調査報告会－		岡山県古代吉備文化財センター
7月	2日	日	コンサート	第27回デア・フリーゲルコンサートRegeneration		デア・フリーゲル
7月	8日	土	コンサート	第3回国際声楽コンクール東京・岡山大会		国際声楽コンクール東京カスタム
7月	15日	土	コンサート	ピティナ・ピアノステップ岡山夏季地区		全日本ピアノ指導者協会・おかやま白桃ステーション
7月	16日	日	コンサート	第28回ピアノコンサート		近藤直子
7月	17日	月・祝	コンサート	ピアノ発表会		津田治美・宮本裕美子
7月	21日	金	コンサート	ヤマハピアノ個人発表会準備	会員	(株)ヤマハミュージッククリティリングミュージックセンター
7月	22日	土	コンサート	ヤマハピアノ個人発表会	会員	(株)ヤマハミュージッククリティリングミュージックセンター
7月	23日	日	コンサート	ヤマハピアノ個人発表会	会員	(株)ヤマハミュージッククリティリングミュージックセンター
7月	24日	月	コンサート	ヤマハピアノ個人発表会	会員	(株)ヤマハミュージッククリティリングミュージックセンター
7月	26日	水	コンサート	吹奏楽練習		岡山市立操山中学校吹奏楽部
7月	28日	金	コンサート	片岡バイオリン・チェロのコンサート		片岡バイオリン・チェロスクール
7月	29日	土	コンサート	ペーテン音楽コンクール	会員	ペーテン音楽協会
7月	30日	日	コンサート	ペーテン音楽コンクール	会員	ペーテン音楽協会
8月	8日	火	その他	夏季音楽研修会		岡山県音楽教育研究会
8月	18日	金	その他	英語学習発表会	生徒	岡山市中学校英語部会
8月	26日	土	コンサート	ピアノ発表会		
8月	27日	日	コンサート	ピアノ発表会		
9月	2日	土	コンサート	第9回ヤマハジュニアピアノコンクール岡山大会準備・本番	会員	(株)ヤマハミュージッククリティリングユニスタイル倉敷
9月	3日	日	コンサート	第9回ヤマハジュニアピアノコンクール岡山大会準備・本番	会員	(株)ヤマハミュージッククリティリングユニスタイル倉敷
9月	9日	土	コンサート	外山啓介ピアノリサイタル		岡山県音楽文化協会
9月	16日	土	コンサート	9人のピアニストによるピアノコンサート		アミデボザール
9月	24日	日	コンサート	友光雅司ピアノコンサート		レガール・ムジカーレ
9月	30日	土	コンサート	オータムコンサート		
10月	1日	日	講演会	ウィリアム・モリス記念講演会		岡山県立美術館
10月	6日	金	コンサート	クアルテット ベルリントウキョウ岡山公演 2023		QBTin岡山実行委員会
10月	27日	金	コンサート	オカリナ4重奏のコンサート		(株)スタジオフィアート

月 日	曜日	催物	演題〔演目〕	講師・出演者	主催者
10月28日	土	コンサート	ドローイングメロディ城東高等学校		岡山県立美術館
10月29日	日	コンサート	心から心へ「花音」秋のコンサート		安藤待子
11月 4日	土	コンサート	ベートン音楽協会コンクール		ベートン音楽協会
11月 5日	日	コンサート	ベートン音楽協会コンクール		ベートン音楽協会
11月11日	土	コンサート	島村楽器岡山店音楽教室発表会		島村楽器岡山イオンモール店
11月12日	日	コンサート	音楽会		
11月15日	水	コンサート	ギターと静寂 岡山公演		(株)50
11月18日	土	講演会	講演会「古墳時代の刀剣」		古代吉備文化財センター
11月19日	日	コンサート	ピアノ発表会		モデラートの会
11月22日	水	コンサート	アンサンブルコンサート準備リハ		木管アンサンブルミュスカ
11月23日	木・祝	コンサート	木管アンサンブルミュスカ 10th Anniversary Concert		木管アンサンブルミュスカ
11月26日	日	コンサート	ピアノ発表会		
12月 2日	土	コンサート	箏演奏会準備リハーサル		
12月 3日	日	コンサート	箏演奏会 春待月		
12月 9日	土	その他	第28回岡山県中学校総合文化祭	生徒	岡山県中学校文化連盟
12月16日	土	その他	もぐもぐいんてっと 岡山公演		
12月23日	土	コンサート	戸澤采紀ヴァイオリンリサイタル		
1月13日	土	講演会	『「鬼滅の刃」吾峠呼世晴原画展」記念講演会		岡山県立美術館
1月14日	日	コンサート	ピアノ演奏の録画録音		
1月21日	日	コンサート	ピアノ発表会		
1月27日	土	その他	ラップ練習		
2月 3日	土	その他	落語会 おかやま南光亭		(株)米朝事務所
2月10日	土	コンサート	「第23回道コンサート」準備・箏演奏会リハ		
2月11日	日	コンサート	「第23回道コンサート」箏演奏会		
2月24日	土	コンサート	声楽コンクール		国際声楽コンクール東京カンタムス
2月25日	日	コンサート	2022 ミュゼットピアノ発表会	会員	ミュゼットの会
3月 2日	土	その他	学芸員ラップバトルトーナメント2025		岡山県立美術館
3月 3日	日	その他	学芸員ラップバトルトーナメント2025		岡山県立美術館
3月16日	土	コンサート	ピアノとバイオリンのコンサート		コスモ音楽事務所
3月17日	日	コンサート	第41回卒業記念演奏会	会員	才能教育研究会
3月20日	水・祝	講演会	走泥社講演会		岡山県立美術館
3月22日	金	コンサート	岡山芳泉高等学校管弦楽部スプリングコンサート	生徒	岡山芳泉高等学校
3月23日	土	コンサート	梅村知世ピアノリサイタル		
3月24日	日	コンサート	第49回国立音楽大学フレッシュコンサート	会員	国立音楽大学岡山県同調会
3月31日	日	コンサート	第5回MEKI ピアノ発表会		MEKI ピアノ教室

## 6. 刊行物

## (1) 美術館ニュース



## 第141号 (2023年6月発行)

- 表紙「収蔵品の紹介 vol.12」  
平櫛田中《鏡獅子》
- 皇室ゆかりの日本絵画
- 美術や美術館との「出会い」と「出口」—利用者のコメントから
- 春琴帖にみる交流
- 新収蔵品紹介 File23：竹内清  
《深海魚》
- 展覧会スケジュール
- 館長コラム「よみがえる記憶」
- 編集後記



## 第142号 (2023年9月発行)

- 表紙「収蔵品の紹介 vol.13」  
難波仁斎《兔吹雪棗》
- ウィリアム・モリスと中世主義、そしてビザンティン
- 川島理一郎と岡山
- 林皓幹遺品から考えること  
大日本絵画講習会のテキストについて
- 新収蔵品紹介 File24：築山弘毅  
《say hello wave good bye》
- 展覧会スケジュール
- 館長コラム「酷暑の日々」
- 編集後記



## 第143号 (2023年12月発行)

- 表紙「収蔵品の紹介 vol.14」  
中山巍《窓辺肖像》
- 展示されたマンガ、美術館におけるマンガ
- 「(収蔵品特集) 中山巍」について
- 内なる日常—feel the pulse  
I氏賞受賞作家展後記
- 新収蔵品紹介 File25：隠崎隆一  
《備前混淆土花器》
- 展覧会スケジュール
- 館長コラム「ひつつき虫」
- 編集後記



## 第144号 (2024年3月発行)

- 表紙「収蔵品の紹介 vol.15」  
鳥越烟村《金魚図》
- 走泥社雑感
- 浦上春琴、備前の門人
- やさしい日本語でアートを楽しむワークショップ  
—伝統工芸でつながる あなたと私の部屋—
- 展覧会スケジュール
- 館長コラム「盆栽始めました」
- 編集後記

## (2) 館内配布用展覧会スケジュール

2024年4月～9月 展覧会スケジュール	2024年4月～9月 開催日カレンダー	2024年10月～2025年3月 展覧会スケジュール	2024年10月～2025年3月 開催日カレンダー
<p>特別展 藤田鳴鶴の書画とその時代</p> <p>2月27日(土)～4月7日(日)</p> <p>特別展 藤田鳴鶴の書画とその時代</p> <p>2月27日(土)～4月7日(日)</p> <p>特別展 藤田鳴鶴の書画とその時代</p> <p>2月27日(土)～4月7日(日)</p>	<p>2024年4月～9月 開催日カレンダー</p> <p>2024年4月～9月 開催日カレンダー</p> <p>2024年4月～9月 開催日カレンダー</p> <p>2024年4月～9月 開催日カレンダー</p>	<p>2024年10月～2025年3月 展覧会スケジュール</p> <p>2024年10月～2025年3月 展覧会スケジュール</p> <p>2024年10月～2025年3月 展覧会スケジュール</p> <p>2024年10月～2025年3月 展覧会スケジュール</p>	<p>2024年10月～2025年3月 開催日カレンダー</p> <p>2024年10月～2025年3月 開催日カレンダー</p> <p>2024年10月～2025年3月 開催日カレンダー</p> <p>2024年10月～2025年3月 開催日カレンダー</p>

内容 展覧会スケジュール (2024年3月時点)  
 版型サイズ A5 (両面印刷)  
 発行 2024年4月

## (3) 岡山県立美術館 紀要



第14号  
 内容 森田詩織  
 浦上春琴門人・鳥越烟村の事蹟と新収藏品について  
 古川文子  
 安藤家所蔵「書画貼交屏風」について  
 版型サイズ A4 (32ページ)  
 発行 令和6年3月31日

# 施設・設備の概要

## 1. 建物の概要

設置場所	岡山市北区天神町8番48号
設 計	(株)岡田新一設計事務所
構 造	鉄筋コンクリート造り 地上3階 地下2階
敷地面積	8,158㎡ (土光敏夫先生記念苑を含む)
建築面積	3,721㎡
延床面積	14,269㎡ (駐車場 2,061㎡を含む)
仕 上 げ	〈外装〉外壁 花崗岩及び磁器タイル張り 屋根 アスファルト・コンクリート押え 〈内装〉床 花崗岩及びじゅうたん張り 壁 花崗岩、磁器タイル及びクロス張り 天井 岩棉吸音板、スチールネットパネル及びクロス張り

## 2. 設備の概要

### [ 電 気 設 備 ]

引 込	6.6KV 3相3W ループ回線地中引込 (1回線)
受 変 電 設 備	受電電圧 6.6KV 60Hz 変圧器総容量 2,175KVA 契約電力 700KW
発 電 設 備	空冷型ガスタービン機関 (低騒音型) 480PS・1,800rpm 出力 400KVA 3相3W 6.6KV
蓄 電 池 設 備	キュービクル式直流電源装置 (HS-300E)
弱 電 設 備	舞台調光、舞台音響、映像資料 (ビデオ、映画16mm)、構内交換設備、放送、電気時計、 テレビ共聴、駐車場管制
防災・防犯設備	警備センター集中監視 自火報、防羽煙複合盤 (地図式表示盤)、防犯非常錠制御盤、防災アンプ (360W)、ITV監視装置

[空気調和設備]

熱源機器	24時間系統	冷温水同時取出型熱回収式空冷ヒートポンプチラー 1台
		冷却能力 118KW
		加熱能力 140KW
	8時間系統	空気熱源水蓄熱システム（ブライン内融型）ヒートポンプチラー 3台
		冷却能力 230KW
		加熱能力 228KW
		製水蓄熱能力 205KW
		蓄熱容量 6,328MJ
空気調和機	24時間系統	収蔵庫4系統、展示ケース1系統
	一般系統	屋内広場 空気床暖房併用型1系統
	ホール	空気床暖房床吹出型1系統
		展示室4系統、その他3系統
排煙室	展示系統、ホール系統	2系統1台

[衛生設備]

給水設備	上水受水槽	12m <sup>3</sup>
	上水副受水槽	2m <sup>3</sup>
	雑用水受水槽	97.9m <sup>3</sup>
排水設備	屋内：汚水、雑排水分流方式	
	屋外：汚水、雑排水分流方式	

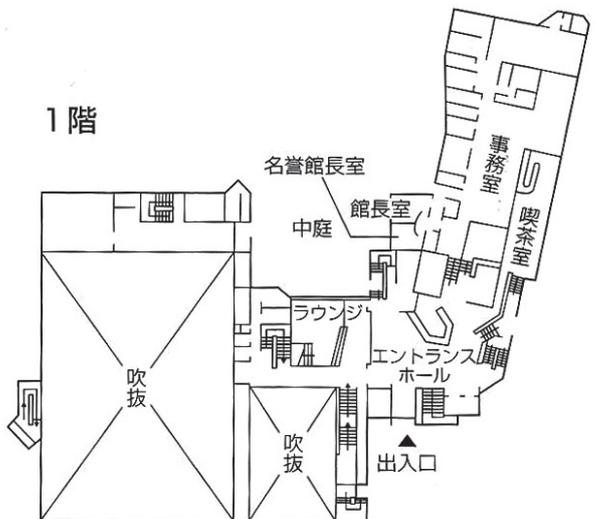
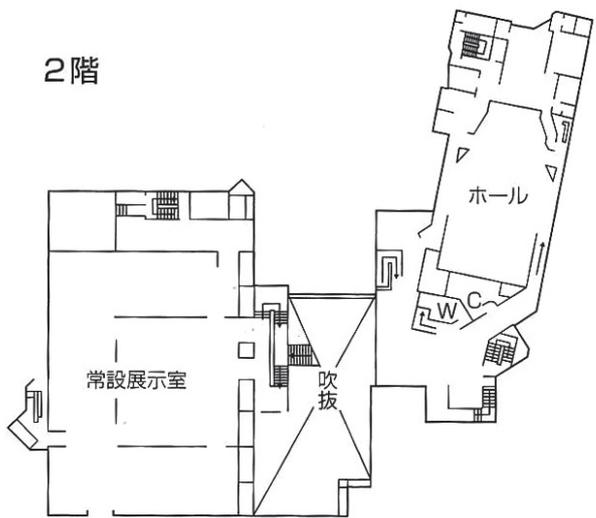
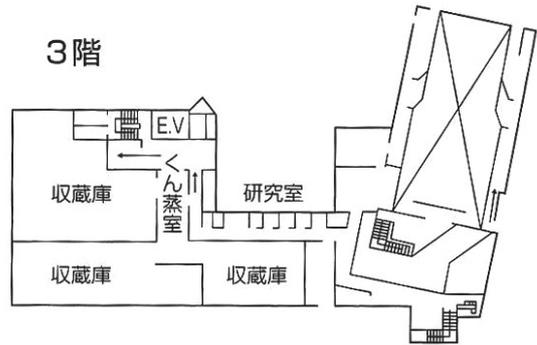
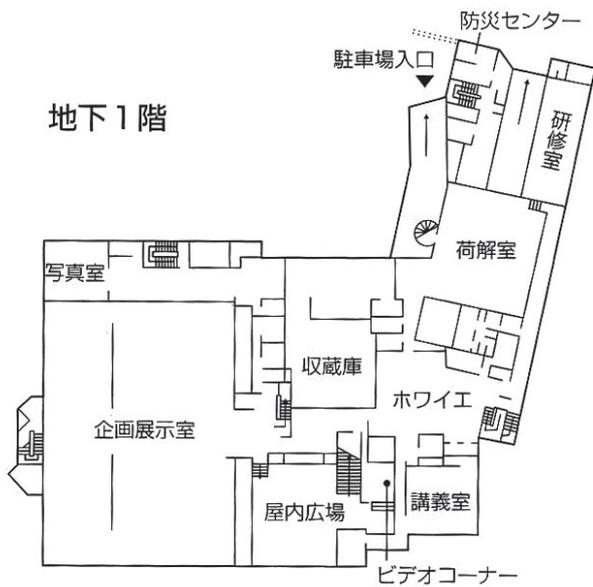
[昇降機設備]

乗用	油圧式	11人乗	750kg (1基)
(車椅子兼用)	インバーター制御方式	13人乗	900kg (1基)
荷物用	油圧式	1,900kg	(1基)
	交流2段歯車方式	4,000kg	(1基)

[消火設備]

展示室・収蔵庫 ハロン消火設備  
 その他 泡消火設備、スプリンクラー消火設備、予作動式スプリンクラー消火設備、連結散水設備、  
 連結送水管設備、屋内消火栓設備

3. 建物の平面図

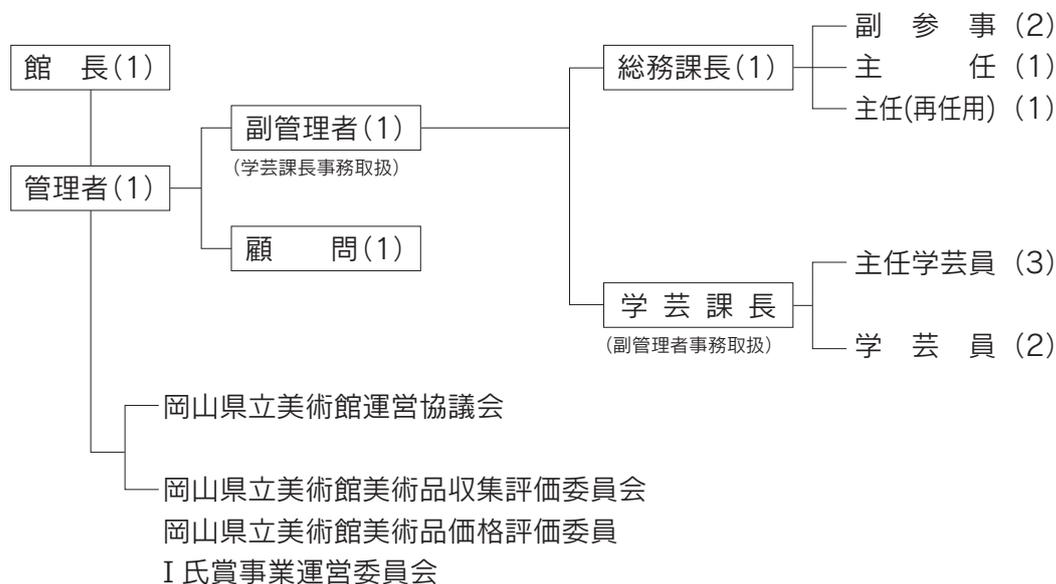


## 4. 部門・室別面積表

部 門	室 名	面積 (㎡)
展 示	常設展示室	1,184
	企画展示室	1,184
	サービススペース	322
	屋内広場など	811
	計	3,501
収 蔵	収蔵庫 (+前室)	1,107
	くん蒸室	24
	搬入荷解室など	719
	写真室など	102
	計	1,952
普 及 ・ 教 育	講義室	136
	研修室	121
	ビデオコーナー	54
	計	311
調 査 ・ 研 究	学芸員室	128
	研究室	89
	書庫	43
	計	260
ホ ー ル	客室	326
	ステージ (+袖)	155
	楽屋	24
	グリーンルーム	159
	ホワイエ (ラウンジ)	352
	化粧室 (客用)	77
	映写室など	265
	計	1,358
管 理	名誉館長室	31
	館長室	30
	事務室 (+会議室など)	188
	休憩室 (宿直室)	28
	ロッカー室	20
	防災センター	37
	中央監視室	75
	計	409
共 用	エントランスホール	215
	アートショップ	50
	情報コーナー	24
	ホワイエ	218
	ロッカー室	26
	喫茶室	115
	機械室	1,535
	廊下・倉庫など	2,234
	計	4,417
駐 車 場		2,061
合 計		14,269

# 組織及び職員構成

## 1. 組織図 (R6. 4. 1)



非常勤（館長）	1
非常勤（顧問）	1
正規職員	12
会計年度任用職員（学芸員）	2
I氏賞専任職員（学芸員）	1
会計年度任用職員（総合受付）	4
会計年度任用職員（魅力発信スタッフ）	1
計	22

## 2. 職員名簿

〈R5.4.1〉

館長	守安 收
管理者	平井 哲哉
副管理者 (学芸課長事務取扱)	福富 幸
顧問	鍵岡 正謹

【総務課】

総務課長	吉實 孝雄
副参事	吉田 克己
主任	河原田浩典
主任(再任用)	野崎 敏彦
主任(再任用)	藤澤 正治

会計年度任用職員(総合受付)	眞鍋 淑子
会計年度任用職員(総合受付)	白井ちあき
会計年度任用職員(総合受付)	渡邊 恵子
会計年度任用職員(総合受付)	笹原 洋子

【学芸課】

学芸課長(副管理者事務取扱)	福富 幸
主任学芸員	岡本 裕子
主任学芸員	廣瀬 就久
主任学芸員	橋村 直樹
学芸員	橘 凜
学芸員	森田 詩織
会計年度任用職員(学芸員)	鈴木 恒志
会計年度任用職員(学芸員)	洪 性孝
I氏賞専任職員(学芸員)	古川 文子

会計年度任用職員(魅力発信スタッフ) 中西ひかる

計22名

※ 〈R6.1.1 ~ R6.3.31〉

会計年度任用職員(学芸員)	伊澤 文彦
---------------	-------

〈R6.4.1〉

館長	守安 收
管理者	直原 秀次
副管理者 (学芸課長事務取扱)	福富 幸
顧問	鍵岡 正謹

【総務課】

総務課長	吉實 孝雄
副参事	名越 要介
副参事	中山 孝則
主任	河原田浩典
主任(再任用)	藤澤 正治

会計年度任用職員(総合受付)	眞鍋 淑子
会計年度任用職員(総合受付)	白井ちあき
会計年度任用職員(総合受付)	渡邊 恵子
会計年度任用職員(総合受付)	笹原 洋子

【学芸課】

学芸課長(副管理者事務取扱)	福富 幸
主任学芸員	岡本 裕子
主任学芸員	廣瀬 就久
主任学芸員	橋村 直樹
学芸員	橘 凜
学芸員	森田 詩織
会計年度任用職員(学芸員)	鈴木 恒志
会計年度任用職員(学芸員)	洪 性孝
I氏賞専任職員(学芸員)	古川 文子

会計年度任用職員(魅力発信スタッフ) 中西ひかる

計22名

# 付録 新収蔵作品

## 令和5年度寄贈作品一覧

番号	分野	作家名	作品名	制作年代	材質技法	員数	複数件
1	書	河田一白	北門行	昭和27(1952)年	紙本墨書	6曲1隻	他1件
2	書	曾我英丘	是空の世界	平成13(2001)年	紙本墨書	2面	他1件
3	書画	不詳	大江山図屏風	江戸時代(18世紀)	紙本着色	6曲1双	
4	染色	柚木沙弥郎	桃太郎の門出	平成14(2002)年	顔料、紙	1点	
5	絵画	人見純一	田中従子さんと寿美子さん	大正15(1926)年	油彩、カンヴァス	1点	他1点
6	陶芸	米田和	彩描うさぎ文皿	平成8(1996)年	磁器、色絵	1点	他2点
7	書画・絵画	満谷国四郎	戦の話(エチュード)	明治39(1906)年	油彩、カンヴァス	1点	他75件
8	日本画	岡本常彦	天覧騎射図	明治18(1885)年	絹本着色	1点	
合 計						89点	

## 令和5年度購入作品一覧

番号	分野	作家名	作品名	制作年代	材質技法	員数	複数件
1	絵画	赤松麟作	鶴図屏風	不詳	絹本金地油彩	2曲1双	
合 計						1点	

# 岡山県立美術館

令和5年度 年報

発行 岡山県立美術館

岡山市北区天神町8-48

TEL(086)225-4800

印刷製本 株式会社中野コロタイプ

令和6年9月30日発行

